

# 教 育 計 画

平成 27 年度



和歌山市立城東中学校

# 城東中学校校歌

柳野吉春 作詞  
北原雄一 作曲

$\text{♩} = 92$

ななつのーうーみはかせなきて  
へいわをつーぐるかねのねに  
とらふすーのもりいろはえてわ  
うどわれらにのぞみあーうあ  
あまーなびやまじょうーとうーよ

## 城東中学校校歌

一、七つの海は風なぎて

平和を告ぐる鐘の音に  
虎伏の森色映えて

若人我等に希望あり

ああ学舎よ 城東よ

二、紀の川流れ水澄みて

日日に新たにきたえたる  
見よこの身体この心

若人我等に誇りあり

ああ学舎よ 城東よ

三、郷に世紀の夜は明けて

文化日本の再建に  
双手をあげて拳りたつ

若人我等に使命あり

ああ学舎よ 城東よ

# 目 次

## 校 歌

### I 学 校 の 実 態

1. 沿 革 の 概 要 .....	1
2. 校 区 図 .....	5
3. 校 区 の 実 態 .....	5
4. 生 徒 の 概 況 .....	6
(1) 生徒数と学級編成 .....	6
(2) 卒業生の進路状況 .....	6
(3) 身体発育平均表 .....	7
5. 施 設 の 概 要 .....	8
6. 校 舎 配 置 図 .....	9
7. 教 職 員 一 覧 表 .....	10

### II 教育目標と努力点

1. 教 育 目 標 .....	11
2. 具 体 的 目 標 .....	11
3. 努 力 点 .....	11

### III 学校運営の計画

1. 運 営 機 構 (学 校 分 掌) .....	13
2. 部 活 動 組 織 .....	14
3. 教 育 課 程 表 .....	14
4. 校 時 表 .....	14
5. 年 間 行 事 計 画 .....	15
6. 研 究 指 導 計 画 .....	19
(1) 現 職 教 育 .....	19
(2) 教 育 課 程 .....	20

(3) 教科指導	20
(4) 総合的な学習の時間	20
(5) 道徳教育	26
(6) 特別活動	32
(7) 学校安全教育	36
(8) 進路指導	36
(9) 人権・同和教育	37
(10) 視聴覚教育	46
(11) 図書館教育	46
(12) 特別支援教育	47
(13) 国際親善	48
(14) 生徒指導	48
A 生活指導	49
B 教育相談	50
C 生徒会	50
(15) 整        美	51
(16) 部        動	52
A 文化部	52
B 体育部	52
(17) 保健指導	52
(18) 食に関する指導	53
7. 防火防災	56～

付        録

各教科年間計画	1～
---------	----

## II 学校の実態

### 1. 沿革の概要

和歌山市立城東中学校  
和歌山市美園町2丁目63番地  
電話 424-4408番

年	月 日	事 項	卒業生徒数	校長名
22	4. 15	城東中学校と命名		22. 4. 1
〃	5. 3	和大附属小学校講堂において開校式・入学式 由良精工倉庫を校舎として使用（生徒数262名 職員11名）		井本長次郎
23	5. 3	開校式挙行		
〃	5. 8	旧和中校舎に移転		
〃	5. 10	旧和中生徒817名編入式		
24	3. 22	第1回卒業式	804	
25	1. 26	社会科研究会		
〃	3. 1	新校舎1棟完成 第3学年新校舎に移転		
〃	3. 17	第2回卒業式	243	
26	2. 23	市委託職家研究会		
〃	2. 24	中央校舎区画完成 1・2年生移転（全校移転完了）		
〃	3. 20	第3回卒業式	279	
〃	3. 31	新校舎第2棟上棟式		
〃	9. 12	落成祝賀会 第1学年教室移転		
27	3. 20	第4回卒業式	286	
〃	6. 29	新校舎第3棟完成落成式		
〃	11. 8	宿直室・用務員室上棟式		
28	2. 12	文部省委託中学校産業教育研究発表会		
〃	3. 20	第5回卒業式	322	
〃	11. 13	文部省指定中学校産業教育研究発表会		
29	3. 20	第6回卒業式	293	
〃	8. 20	新校舎第4棟完成落成式（運動場西）		
〃	9. 25	新校舎落成式およびピアノ開き		
30	3. 20	第7回卒業式	345	
31	3. 20	第8回卒業式	410	
32	3. 18	第9回卒業式	430	
〃	9. 26	新館上棟式		
33	11. 18	新制中学校創立10周年記念式（於：市民会館）		33. 4. 1
〃	1. 25	本館竣工祝賀会		山本 一夫
〃	3. 20	第10回卒業式		
34	3. 18	第11回卒業式	484	
〃	4. 10	皇太子殿下御成婚祝賀記念式を行なう	443	
35	3. 19	第12回卒業式		
36	3. 18	第13回卒業式	344	36. 4. 1
37	3. 15	第14回卒業式	279	貴志 元夫
38	3. 15	第15回卒業式	425	
39	3. 11	第16回卒業式	539	
40	3. 15	第17回卒業式	551	40. 4. 1
41	3. 12	第18回卒業式		堀田 薫
42	3. 9	体育館兼講堂竣工祝賀会		42. 4. 1
〃	3. 13	第19回卒業式		本庄 文次
〃	12. 1	城東ブロック同和教育研究会		
43	3. 13	第20回卒業式	393	
44	3. 12	第21回卒業式	370	

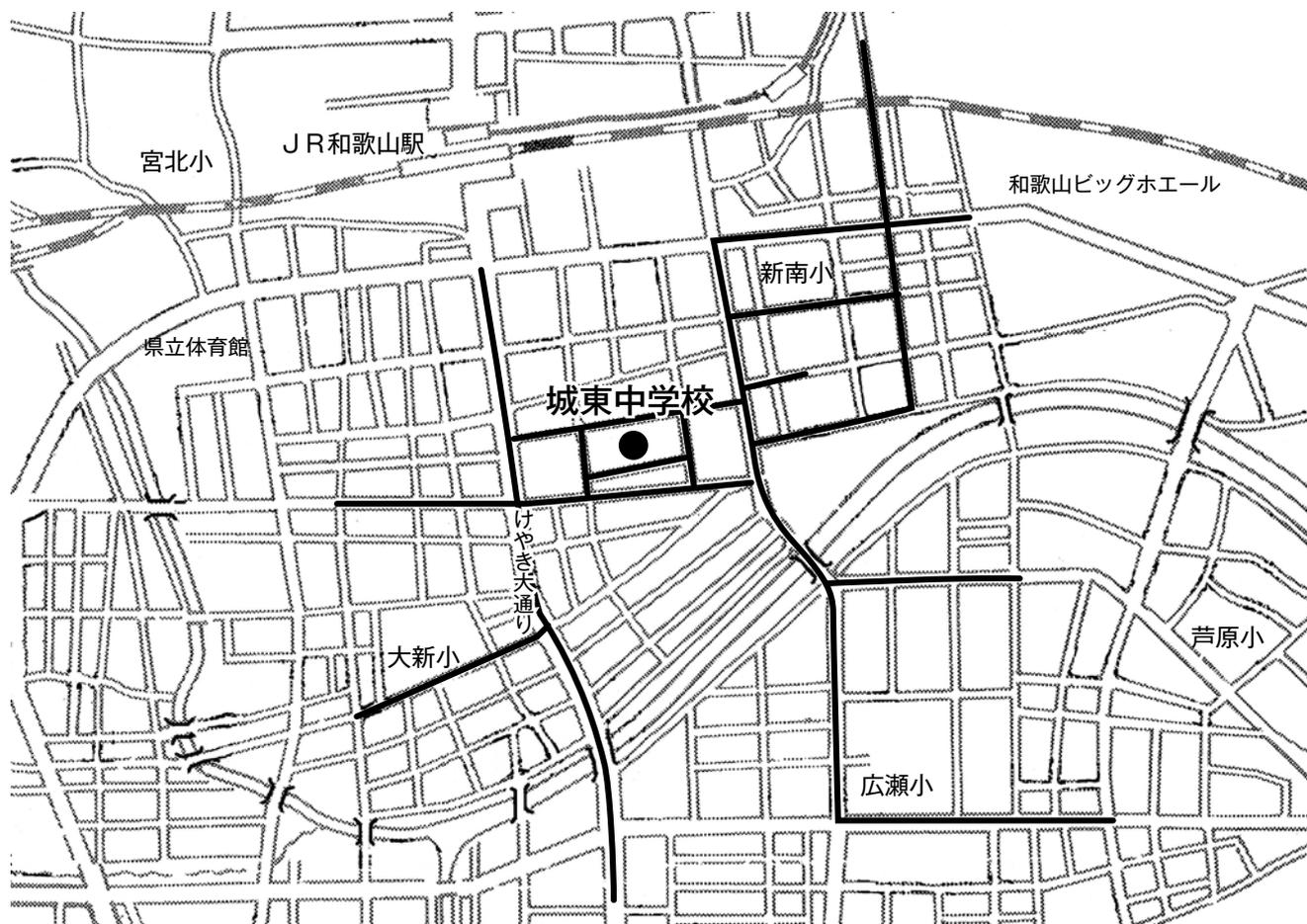
年	月 日	事 項	卒業生徒数	校長名
45	3.11	第22回卒業式	339	45.4.1
46	3.12	第23回卒業式	370	玉置 修己
47	3.13	第24回卒業式	373	
ク	7.26	校舎建築のため本館プレハブ校舎に移転		
ク	8.25	鉄筋4階建校舎起工式		
48	3.13	第25回卒業式	358	
ク	6.15	鉄筋4階建校舎竣工式		
49	3.13	第26回卒業式	391	
ク	7.8	鉄筋4階建第2期校舎竣工式		
50	3.12	第27回卒業式	385	
51	3.12	第28回卒業式	374	51.4.1
52	3.12	第29回卒業式	390	山崎 義純
53	3.13	第30回卒業式	382	
54	3.13	第31回卒業式	317	54.4.1 松本 巖雄
55	3.12	第32回卒業式	370	55.4.1
ク	4.	カナダ・リッチモンド市ロンドン中学校姉妹校提携		坂本日出雄
56	3.11	第33回卒業式	366	
ク	4.12 ~17	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校		
ク	7.21	鉄筋3階建校舎起工式		
57	3.12	第34回卒業式	302	
ク	5.4	鉄筋3階建校舎竣工式		
ク	5.15	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）親善訪問 教員 3名、保護者 3名、生徒 40名		
58	3.11	第35回卒業式	368	58.4.1
59	3.12	第36回卒業式	348	伊藤 秀学
ク	5.16	第2回ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）親善訪問 教員 3名、保護者 5名、生徒 43名		
60	1.4	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校		
ク	3.12	第37回卒業式	363	60.4.1
61	3.12	第38回卒業式	305	若林 啓介
ク	5.15	第3回ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）親善訪問 教員 3名、生徒 40名		
ク	7.	特別教室建築工事始まる、3月末完成予定		
62	3.12	第39回卒業式	324	
ク	4.15	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校		
ク	5.11	特別教室竣工		
63	3.11	第40回卒業式	311	63.4.1
ク	5.12	第4回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）親善訪問 教員 3名、生徒 40名		野口幸一郎
平成 元年	3.11	第41回卒業式		
ク	4.18	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校	274	
2	3.10	第42回卒業式		
ク	5.17 ~27	第5回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）親善訪問 教員 3名、生徒 40名	256	
ク	11.30	コンピュータ41台設置 富士通（FMTOWNS）		

年	月 日	事 項	卒業生徒数	校長名
3	3.11	第43回卒業式	238	3.4.1
〃	4.17 ～23	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 教員 5名、生徒 34名		三木 正邦
4	3.11	第44回卒業式	217	
〃	5.14 ～25	第6回カナダ、ロンドン中学校、アメリカトンプソン中学校へ親善訪問 教員 3名、生徒 40名		
5	3.11	第45回卒業式	206	5.4.1
〃	5.25 ～30	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 教員 3名、生徒 20名		木本 孝
6	3.11	第46回卒業式	227	
〃	5.19 ～29	第7回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 教員 3名、生徒 40名		
7	3.10	第47回卒業式	182	7.4.1
〃	5.10 ～14	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 教員 4名、生徒 26名		田川 英樹
8	3.11	第48回卒業式	146	
〃	5.16 ～26	第8回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 教員 3名、生徒 40名		
〃	9.21	50周年記念式典		
9	3.11	第49回卒業式	162	
〃	5. 8	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校		
10	3.11	第50回卒業式	179	10.4.1
〃	5.15 ～25	第9回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 教員 3名、生徒 40名		角田 康夫
11	3. 9	第51回卒業式	151	
〃	5.12 ～17	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 教員 3名、生徒 17名		
12	3.10	第52回卒業式	159	
〃	5.14 ～25	第10回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 教員 3名、生徒 40名		
13	3. 9	第53回卒業式	148	13.4.1
〃	5. 8 ～13	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 教員 2名、生徒 10名		笠本 正夫
14	3.12	第54回卒業式	159	
〃	5.14 ～25	第11回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 教員 3名、生徒 40名		
15	3.11	第55回卒業式	148	
〃	5. 7 ～13	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 教員 1名、保護者 1名、生徒 12名		
16	3.10	第56回卒業式	141	
〃	5. 8 ～18	第12回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 教員 3名、保護者 1名、生徒 28名		
17	3.10	第57回卒業式	139	17.4.1
〃	5.11 ～16	ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）より来校 校長 1名、教員 1名、生徒 12名		青木 隆
18	3.13	第58回卒業式	146	18.4.1
〃	5.13 ～23	第13回カナダ、ロンドン中学校（カナダ・リッチモンド市）へ親善訪問 職員 3名、生徒 34名		鈴木 達也
19	3.12	第59回卒業式		

年	月 日	事 項	卒業生徒数	校長名
20	3.11	第60回卒業式	122	
ク	5.11 ~20	第14回カナダ スティーブストン・ロンドン中学校(カナダ・リッチモンド市)へ親善訪問 職員 2名、生徒 5名		
21	3.11	第61回卒業式	104	
22	3.9	第62回卒業式	106	
ク	5.14 ~21	第15回カナダ スティーブストン・ロンドン中学校(カナダ・リッチモンド市)へ親善訪問 職員 1名、生徒 14名	90	
23	3.9	第63回卒業式		
ク	5.20 ~26	パーマー中高等学校(カナダ・リッチモンド市)より来校 職員 3名、生徒 36名	104	
24	3.9	第64回卒業式		
ク	5.11 ~21	第16回カナダ・リッチモンド市へ親善訪問 職員 2名、生徒 15名		
25	3.8	第65回卒業式	95	
ク	5.11 ~17	パーマー中高等学校(カナダ・リッチモンド市)より来校 職員 3名、生徒 36名		
26	3.10	第66回卒業式	87	26.4.1
	5.9 ~11	第17回カナダ・リッチモンド市へ親善訪問 職員 2名、生徒 17名		梅野 芳作
27	3.10	第67回卒業式	90	

## 2. 校区図

### 城東中学校通学路



## 3. 校区の実態

(1) 地区全般としては商業地区といえる。大別して問屋、小売業、サービス業(飲食店街)に分けることができる。その他、中小企業に類する工場もあるが全体からいえば少ない。

和歌山駅を拠点として和歌山市の横断道路がありこの道路を中心として網の目にひろがった道路にはぎっしりと家並・ビルが建ち並び空地の余裕もない状態である。同時に市の周辺に住居をかまえ、店のみ地区内に残している家もふえ、従って生徒数も減少している。

(2) 教育には非常に熱心であり、学校への協力態勢もよくできている。特に進路に対する関心が強く、高等学校への進学が多く就職はほとんどない。

(3) 育友会活動は活発であり、各部も積極的に活動している。また共働きの家や単親家庭が多い。

(4) 飲食店が多い地区であるため、夜間子どもたちだけで生活する家庭が多く、「早寝・早起き・朝ご飯」といった生活習慣が身に付いていない生徒もいる。そのため生活指導を含めた生徒指導の充実を図る必要がある。

#### 4. 生徒の概況

(1) 平成27年度正副担任表及び生徒数

平成27年5月1日 現在

クラス		1組	2組	3組	のぞみ(知)	のぞみ(情)	計
1年生	担任	有 田	濱 野	光 山	河 関		44+1 42 86+1
	副担任	川 端		岩 瀬			
	男 子	15	15	14+1	1		
	女 子	14	14	14			
	計	29	29	28+1	1		
2年生	担任	辻 本	芝 田	三 木		有 本	44+1 29 73+1
	副担任	久 保		長 野			
	男 子	15	15	14+1		1	
	女 子	9	10	10			
	計	24	25	24+1		1	
3年生	担任	田 中	境 原	早 川	(河 関)		53+1 44 97+1
	副担任	庄 禮		木 村			
	男 子	18	17+1	18	1		
	女 子	14	15	15			
	計	32	32+1	33	1		

男子 141+3(名) 女子 115(名) 計 256+3(名)

( )は外数

(2) 卒業生徒の進路状況

年	内 訳	進 学				就 職	家 事 その他	総 数	
		公 立		私 立					各種学校 その他
		全 日 制	定 時・通 信 制	県 内	県 外				
H1	186	8	29	8	7	14	4	256	
2	171	2	32	19	1	9	4	238	
3	145	5	34	21	1	6	5	217	
4	149	8	27	8	2	10	2	206	
5	175	6	30	11	1	1	3	227	
6	129	4	22	12	2	2	10	181	
7	119	3	8	9	1	3	3	146	
8	112	4	29	7	2	5	3	162	
9	136	4	35	1	1	1	1	179	
10	116	2	22	8	1	0	2	151	
11	107	6	32	4	2	0	8	159	
12	117	3	13	9	1	1	4	148	
13	122	7	21	8	0	0	1	159	
14	104	12	21	10	0	0	1	148	
15	103	10	16	10	0	2	0	141	
16	107	7	21	2	0	0	2	139	
17	110	3	23	7	0	1	2	146	
18	96	6	19	4	4	2	0	131	
19	95	3	15	7	0	0	2	122	
20	91	0	7	5	0	0	1	104	
21	87	5	7	5	0	1	1	106	
22	67	4	10	7	1	0	1	90	
23	86	7	7	2	0	1	1	104	
24	67	5	14	5	0	1	3	95	
25	68	2	8	8	0	1	0	87	
26	72	6	7	5	0	0	0	90	

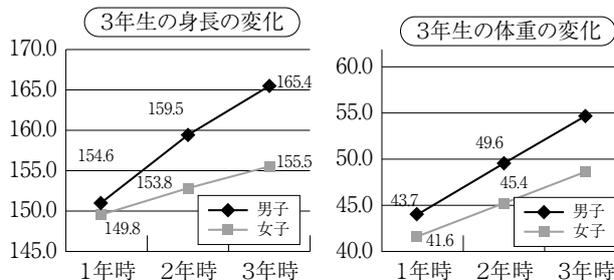
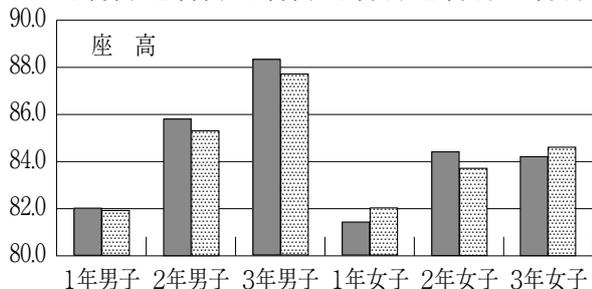
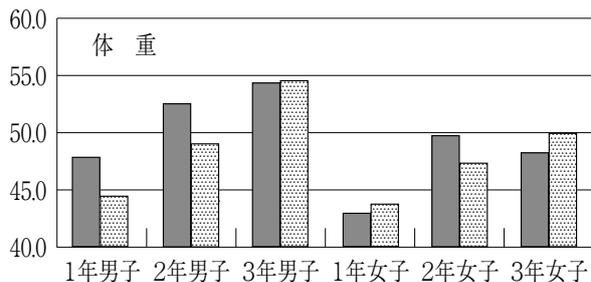
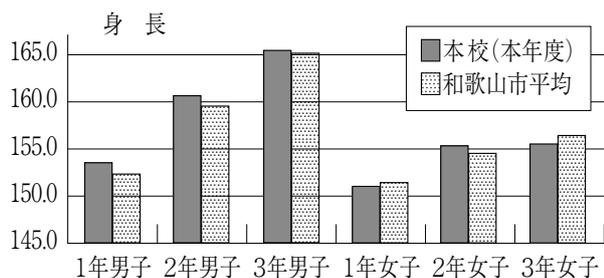
(3) 身体測定結果 (平成 26 年度測定結果)

体位の平均値の比較

★和歌山市平均は、平成 26 年度の数値。

★本年度平均値が和歌山市平均値より下回っている。

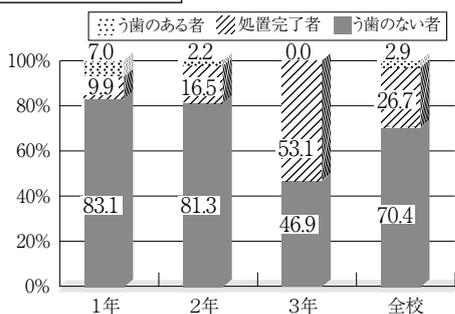
		男 子			女 子		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
身長 (cm)	本校 (本年度)	153.5	160.6	165.4	151.0	155.3	155.5
	和歌山市平均	152.3	159.5	165.1	151.4	154.5	156.4
体重 (kg)	本校 (本年度)	47.8	52.5	54.3	42.9	49.7	48.2
	和歌山市平均	44.4	49.0	54.5	43.7	47.3	49.9
座高 (cm)	本校 (本年度)	82.0	85.8	88.3	81.4	84.4	84.2
	和歌山市平均	81.9	85.3	88.0	82.0	83.7	84.6



※ 3年生の身長は、男子は3年間で平均13.8cm女子は5.7cm伸びている。

※ 3年生の体重は、男子は3年間で平均10.6kg女子は6.6kg増えている。

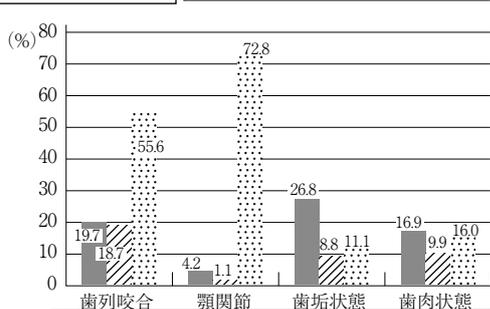
歯科健診



※う歯のある生徒が全校で2.9%と低い。特に3年生は「う歯のある者」が0名と少ない。

また、う歯のない者が、全校でも70%を超えているので、これからも小学校で育てられたう歯予防教育をしつりと根付いていけるような取り組みをしたい。

口腔内の異状



※毎年のことだが、う歯のある生徒が少ない反面、歯列や顎関節、歯周疾患をもつ生徒が多い。

※特に3年生は歯列咬合や顎関節異常の生徒が大変多いのが気が掛かる。

※1年生は歯垢や歯肉の状態が悪い生徒が多い。

## う歯治療率



未処置歯のある生徒は、長期において、う歯治療ができていない。そのためか、未処置歯の一人あたりの本数が多くなっている。

う歯治療の重要性を伝えることが年々難しくなっている。

今年度も、治療勧告を夏休み前の保護者会等で直接、保護者に治療票を渡しお願いしましたが、なかなか治療に行かない生徒が多かった。

春休み中に治療を行うように、もう一度勧告する予定。

## 5. 施設の概要

### (1) 施設面積

○ 校地総面積	14,439㎡
・校舎面積	5,646㎡
・体育館	1,078㎡
・運動場	8,481㎡
・その他	94㎡

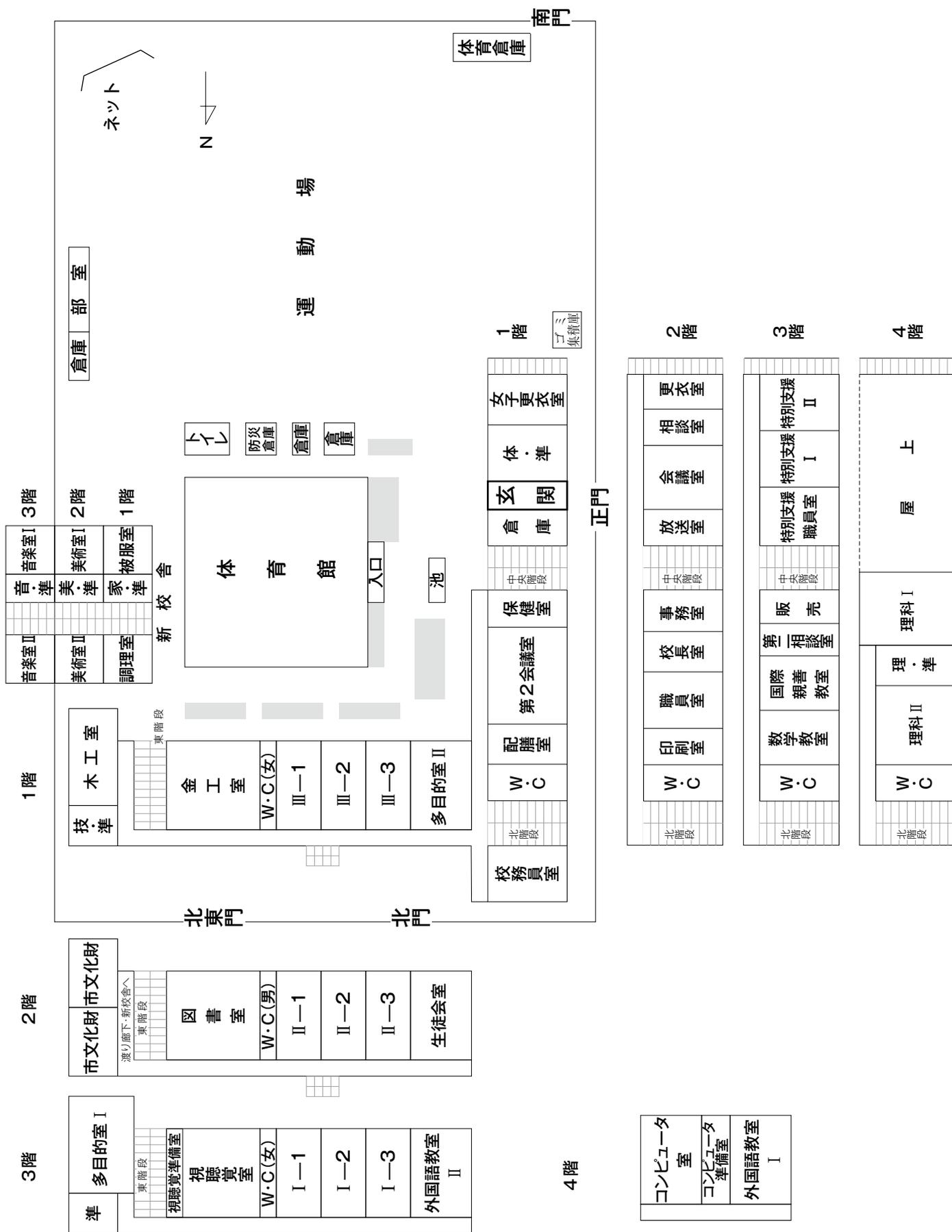
### (2) 校舎使用状況

○ 普通教室	9			
○ 特別教室	29			
理科室 2	図書室 1	音楽室 2	木工室 1	金工室 1
美術室 2	視聴覚室 1	会議室 2	調理室 1	被服室 1
生徒会室 2	特活・柔道 1	放送室 1	多目的教室 3	学習ルーム 2
外国語教室 2	国際親善教室 1	数学教室 1	更衣室 1	パソコン室 1
○ 体育館				
○ 管理室	18			
校長室	職員室 (2)	特別支援職員室	事務室	体育・家庭・美術・音楽 (2)
特別支援 (2)	技術・パソコン各準備室	相談室	保健室	販売

### (3) 附属

○ 便所			
校舎各階	11箇所	運動場側	2箇所
○ 倉庫・物置	3箇所		
○ 校務員室	1箇所		

# 6. 校舎配置図



## 6. 教職員一覧表

	職名	氏名	教科		職名	氏名	教科
1	校長	梅野 芳作	数学	18	教諭	川端 基夫	数学
2	教頭	藤 範 登志美	音楽	19	養護教諭	上 西 忍	
3	教諭	辻 中 美智子	国語	20	講師	早 川 十 詩	音楽
4	教諭	芝 田 佳 奈	国語	21	講師	有 田 智 紀	美術
5	教諭	濱 野 理 香	国語	22	講師	久 保 一 至	英語
6	教諭	岩 瀬 幸 代	社会	23	事務主任	木 村 妙 子	
7	教諭	辻 本 雄 祐	社会	24	校務主任	山 下 仁	
8	教諭	有 本 広 美	数学	25	販売・事務員	新 家 康 代	
9	教諭	田 中 宣 行	数学	26	スクール・カウンセラー	岩 崎 美 紀	
10	教諭	長 野 彩 紀	数学	27	ICT支援員	山 本 亜 貴	
11	教諭	木 村 一 紀	理科	28	ICT支援員	尾 方 寿 香	
12	教諭	境 原 周太郎	理科	29	非常勤講師	和 田 美知子	
13	教諭	河 関 満 代	美術	30	非常勤講師	田 中 步 冴	
14	教諭	三 木 章 吾	保健体育	31	非常勤講師	東 山 千 里	
15	教諭	光 山 愛	保健体育	32	特別支援教育支援員	浦 野 昌 明	
16	教諭	庄 禮 征 子	英語	33	講師	見 矢 真	
17	教諭	酒 井 恵 美	英語				

## 7. 学校医

	職名	氏名
1	内科	山 西 敏 之
2	眼科	森 周 子
3	耳鼻科	林 正 樹
4	薬剤師	木 村 幸 世
5	歯科	角 野 博 俊
6		中 西 英 晶



## Ⅱ 教育目標と努力点

### 1. 教育目標

人権尊重の精神を教育の基盤とし、「自分を大切にし、人を大切にする人間」の育成。

### 2. 具体的目標

- (1) 何事にも耐えぬく心を持ち、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる人間の育成。
- (2) 豊かな心情、思いやりの心をもつ人間の育成。
- (3) 強い身体と、基本的な生活習慣を身につけた人間の育成。

### 3. 努力点

学習指導要領の趣旨を生かし、本校の教育目標達成のため、教職員の総力を結集し、生徒が楽しく、充実した学校生活がおくれるよう次の点に努力する。

#### (1) 授業の充実

- ① 授業を大切にし、年間指導計画のもとに、よくわかる授業を創造し、生徒に学習への興味・関心を持たせる。
- ② 基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- ③ 家庭学習のあり方を研究する。
- ④ 道徳教育・特別活動を重視し、教職員と生徒および生徒相互の人間関係を深めるとともに、道徳的実践に取り組む。

#### (2) 人権・同和教育の充実と実践

- ① 差別を見抜き、差別を許さず、差別を自らの問題として解消しようとする行動力を持った生徒を育成する。
- ② 全教職員の共通理解のもとに、同和教育問題を正しく理解させる。
- ③ 城東ブロック人権教育研究会の実践を生かし、城東中学校地域人権・同和教育推進団体連絡協議会と連携を深め、さらなる推進をはかる。

#### (3) 生徒指導の充実

- ① 教職員と生徒および生徒と生徒との心のふれあいにつとめる。
- ② 不登校生徒に積極的に関わり、登校への意欲を喚起する。
- ③ いじめを許さない集団づくりにつとめる。
- ④ 生徒会活動を充実していく。
- ⑤ きめごとは必ず守るよう指導につとめる。
- ⑥ 保護者・地域と綿密な連絡をとり、協力する。
- ⑦ 挨拶運動をすすめる。

#### (4) 特別支援教育の充実

- ① 一人ひとりを大切にし、交流学习をすすめる。
- ② 保護者などへの啓発を行い、理解を深めてもらう。
- ③ 小学校と連携を深め、その結果を生かす。

(5) 教職員研修の充実

- ① 新教育課程の実践状況について確認しながら研修を深める。
- ② 授業研修を行い、お互い切磋琢磨し、授業について研究を進める。
- ③ ICT機器を活用した授業改善に努める。

(6) 学習環境の美化の充実

- ① 施設、設備などの充実整備につとめる。
- ② 美的感覚を養い、公共物を大切に使う習慣づくりをめざす。
- ③ 清掃を徹底し、ゴミのない学校にする。

(7) 国際社会に生きる日本人としての自覚を育成し、国際交流教育のより充実と深化に努める。

(8) 部活動の充実に努める。

---

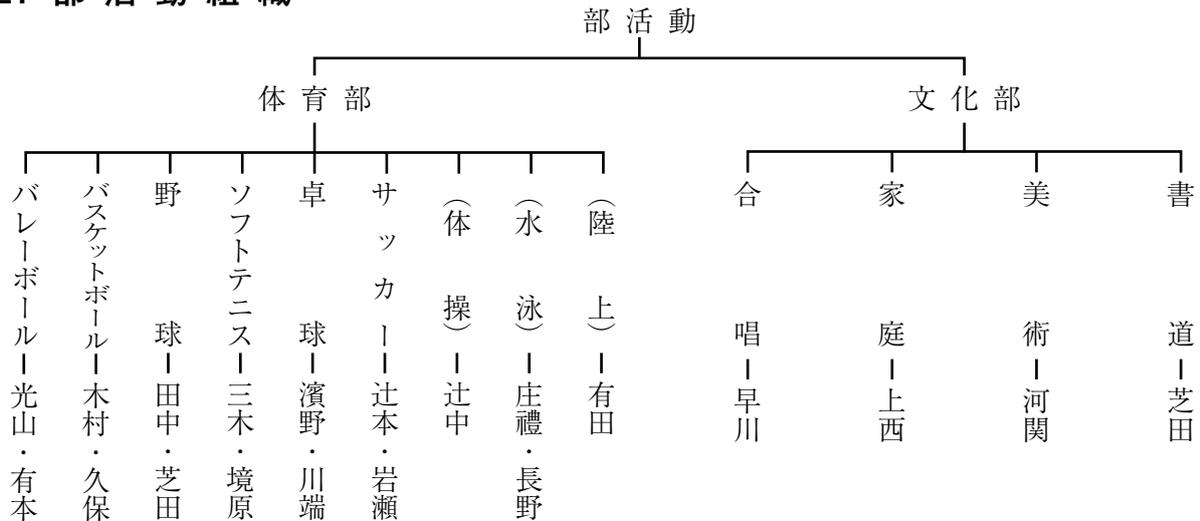
<教職員お互いの心構え>

- 師弟同一、知行合一
- 活力に満ちた学校にするため、学校運営への積極的参加





## 2. 部活動組織



## 3. 教育課程表

(教科等年間授業時間)

学科 学年	必 修 教 科									道 徳	学 活	総合的な学習	合 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体	技 家	英 語				
1 年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

## 4. 校 時 表

職 朝	8:15 ~ 8:30
朝 読	8:30 ~ 8:40
朝 の 会	8:40 ~ 8:45
1 限	8:50 ~ 9:40
2 限	9:50 ~ 10:40
3 限	10:50 ~ 11:40
4 限	11:50 ~ 12:40
休 憩 ・ 昼 食	
予 鈴	13:20
5 限	13:25 ~ 14:15
6 限	14:25 ~ 15:15
終 り の 会	15:20 ~ 15:30
清 掃	15:30 ~ 15:45
部 活 終 了	17:00
下 校	17:30

5. 平成27年度 年間行事計画 ※日程は各月の行事予定で変更する場合があります。

4月		5月		6月				
1	水	着任・職員会議 企画委員会	1	金	検尿2次	1	月	夏服完全更衣 人権同和委員会（特設授業）
2	木	企画委員会	2	土		2	火	市民憲章 教職員課訪問
3	金	職員会議 学年会・教科会	3	日	憲法記念日	3	水	迷惑調査 中体連抽選会
4	土		4	月	みどりの日	4	木	眼科検診 いじめアンケート
5	日		5	火	こどもの日	5	金	
6	月	職員会議予備	6	水	振替休日	6	土	
7	火	登校日 (大掃除・入学式準備・新学級発表)	7	木	家庭訪問	7	日	
8	水	入学式	8	金	家庭訪問	8	月	教育相談①
9	木	新任式・対面式・始業式 職員会議・学年会・運営委員会	9	土		9	火	教育相談②
10	金	1年 基礎学力テスト 教科会(年間計画など)	10	日		10	水	教科等別研修会
11	土		11	月	家庭訪問	11	木	教育相談③
12	日		12	火	家庭訪問	12	金	学校教育課訪問 5限研究授業
13	月	現職教育 (特別支援・保健室・生徒指導)	13	水	中間テスト発表 学年会 (家庭訪問のまとめ他)	13	土	
14	火	歯科健診(1・2年) 部活紹介	14	木	内科健診 諸費納入初回	14	日	
15	水	身体測定 中学校教科等別研修会	15	金	体力テスト 諸費納入初回	15	月	教育相談④
16	木	検尿1次	16	土	国際親善さよならパーティー	16	火	3年第1回復習テスト
17	金	検尿1次 修学旅行説明会	17	日		17	水	教育相談⑤
18	土		18	月		18	木	
19	日		19	火		19	金	
20	月	部活編成	20	水	中間テスト 城東ブロック人権教育研究総会	20	土	
21	火	全国学力学習状況調査	21	木	中間テスト 生徒会専門委員会	21	日	
22	水		22	金		22	月	期末テスト発表
23	木	耳鼻科健診	23	土		23	火	人権同和特設
24	金	育友会総会 参観授業	24	日		24	水	
25	土		25	月		25	木	
26	日		26	火	3年生修学旅行 2年生職場体験学習 3年生修学旅行	26	金	
27	月		27	水	2年生職場体験学習 1年生校外学習	27	土	
28	火	学級役員委嘱 生徒会専門委員会	28	木	3年生修学旅行 2年生職場体験学習	28	日	
29	水	昭和の日	29	金		29	月	期末テスト
30	木	検尿2次 内科検診 職員X線	30	土		30	火	期末テスト
			31	日				

国際親善生徒来和

7月			8月			9月		
1	水	期末テスト	1	土		1	火	始業式
		水泳諸注意	2	日				学年会
2	木		3	月	登校日	2	水	3年第2回復習テスト
3	金	中体連壮行会	4	火				1・2年課題テスト
4	土		5	水		3	木	
5	日		6	木		4	金	学級役員委嘱
6	月		7	金				生徒会専門委員会
7	火		8	土		5	土	
8	水	平和学習	9	日		6	日	
		職員会議（8月9月行事他）	10	月		7	月	
9	木		11	火		8	火	競書会
10	金	原票メ切り	12	水				
11	土		13	木		9	水	
12	日		14	金		10	木	
13	月	保護者懇談会	15	土		11	金	国体見学（ビッグホエール） 14:40~16:25
14	火	保護者懇談会	16	日				
15	水	保護者懇談会	17	月		12	土	
16	木	保護者懇談会	18	火		13	日	
			19	水		14	月	敬老の日
17	金	終業式	20	木		16	水	職員会議
		職員会議	21	金	登校日			
18	土		22	土		17	木	
19	日		23	日		18	金	
20	月	海の日	24	月		19	土	
21	火		25	火		20	日	
22	水		26	水		21	月	敬老の日
23	木		27	木		22	火	国民の休日
24	金		28	金		23	水	秋分の日
25	土		29	土		24	木	
26	日		30	日		25	金	
27	月		31	月		26	土	
28	火					27	日	
29	水					28	月	
30	木					29	火	
31	金					30	水	

※現地学習会 租税教室

※体育大会実行委員会

10月			11月			12月		
1	木	3年第1回実力テスト	1	日		1	火	期末テスト
2	金		2	月	3年第2回実力テスト	2	水	期末テスト 城東ブロック人権教育研究協議会？
3	土		3	火	文化の日	3	木	教育相談①
4	日		4	水	中学校教科等別研修会	4	金	生徒会立会演説会・投票 教育相談②
5	月		5	木	防災・避難訓練	5	土	
6	火		6	金		6	日	
7	水		7	土		7	月	
8	木		8	日		8	火	人権同和特設授業 教育相談③
9	金	英検（3年）	9	月		9	水	教育相談④
10	土		10	火	文化発表会	10	木	3年第3回実力テスト 教育相談⑤
11	日		11	水		11	金	
12	月	体育の日	12	木		12	土	
13	火		13	金		13	日	
14	水		14	土	学校開放 公開授業	14	月	原票メ切り
15	木	体育大会	15	日		15	火	
16	金	体育大会予備日	16	月	振替休日	16	水	
17	土		17	火		17	木	保護者懇談会
18	日		18	水	職員会議 学年会(特設等)	18	金	保護者懇談会
19	月	中間テスト発表 冬服完全更衣	19	木		19	土	
20	火		20	金	期末テスト発表	20	日	
21	水		21	土		21	月	保護者懇談会
22	木		22	日		22	火	保護者懇談会
23	金	アルバム用個人写真	23	月	勤労感謝の日	23	水	天皇誕生日
24	土		24	火	迷惑調査	24	木	終業式
25	日		25	水		25	金	
26	月	中間テスト	26	木		26	土	
27	火	中間テスト	27	金	生徒会専門委員会	27	日	
28	水	職員会議	28	土		28	月	
29	木		29	日		29	火	
30	金	生徒会専門委員会	30	月	期末テスト	30	水	
31	土					31	木	

※文化発表会実行委員会

※日程は各月の行事予定で変更する場合があります。

1月		2月		3月	
1	金 元旦	1	月 3年第5回実力テスト	1	火
2	土			2	水
3	日	2	火 3年素点〆切り	3	木
4	月			4	金 1・2年素点〆切り
5	火	3	水		
6	水 始業式	4	木	5	土
		5	金	6	日
7	木 3年第4回実力テスト	6	土	7	月
		7	日		
8	金	8	月 3年原票〆切り	8	火
9	土			9	水
10	日	9	火		
11	月 成人の日	10	水	10	木
		11	木 建国記念の日		
12	火 書き初め競書会	12	金 3年進路懇談会	11	金 1・2年原票〆切り
13	水				
14	木	13	土		
15	金	14	日	12	土
16	土			13	日
17	日	15	月 3年進路懇談会	14	月
		16	火 3年進路懇談会	15	火
18	月 3年学年末テスト発表 3年進路懇談会			16	水 職員会議
		17	水 3年進路懇談会 1・2年学年末テスト発表 職員会議	17	木
19	火 3年進路懇談会			18	金 合格発表
20	水	18	木		
21	木	19	金	19	土
22	金	20	土	20	日
23	土	21	日	21	月 春分の日
24	日	22	月	22	火
25	月 3年学年末テスト	23	火	23	水
		24	水 1・2年学年末テスト 3年第6回実力テスト	24	木 終業式
26	火 3年学年末テスト				
		25	木 1・2年学年末テスト 3年第6回実力テスト	25	金
27	水 3年学年末テスト 職員会議	26	金 1・2年学年末テスト 3年第6回実力テスト	26	土
		27	土	27	日
28	木	28	日	28	月
29	金	29	月	29	火
30	土			30	水
31	日			31	木 離任式

公立高校入試

## 6. 研究指導計画

### (1) 現職教育

#### 1. 目標

- (1) 日常実践をもとにして、具体的な問題を出し合い、解決の方向や方法について研究し、力量を高める。
- (2) 相互の啓発や新しい知識の導入によって、豊かな教養を身につける。

#### 2. 努力点

- (1) 委員会を中心とし、自主的な研究活動を深める。
- (2) よくわかる授業をめざし、教材研究や授業の方法を相互に深めあっていく。
- (3) 人権・同和について全教職員が共通理解し、教育実践に取り組む。
- (4) 広い視野に立って豊かな教養を得られる機会をつくる。

#### 3. 計画実践

学年	研修科目	研修内容
		○教育計画の立案
4～	評価研究	○評価評定の研究
	特別支援教育	○特別支援教育についての研究
	生徒指導	○生徒全般についての職員の意思統一及び指導方法
	授業研究	○ICT機器の活用研修
7月	人権・同和教育	○人権にかかわる問題発生時の対処について ○本校同和教育の現状
	保健指導	○生徒全般についての健康面の理解
8月	生徒指導等	○4～7月の反省と今後の取り組み
		○学び合いの授業研究
9～	教育課題	○教育課程の見直しを今後の課題
2月	授業研究	○ICT機器の活用研修
	生徒指導	○生徒の状況と指導方法について

(2) 教育課程

○ 基本方針

- (ア) 年間授業時数の確保
- (イ) 学活・道徳・総合の位置づけをはかる。
- (ウ) 各教科の関連をはかる。

(3) 教科指導

1. 指導目標

「自ら学べる授業」を創造するための実践を進める。

2. 努力点

- (ア) 生徒の相互学習を高める。
- (イ) ICTを活用した、よりわかる授業を推進する。
- (ウ) 教材・教具の研究を高め、学習環境の整備をはかる。
- (エ) 計画性をもって自発的に学習する態度を養う。
- (オ) 各教科の特質に応じた学習評価の方法を研究し、指導者自らの反省資料とするとともに生徒に個人の特長を見出させ、学習効果を発揮させる材料として活用する。
- (カ) 協働学習をとり入れた授業を推進する。

(4) 総合的な学習の時間

1. 指導目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることが出来るようにする。

2. 各学年の取り組み

1年生

①テーマ 「郷土を知ろう」

校外学習や調べ学習を通して、郷土和歌山の地理や歴史を知る。

②活動内容

- 5月 国際交流
- 6月 校外学習に向けて
- 7月 校外学習
- 9月 活動のまとめ
- 10月 校外学習（班別自主活動）に向けて
- 11月 活動のまとめ 文化発表会 体育大会
- 12月 2年生の職場体験学習の概要を知る。
- 1月
- 2月 ゲストティーチャーによる講話
- 3月

## 2年生

### ①テーマ 「仕事を体験しよう」

職場体験学習を通して、働く自分の姿を考える。

### ②活動内容

- 5月 国際交流
- 6月 校外学習に向けて
- 7月 校外学習（班別自主活動）活動のまとめ
- 9月 職場体験学習に向けて（職業調べ）
- 10月 職場体験学習
- 11月 職場体験学習のまとめ 文化発表会
- 12月
- 1月 グループ作業と発表
- 2月 ゲストティーチャー講話
- 3月 進路について（県内の高校を知る。）

## 3年生

### ①テーマ 「自分の将来を考えよう」

学校生活や様々な行事等を通じて出会った人々の生き方や考え方に触れ、将来の自分の姿を見つめる。

### ②活動内容

- 5月 国際交流（カナダからの訪問を受ける）
  - 6月 修学旅行に向けて
  - 7月 修学旅行のまとめ
  - 9月
  - 10月 体育大会
  - 11月 文化発表会
  - 12月 進路について
  - 1月
  - 2月
  - 3月
- } 進路決定

生徒の実態 ・生徒は、純朴である。 ・「早寝、早起き、朝ごはん」といった基本的な生活習慣が身につけていない生徒の割合が大きい。 ・私学、県立中学校等へ進学率が50%以上あり、リーダとなる生徒が少ない、また、成績上位群が少ない。 ・集団生活で、周りに気配りできない生徒がいる。
---

学校教育目標
人権尊重の精神を教育の基盤とし 「自分を大切に、人を大切にする人間」の育成

保護者の願い ・将来の夢に向かって努力して欲しい。 ・学力・体力の向上に取り組んで欲しい ・正しい学習・生活習慣を身につけて欲しい。
---

地域の実態 ・JR和歌山駅に隣接した商業地区であり、問屋、小売業、サービス業が中心である。 ・繁華街のため飲食店が多く、夜間子どもたちだけで生活をする家庭が多い。 ・教育には非常に熱心であり、学校への協力姿勢が強い。
---

各校において定める目標
(1) 何事にも耐えぬく心を持ち、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる人間の育成 (2) 豊かな心情、思いやりの心をもつ人間の育成 (3) 強い身体と、基本的な生活習慣を身に着けた人間の育成

地域の願い ・歴史と伝統のある中学校で懸命に学習し、地域と共に歩み地域の誇りを持つ生徒になって欲しい。
--

育てようとする資質 能力及び態度	
学習方法	・問題状況の中から適切に課題を設定する。 ・課題解決をめざし比較・推測する。 ・自分と異なる他者の意見を尊重しつつ、自身の考えを表現する。
自分自身	・自己の将来を考え、将来への夢や希望を描く。 ・目標を明らかにし、課題を解決するために計画的に実行する。
他者や社会	・仲間の特徴を生かして、協同して課題を解決する。 ・地域の社会活動に参画する。

内 容		
課題	学習対象	学習事項
コミュニケーション活動	コミュニケーション・言語活動	・表現活動において、課題を設定し、言語活動を通して他者の意見を尊重しつつ自分の考えをわかりやすく伝える
職業・将来	地域で働く方々の仕事に対する姿や願い	・職業等に関して職場体験等主体的に探究活動をおこない、自己の職業観について考える。
福祉	・自己の将来に向けて ・地域社会	・自己を理解し、自分の課題を把握し、将来の生き方を考え、その解決のために計画的・協同的に活動する。

学年の目標	
1年	「郷土を知ろう」 校外学習や調べ学習を通して、郷土和歌山の地理や歴史を知る。「総合美術」「総合音楽」として芸術に親しむ
2年	「仕事を体験しよう」 職場体験学習を通して、働く自分の姿を考える。
3年	「自分の将来を考えよう」 学校生活や様々な行事等を通じて出会った人々の生き方や考え方に触れ、将来の自分の姿を見つける。
全学年	・集団的体育活動を通して、体力の向上と心身の健全な発達、さらに協力して責任を果たす態度を身につける。

指導方法
○課題意識を高める指導方法の工夫。 ○言語活動を積極的に取り入れた学習活動の位置づけ。 ○対話やコミュニケーション力を重視した学習活動の充実。

学習の評価
・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化 ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ○課題を発見し探究する力。 ○学んだことをまとめ表現する力。 ○協同して活動する力。

指導体制
○学年または全校を中心とした指導とサポート体制の構築。 ○全教員の共通意識を確立した支援体制を整える。 ○異学年での実践と情報の交流をおこなう。

## 総合的な学習の時間 年間計画表

学校名・学年【和歌山市立城東中学校 1年】

学習期間	学習名	学習の目的	学習の概要	時間数
4月～ 7月	仲間づくり  キッザニア	新しく仲間になった級友とのかかわりかたを携帯のライン利用について考える。	ゲストティーチャーの話より、インターネットから起こる身近な問題を、考えさせ、正しい携帯の使い方を学ぶ。	1時間
			(校外学習) キッザニアで体験し、調べた内容の確認と各種の活動を行う。	9時間
			(まとめ) 体験してきた内容をまとめる。文化発表にむけて取り組む(展示)。	2時間
9月	国体見学	郷土の選手を応援し、夢と感動を共有する。競技の特性を理解するとともに、スポーツに対する認識や意欲を高揚させる。ハイレベルな技能を見学し、今後の器械運動の授業にいかせるようにする。	体操競技の見学をし、自校の選手や郷土の選手を応援する。  (まとめ) 選手の技能や態度、郷土の選手の活躍など、見学したことを感想文に書く。	3時間  1時間
9月～10月	『成功させよう体育大会～城東生徒の絆～』	集団的体育活動を通して、体力の向上と心身の健全な発達、さらに協力して責任を果たす態度を育てる。	(事前学習) 各学年3ブロックに分けて、リーダー、競技種目の選手決めと練習、応援の打ち合わせと練習。	8時間
			(予行練習+体育大会) 自分の力を発揮すること、応援合戦をする。	8時間
			(まとめ) 自分のがんばりを反省用紙に記入するとともに次年度のための資料を残す。	2時間
11月	学習発表	合唱・合奏を通して、コミュニケーション能力を身につける。	学習発表会において、合唱・合奏によって表現力豊かに自分たちの思いを伝える。	9時間
12月～ 3月	将来について	2年生で実施する職場体験学習に向けて、意識を高める。	さまざまな職業について調べて発表する。	7時間

## 総合的な学習の時間 年間計画表

学校名・学年【和歌山市立城東中学校 2年】

学習期間	学習名	学習の目的	学習の概要	時間数
4月～ 7月	キャリア教育 (職場体験学習)  和歌山市内事業所	実際の「仕事」を体験 することを通して、 働くことの大変さや 意義を実感する。	(事前学習) ガイダンス、事業所希望調査、 事業所決定、事前訪問 (職場体験学習) 地域の事業所等で、実際に「仕 事」を体験する。 (まとめ) 事業所へ礼状作成、学習発表会 での成果の発表(展示)、職場 体験学習報告会での発表。	10時間  18時間  3時間
9月	国体見学	郷土の選手を応援し、 夢と感動を共感する。 競技の特性を理解す ると共に、スポーツ に対する認識や意欲 を高揚させる。ハイ レベルな技能を見学 し、今後の器械運動 の授業にいかせるよ うにする。	体操競技の見学をし、自校の選 手や郷土の選手を応援する。  (まとめ) 選手の技能や態度、郷土の選手 の活躍など、見学したことを感 想文に書く	3時間  1時間
10月～11月	『成功させよう体育 大会～城東生徒の絆 ～』	集団的体育活動を通 し、体力の向上と心 身の健全な発達、さ らに協力して責任を 果たす態度を育てる。	(事前学習) 各学年3ブロックに分けて、リー ダー、競技種目の選手決めと練 習、応援の打ち合わせと練習。 (予行練習+体育大会) 自分の力を発揮すること、応援 合戦をする。 (まとめ) 自分のがんばりを反省用紙に記 入するとともに次年度のための 資料を残す。	8時間  8時間  2時間
11月	文化発表会	和楽器に親しむこと により日本の音楽の 特徴に気付かせ味わ いを感じとる。	文化学習発表会において和楽器 に取り組み、表現力豊かに演奏 することにより、力強い響きと 表現の工夫をし、日本の音楽の 美しさを伝える。	11時間
12月～ 3月	進路学習	自分の特性や志望な どを明確にし、卒業 の進路について具体 的に考える。	職場体験学習の経験やゲストテ ィーチャーの講話から、自分の 特性を生かせる職業についての 考えを深める。また、近隣の高 等学校の様子や入試制度につい て理解する。	6時間

## 総合的な学習の時間 年間計画表

学校名・学年【和歌山市立城東中学校 3年】

学習期間	学習名	学習の目的	学習の概要	時間数
4月～ 7月	出会いから学ぶ 北海道	事前学習・当日の班別行動・事後のまとめ活動を通して、情報収集力・情報活用能力・情報整理力等を高める。 また、班別行動計画を自分たちで考え、実際の班別行動することによって、自己決定力を身につけ協調性を養う。	(事前学習) 班を編成し、各班で行動計画を考える。 (校外学習) 班で協力しながら行動し、写真等の記録を残す (まとめ) 収集した記録をもとに今回の班別行動のようすをまとめるとともに、修学旅行での班別行動に向けて、課題の点検をする。	16時間 6時間 3時間
9月	国体見学	郷土の選手を応援し、夢と感動を共感する。競技の特性を理解すると共に、スポーツに対する認識や意欲を高揚させる。ハイレベルな技能を見学し、今後の器械運動の授業にいかせるようにする。	体操競技の見学をし、自校の選手や郷土の選手を応援する。  (まとめ) 選手の技能や態度、郷土の選手の活躍など、見学したことを感想文に書く。	3時間 1時間
10月～11月	『成功させよう体育大会～城東生徒の絆～』	集団的体育活動を通して、体力の向上と心身の健全な発達、さらに協力して責任を果たす態度を育てる。	(事前学習) 各学年3ブロックに分けて、リーダー、競技種目の選手決めと練習、応援の打ち合わせと練習。 (予行練習+体育大会) 自分の力を発揮すること、応援合戦をする。 (まとめ) 自分のがんばりを反省用紙に記入するとともに次年度のための資料を残す。	10時間 8時間 2時間
11月	学習発表	合奏・合唱を通して、コミュニケーション能力を身につける。	学習発表会において、合奏・合唱への取り組みから表現力を高め、音楽の音の重なりを伝える。	9時間
12月～ 3月	進路決定	自分の特性や志望などを明確にし、卒業の進路について具体的に考える。	中学生活3年間の経験やゲストティーチャーの講話から、自分の特性を生かせる職業についての考えを深め、その方向の実現に向けて高等学校等の卒業後の進路を決定する。	12時間

(5) 道徳教育

学校教育目標	人権尊重の精神を教育の基礎とし、 「自分を大切にし、人を大切にする人間」の育成
具体的目標	心豊かで思いやりのある礼儀正しい人間の育成 身体を鍛え、耐え抜く心をもった人間の育成 基本的生活態度を身につけ意欲的に学習できる人間の育成
道徳教育目標	人間の尊さを大切にし、集団の中で主体的に生きる生徒を育てる

学年道徳目標

	1年	2年	3年
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい生活習慣</li> <li>・自主自律</li> <li>・個性や立場の尊重</li> <li>・生命の尊重</li> <li>・郷土愛、先人への尊敬と感謝</li> <li>・感謝</li> <li>・友情、信頼</li> <li>・集団生活の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀、適切な言動</li> <li>・節度節制</li> <li>・役割と責任の自覚</li> <li>・正しい異性理解と人格の尊重</li> <li>・伝統の継承と文化の創造</li> <li>・勤労、社会への奉仕</li> <li>・差別、偏見の克服</li> <li>・自然の愛護、畏敬の念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公德心、社会連帯の自覚</li> <li>・誠実と責任</li> <li>・反省と向上、個性の伸長</li> <li>・人間の強さと気高さ</li> <li>・国際理解と平和</li> <li>・公共の福祉</li> <li>・理想の実現</li> <li>・権利義務、社会の秩序と規律</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になったという誇りを持ち自主的な態度を養う。</li> <li>・互いの立場を尊重し、みんなで問題を解決しようとする民主的な態度を養う。</li> <li>・家庭や学校における人間関係について考え、思いやりのある心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の一員としての自覚と責任を持たせる。</li> <li>・自他の長所を発見し、個性の伸長に努める生活態度を養う。</li> <li>・男女の平等と相違を理解し、男女の協力的なあり方について考えさせる。</li> <li>・異文化に接し、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化に接し、理解を深めるとともに、相互扶助の精神を養い、国際社会に貢献する。</li> <li>・自己と社会に対する理解を深め、よりよい社会の実現をめざす。</li> <li>・現実をふまえ、理想を求めながら、自分の進む道を切り開こうとする意欲を育てる。</li> </ul>

教科指導に際して	各教科における道徳的内容の指導 生徒の相互学習を高める 計画性をもって自発的に学習する態度を養う 個人の特性の発見、育成	学校教育と家庭教育、 社会教育との連携を図り、 道徳教育の推進に努める
道徳の時間の持ち方	道徳的知識だけでなく、課題について討論することで、考えを深める 各種資料、機器を活用し、効果的な指導を行う 道徳の授業時間の確保に努める	
安全教育	自他の生命を尊重し、家庭や学校、地域社会における安全保持に協力する態度を育成する	
人権同和	日常の種々の差別を科学的に認識できる生徒を育成する	
生徒指導	規律ある生活態度を身につけ、自主性を伸ばす	
環境教育	学習環境の美化に積極的に参加する態度を養う	
性教育	異性を理解し、尊重することで、男女の協力的な社会づくりへの意識を高める	
情報モラル教育	情報機器を正しく使うためにネット社会におけるマナーを身につけ、セキュリティの重要性を認識させる	

## 道徳年間指導計画

月	1 年	2 年	3 年
4	① 望ましい生活習慣 1-(1) ② 礼儀 2-(1) ③ 自他の尊重 2-(6)	① 礼儀 2-(1) ② 望ましい生活習慣 1-(1) ③ 自他の尊重 2-(6)	① 望ましい生活習慣 1-(1) ② 自主・自律 1-(3) ③ 自他の尊重 2-(6)
5	④ 自主・自律 1-(3) ⑤ 思いやり 2-(2) ⑥ 公共の福祉・勤労 4-(3)	④ 広い心 2-(5) ⑤ 公正・公平 4-(3) ⑥ 公共の福祉・勤労 4-(3)	④ 礼儀 2-(1) ⑤ 集団生活の向上 4-(4) ⑥ 家族愛 4-(6)
6	⑦ 友情 1-(3) ⑧ 生命の尊重 3-(1) ⑨ 自然愛 3-(2) ⑩ 家族愛 4-(6)	⑦ 生命の尊重 3-(1) ⑧ 思いやり 2-(2) ⑨ 家族愛 4-(6) ⑩ 日本人としての自覚 4-(9)	⑦ 健全な異性観 2-(4) ⑧ 生命の尊重 3-(1) ⑨ 友情 1-(3) ⑩ 人類の幸福 4-(10)
7	⑪ 健全な異性観 2-(4) ⑫ 人類の幸福 4-(10)	⑪ 健全な異性観 2-(4) ⑫ 人類の幸福 4-(10)	⑪ 公正・公平 4-(3) ⑫ 愛校心 4-(7)
9	⑬ 広い心 2-(5) ⑭ 集団生活の向上 4-(4) ⑮ 社会の秩序 4-(1) ⑯ 日本人としての自覚 4-(9)	⑬ 自主・自律 1-(3) ⑭ 集団生活の向上 4-(4) ⑮ 国際理解 4-(10) ⑯ 勤労の尊さ 4-(5)	⑬ 広い心 2-(5) ⑭ 社会の秩序 4-(1) ⑮ 誠実・責任 1-(3) ⑯ 希望・勇気 1-(2)
10	⑰ 畏敬の念 3-(2) ⑱ 生命の尊重 3-(1) ⑲ 勤労の尊さ 4-(5) ⑳ 誠実・責任 1-(3)	⑰ 友情 1-(3) ⑱ 畏敬の念 3-(2) ⑲ 愛校心 4-(7) ⑳ 誠実・責任 1-(3)	⑰ 家庭愛 4-(6) ⑱ 人間愛 2-(2) ⑲ 公共の福祉・勤労 4-(3) ⑳ 日本人としての自覚 4-(9)
11	㉑ 強い意志 1-(2) ㉒ 向上心 1-(5) ㉓ 理想の実現 1-(4) ㉔ 国際理解 4-(10)	㉑ 強い意志 1-(2) ㉒ 思いやり 2-(2) ㉓ 畏敬の念 3-(2) ㉔ 公正・公平 4-(3)	㉑ 理想の実現 1-(4) ㉒ 畏敬の念 3-(3) ㉓ 生きる喜び 3-(3) ㉔ 自然愛 3-(2)
12	㉕ 人間愛 2-(2) ㉖ 家庭愛 4-(6) ㉗ 公正・公平 4-(3)	㉕ 人間愛 2-(2) ㉖ 家庭愛 4-(6) ㉗ 理想の実現 1-(4)	㉕ 強い意志 1-(2) ㉖ 思いやり 2-(2) ㉗ 国際理解 4-(10)
1	㉘ 理想社会の実現 2-(3) ㉙ 愛国心 4-(9) ㉚ 希望・勇気 1-(2)	㉘ 向上心 1-(5) ㉙ 社会の秩序 4-(1) ㉚ 生きる喜び 3-(3)	㉘ 郷土愛 4-(8) ㉙ 公正・公平 4-(3) ㉚ 理想の実現 1-(4)
2	㉛ 理想の実現 1-(4) ㉜ 社会の秩序 4-(1) ㉝ 生きる喜び 3-(3)	㉛ 理想社会の実現 2-(2) ㉜ 愛国心 4-(9) ㉝ 希望・勇気 1-(2)	㉛ 人類の幸福 4-(10) ㉜ 愛国心 4-(9) ㉝ 向上心 1-(5)
3	㉞ 愛校心 4-(7) ㉟ 郷土愛 4-(8)	㉞ 理想の実現 1-(4) ㉟ 郷土愛 4-(8)	㉞ 理想社会の実現 2-(2) ㉟ 畏敬の念 3-(2)

# 道徳教育の全体計画 別葉 1年生

教育活動/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>国語</b>	言葉に出会うために 1-(1)2-(2)2(6) 1-(3)3-(1)3-(2)4-(6)	にじの見える橋 友達をみんなに紹介 しぼり1-(3)1-(3)2-(2)4-(3)	ダイコンは大きな根？ ちよつと立ち止まって 1-(3)3-(1)3-(2)4-(6)	アフリカ州、北アメリカ州 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	大人になれなかつた男 たちに 2-(5)4-(1)(4)	流氷と私たちの暮らし 2-(2)4-(3)(6)	少年の日の思い出 2-(3)4-(1)3-(3)	季節のしおり					
<b>社会</b>	世界のさまざまな姿 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	世界の男女の生活と職業 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	アジア州、ヨーロッパ 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	アフリカ州、北アメリカ州 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	南アメリカ州、オセアニア州 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	日本のさまざまな地域 世界の日本の自然環境 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	政界から見た日本の人口 歴史から見た日本の 古代までの日本 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)	東アジア世界のなかの わりと互恵変動 1-(5)3-(1)(2)2-(2)6-3-(3)4-(1) (2)(6)3-(3)4-(1) (3)(9)(10)					
<b>数学</b>	正の数負の数 1-(4)	正の数負の数 1-(4)	文字式 1-(4)	文字式 1-(4)	方程式 4-(3)	比例と反比例 1-(4)	平面図形 1-(4)	空間図形 1-(4)	平面図形 1-(4)	空間図形 1-(4)	空間図形 1-(4)	空間図形 1-(4)	
<b>理科</b>	植物の生活と種類 3-(1)(2)	植物の生活と種類 3-(1)(2)	植物の生活と種類 3-(1)(2)	身近な物理現象 1-(4)	力と圧力 1-(4)	力と圧力 1-(4)	大地の変化 3-(2)	大地の変化 3-(2)	大地の変化 3-(2)	身の回りの物質 1-(4)	水溶液 1-(4)	水溶液 1-(4)	
<b>英語</b>	Warm-Up 1-(1)(2)	Unit1.1 1-(1)(2)2-(2)4-(3)	Unit3 1-(1)2-(1)	MultiPlus 1-(1)2-(1)	Unit5.6 Listening Plus2 Speaking Plus1 1-(1)(3)2-(1)2-(4-6)	Unit7.8 1-(1)(3)2-(1)4-(4)	Writing Plus2 Unit9 Listening Plus4 Speaking Plus2 1-(1)(3)2-(1)	MultiPlus2 1-(1)2-(1)	Unit10 Speaking Plus3 1-(1)(3)2-(1)	Unit11 1-(1)(3)2-(1)4-(3)	Let's Read 2-(2)4-(8)9(10)		
<b>音楽</b>	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	イメージと音楽 1-(5)	イメージと音楽 1-(5)	音楽の楽しみ 4-(4)	日本の音楽 1-(5)4-(9)	日本の音楽 1-(5)4-(9)	日本の音楽 1-(5)4-(9)	イメージと音楽 1-(5)	音楽の喜び 2-(6)4-(4)	音楽の喜び 2-(6)4-(4)	音楽の喜び 2-(6)4-(4)	
<b>保健体育</b>	体育理論 1-(1)2-(2)	陸上 1-(2)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	器械運動 1-(2)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	陸上競技 1-(2)	球技 1-(2)	武道、ダンス 1-(2)2-(1)4-(9)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	
<b>技術・家庭</b>	私たちの成長と家族 4-(6)	健康と食生活 1-(1)	情報モラル 4-(1)	健康と食生活 1-(1)	食品の選択と保存 1-(1)2-(2)	調理をしよう 1-(1)2-(2)	調理をしよう 1-(1)2-(2)	調理をしよう 1-(1)2-(2)	調理をしよう 1-(1)2-(2)	地域の文化と食文化 1-(1)(3)2-(1)4-(6)	地域の文化と食文化 1-(1)(3)2-(1)4-(6)	地域の文化と食文化 1-(1)(3)2-(1)4-(6)	
<b>美術</b>	美術について 1-(2)	美術について 1-(2)	美術について 1-(2)	美術について 1-(2)	水彩画、鑑賞、構想 表現 1-(5)2-(2)4-(4)	水彩画、鑑賞、構想 表現 1-(5)2-(2)4-(4)	水彩画、鑑賞、構想 表現 1-(5)2-(2)4-(4)	水彩画、鑑賞、構想 表現 1-(5)2-(2)4-(4)	水彩画、鑑賞、構想 表現 1-(5)2-(2)4-(4)	粘土 1-(5)2-(2)4-(4)	粘土 1-(5)2-(2)4-(4)	デザイン 1-(5)2-(2)4-(4)	
<b>学級活動</b>	学級開き、組織づくり 1-(1)4-(4)	校外学習に向けて 1-(2)	期末テストに向けて 1-(2)	1学期の反省 1-(5)	登校日(平和学習) 1-(2)(3)3-(1) (2)(3)4-(8)(3)	校外学習、球技大会 1-(2)(3)2-(1) (6)94-(3)	体育大会 文化発表大会 1-(2)(3)2-(1)(6)94-(3)	体育大会 文化発表大会 1-(2)(3)2-(1)(6)94-(3)	期末テストに向けて 1-(2)	3学期の目標づくり 1-(2)	卒業式 1-(2)4-(7)	卒業式 1-(1)(2)4-(7)	
<b>生徒会活動</b>	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	
<b>学校行事</b>	入学式、始業式 1-(1)(2)4-(7)	校外学習に向けて 4-(4)	期末テスト 1-(2)	終業式 1-(1)	登校日(平和学習) 1-(2)(3)3-(1) (2)(3)4-(8)(3)(10)	始業式 校外学習、球技大会 1-(2)(3)2-(1)(6)94-(3)	体育大会 文化発表大会 1-(2)(3)2-(1)(6)94-(3)	体育大会 文化発表大会 1-(2)(3)2-(1)(6)94-(3)	終業式、期末テスト 1-(1)(2)	始業式 1-(1)	卒業式 1-(2)4-(7)	卒業式、終業式 学年末テストに向けて 1-(1)(2)4-(7)	
<b>常時指導</b>	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)
<b>家庭や地域との連携</b>	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	

# 道徳教育の全体計画 別葉 2年生

教育活動/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>国語</b>	明日 枕草子 2-(1) 2-(6)	やさしい日本語 新しい短歌のために 4-(9)	メディアと上手につき 合うために 五重の塔はなぜ倒れ ないのか 1-(3) 2-(2) 4-(3) 4-(4)	益土産 気持ちよさを込めて書こう 1-(3) 2-(2) 4-(4) 5-(6) 4-(3) 6-(6)	話し合って考えを 広げよう 1-(3) 2-(6) 4-(3) 4-(4) 4-(1) 3-(4)	立ち場と根拠を明確に 書こう 1-(2) 2-(1) 2-(2) 4-(3)	表現の仕方を工夫し よう 1-(2) 3-(3) 2-(2) 4-(4)	身近な人の物語を 探そう 2-(5) 4-(9) 10-(10)					
<b>社会</b>	近世の日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	近世の日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	近世の日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	近世の日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	近世の日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	近世の日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	二度の世界大戦と日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	二度の世界大戦と日本 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	日本の諸地域 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	日本の諸地域 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	日本の諸地域 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	日本の諸地域 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)	日本の諸地域 1-(5) 3-(1) 2-(2) (6) 3-(3) 4-(1) 3-(3) (9) 10-(10)
<b>数学</b>	式の計算 1-(4)	文学式の利用 1-(4)	連立方程式 1-(4)	一次関数 1-(4)	図形の調べ方 1-(4)	図形の調べ方 1-(4)	図形の性質と証明 1-(4)	図形の性質と証明 1-(4)	図形の性質と証明 1-(4)	図形の性質と証明 1-(4)	図形の性質と証明 1-(4)	図形の性質と証明 1-(4)	
<b>理科</b>	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	動物の生活と種類 1-(4)	
<b>英語</b>	WarmUp, Unit 1 ListeningPlus 1 WritingPlus 1 1-(3) 2-(2) 5-(6)	Unit 2 ListeningPlus 2 SpeakingPlus 1 2-(1) 4-(3)	Unit 3 ListeningPlus 2 WritingPlus 2 2-(1) 4-(3)	Unit 4 ListeningPlus 1 SpeakingPlus 2 1-(1) 3-(3) 2-(1)	Let's Read 1, Unit 4 ListeningPlus 3 SpeakingPlus 2 1-(1) 3-(3) 2-(1) 2-(2)	Unit 5 ListeningPlus 3 SpeakingPlus 3 1-(1) 3-(3) 2-(1) 4-(3)	Unit 6 ListeningPlus 6 MultiPlus 2 1-(1) 3-(3) 2-(1) 4-(3)	Unit 7 ListeningPlus 7 MultiPlus 3 1-(1) 2-(3) 2-(2) 5-(6)	Let's Read 2 ListeningPlus 7 MultiPlus 3 1-(1) 2-(3) 2-(2) 5-(6)	Unit 7 ListeningPlus 7 MultiPlus 3 1-(1) 2-(3) 2-(2) 5-(6)	SpeakingPlus 4 WritingPlus 3 1-(1) 2-(1) 4-(1)	SpeakingPlus 4 WritingPlus 3 1-(1) 2-(1) 4-(1)	
<b>音楽</b>	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	
<b>保健体育</b>	体育理論 1-(1) 2-(2)	陸上 1-(2)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	器械運動 1-(2)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	陸上競技 1-(2)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	武道、ダンス 1-(2) 2-(1) 4-(9)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	球技 1-(2) 3-(4) 4-(3) 4-(4)	
<b>技術・家庭</b>	健康と食生活 1-(2) 3-(1)	設計 1-(3)	設計 1-(3)	設計 1-(3)	部品加工 1-(3)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	食品の選択と調理 1-(4) 4-(4)	
<b>美術</b>	美術について 1-(2)	美術について 1-(2)	美術について 1-(2)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	デザイン 1-(5) 2-(2) 4-(4)	
<b>学級活動</b>	学級開き、組織づくり 1-(1) 4-(4)	校外学習に向けて 1-(2)	期末テストに向けて 1-(2)	1学期の反省 1-(5)	登校日(平和学習) 1-(2) 3-(3) 3-(1) 2-(3) 4-(8) 3-(10)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	
<b>生徒会活動</b>	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	専門委員会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 4-(3) 4-(7)	
<b>学校行事</b>	入学式、卒業式 1-(1) 2-(4) 7-(7)	校外学習において 4-(4)	期末テストに向けて 1-(2)	総業式 1-(1)	登校日(平和学習) 1-(2) 3-(3) 3-(1) 2-(3) 4-(8) 3-(10)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	体育大会 1-(2) 3-(3) 2-(1) 6-(4)	
<b>常時指導</b>	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	登下校指導 1-(1) 3-(3) 2-(1) 3-(1) 4-(3)	
<b>家庭や地域との連携</b>		家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	

# 道徳教育の全体計画 別葉 3年生

教育活動/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>国語</b>	説得力のある考えを述べよう 1-(2)(3)2-(6)4-(3)	自分の魅力を伝えよう 1-(2)2-(2)(5)3-(1)	未来の私にお薦めの本 1-(3)(4)2-(6)3-(3)	挨拶—原簿の写真に込めて 1-(3)2-(2)(6)3-(1)3-(4)(5)(6)(8)(9)	若を待つと夏草 1-(2)2-(2)(6)	理論の展開に着目して読もう 1-(3)(5)2-(6)4-(3)	課題解決に向けて話し合おう 1-(2)(3)2-(5)(6)	三年間の歩みを編集しよう 1-(3)2-(4)(6)4-(3)	学びて問ひこれを知んて 2-(1)4-(3)	働くというこゝろをわだしまねないで 1-(1)(2)(3)2-(6)4-(3)			
<b>社会</b>	二度の世界大戦と日本 1-(6)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	二度の世界大戦と日本 1-(6)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	現代の日本と世界 1-(6)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	私たちの生活と政治 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	私たちの生活と政治 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	私たちの生活と政治 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	私たちの生活と政治 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	私たちの生活と政治 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	現在の国際社会 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)	私たちの生活と経済 1-(5)3-(1)(2)2-(2)(6)3-(3)4-(1)(3)(9)(10)			
<b>数学</b>	式の展開と因数分解 1-(4)	式の展開と因数分解 1-(4)	平方根 1-(4)	平方根 1-(4)	二次方程式 1-(4)	関数=ax <sup>2</sup> 1-(4)	図形と相似 1-(4)	円の性質 1-(4)	平方の定理 1-(4)	標本調査 1-(4)			
<b>理科</b>	生物の細胞と生殖 1-(4)3-(1)	生物の細胞と生殖 1-(4)3-(1)	運動の規則性 1-(4)	運動の規則性 1-(4)	地球と宇宙 1-(4)	地球と宇宙 1-(4)	物質と化学変化の利便 1-(4)	物質と化学変化の利便 1-(4)	物質と化学変化の利便 1-(4)	自然と人間 1-(4)3-(1)	科学技術と人間 1-(4)	科学技術と人間 1-(4)	
<b>英語</b>	Warm-Up, Unit1 Listening Plus1 1-(3)2-(1)(2)	MultiPlus1 Unit2 Listening Plus2 2-(1)	Writing Plus1 Unit3, Listening Plus3 Speaking Plus1 2-(1)	MultiPlus 1-(3)2-(2)	Speaking Plus2 Let's Read1, Unit4 Listening Plus4 1-(1)4-(10)	Speaking Plus3 Unit5 Listening Plus5 1-(1)4-(8)(9)	Speaking Plus4 Unit6 Writing Plus6 1-(1)4-(3)	Writing Plus3 MultiPlus3 1-(1)4-(3)	Let's Read3 1-(4)4-(8)(9)	Let's Read2 1-(4)	Let's Read3 1-(4)4-(8)(9)	Let's Read3 1-(4)4-(8)(9)	
<b>音楽</b>	音楽の楽しみ 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)	イメージと音楽 1-(5)	イメージと音楽 1-(5)	音楽の楽しみ 1-(5)4-(4)	日本の音楽 1-(5)4-(9)	日本の音楽 1-(5)4-(9)	日本の音楽 1-(5)4-(9)	イメージと音楽 1-(5)	音楽の喜び 2-(6)4-(4)	音楽の喜び 2-(6)4-(4)	音楽の喜び 2-(6)4-(4)	
<b>保健体育</b>	体育理論 1-(1)2-(2)	陸上 1-(2)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	器械運動 1-(2)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	陸上競技 1-(2)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	武道、ダンス 1-(2)2-(1)4-(9)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	球技 1-(2)(3)4-(3)(4)	
<b>技術・家庭</b>	私の成長と家族 4-(6)	幼児の生活と遊び 3-(1)	幼児の生活と遊び 3-(1)	幼児の生活と遊び 3-(1)	幼児の生活と遊び 3-(1)	幼児の生活と遊び 3-(1)	幼児の生活と遊び 3-(1)2-(2)	幼児とのふれあい 3-(1)2-(2)	コンピューター 2-(5)	コンピューター 2-(5)	幼児のおもちゃづくり 1-(2)3-(1)	わたしをまわってくれた 家族と周囲の人々 3-(1)4-(6)	
<b>美術</b>	美術について 1-(2)	美術について 1-(2)	デザイン 1-(5)2-(2)4-(4)	デザイン 1-(5)2-(2)4-(4)	絵画、鑑賞、構想表現 1-(5)2-(2)4-(4)	絵画、鑑賞、構想表現 1-(5)2-(2)4-(4)	絵画、鑑賞、構想表現 1-(5)2-(2)4-(4)	絵画、鑑賞、構想表現 1-(5)2-(2)4-(4)	絵画、鑑賞、構想表現 1-(5)2-(2)4-(4)	工芸 1-(5)2-(2)4-(4)	工芸 1-(5)2-(2)4-(4)	工芸 1-(5)2-(2)4-(4)	
<b>学級活動</b>	学級開き、組織づくり 1-(1)4-(4)	校外学習に向けて 1-(1)4-(4)	1学期の反省 1-(5)	1学期の反省 1-(5)	修学旅行 1-(2)(3)3-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	3学期の目標づくり 1-(2)	卒業式 1-(2)4-(7)	卒業式 1-(1)(2)4-(7)	
<b>生徒会活動</b>	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	生徒会研修 1-(3)2-(1)4-(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	専門委員会 1-(2)(3)2-(1)4-(3)(4)(7)	
<b>学校行事</b>	入学式、始業式 1-(1)(2)4-(7)	校外学習に向けて 4-(4)	期末テスト 1-(2)	期末テスト 1-(2)	期末テスト 1-(2)(3)4-(8)(3)(10)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	修学旅行 1-(2)(3)2-(1)	
<b>常時指導</b>	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)	登下校指導 生活指導 1-(1)(3)2-(1)3-(1)4-(3)
<b>家庭や地域との連携</b>	家庭訪問 4-(7)	家庭訪問 4-(7)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	育友会奉仕活動 4-(5)(7)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	保護者会 1-(1)2-(1)(2)4-(6)	

情報モラル教育 学年別目標

項目 学年	情報社会のマナーとセキュリティ	活動内容	
1年	<p>○<u>コンピュータ エチケット</u></p> <p>コンピュータに関するエチケットを考えることで、個人情報への認識を深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク上の他人のフォルダを勝手に開いたりしない、パスワードの管理に十分注意するといったエチケットを守ることができる。</li> <li>・インターネットはコミュニケーションの一形態であることを理解し、相手の立場に立った情報交換ができるようにする。</li> </ul>	<p>○<u>心身の健康問題</u></p> <p>コンピュータやケータイが心身に与える影響を知り、自分身で予防、健康管理ができる強い意志を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁波による医療機器への影響や、長時間のコンピュータやケータイの利用による身体的影響を考えることができる。</li> <li>・コンピュータやケータイの利用による精神的影響（依存症）を考え、家庭での適切な利用を考えることができる。</li> </ul>	<p>①アンケート「ネット、ケータイの利用」について</p> <p>②講演</p> <p>③コンピュータ、ケータイセキュリティ教育「コンピュータ、ケータイの楽しさ、こわさ」</p> <p>④DVD視聴「メール依存症」「ケータイサイトと不正請求」を見て感想を書く</p> <p>⑤討論—具体的にコンピュータ、ケータイのセキュリティについて話し合う</p>
2年	<p>○<u>個人情報と人権</u></p> <p>人権やプライバシー尊重の常識に立ってネットワークを利用できる態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他人への誹謗、中傷を掲示板等に記載しない。</li> <li>・無断で個人のプライバシーに関する情報を掲示したり、差別的な落書きをしない。</li> </ul>	<p>○<u>ネット上の不正アクセス</u></p> <p>コンピュータウイルスや不正アクセスを予防する安全対策について考えを深める態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータウイルスがネットワークに及ぼす危険性を理解し、感染防止のための手立てを考えることができる。</li> <li>・ユーザー名とパスワードの役割について理解を深め、適切に管理できるようにする。</li> </ul>	<p>①アンケート「ケータイの利用」について</p> <p>②講演</p> <p>③ケータイモラル教育「ちよっと待って、ケータイ」の資料を利用</p> <p>④DVD視聴「うちのルール」「匿名メール」を見て感想を書く</p> <p>⑤討論—ケータイモラルについて</p>
3年	<p>○<u>ネット上のエチケット</u></p> <p>ネット上におけるエチケットの必要性を認識し、エチケットに反しない態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上の個人情報悪用されるおそれがあることを理解し、個人情報には慎重に扱う。</li> <li>・肖像権や、著作権について考えを深め、権利侵害のないように慎重に対処する。</li> </ul>	<p>○<u>ネットへのアクセスと犯罪</u></p> <p>情報収集の際には情報の選別を行い、目的意識をもってアクセスできる態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害情報へのアクセスによってトラブルに巻き込まれる可能性があることを考えることができる。</li> <li>・有害情報を識別し、惑わされる事なくアクセスを自制でき、ネット犯罪等に巻き込まれないようにする。</li> </ul>	<p>①アンケート「ケータイの利用」について</p> <p>②講演</p> <p>③ネットモラル教育「ネット犯罪」について考える</p> <p>④DVD視聴「ネットいじめ」を見て感想を書く</p> <p>⑤討論—ネットを使ったいじめについて</p>

(6) 特別活動

【学級活動】

1. 指導目標

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2. 本年度の努力点

- (ア) 何でも話し合い、一人ひとりが生かされる学級づくりに努力する。
- (イ) 生活指導の基本的な場とし、自主的に計画し、すすんで実践する態度を養う。
- (ウ) 日常の生徒の健康状態をよく観察するとともに、精神的な安定感を得させるよう努める。
- (エ) 個人が生き生きと表現できる場を設定する。
- (オ) 安全指導の総括的な取り扱いをする。
- (カ) 学年に応じ自分の進路について深い関心を持たせ、進路選択の能力を養う。
- (キ) 集団の中で礼儀を正し、互いに理解し、協力し合う心を育てる。

3. 各学年年間計画

第1学年

目 標

- ・中学校生活を理解し、適応する能力を身につけさせる。
- ・自己の個性を知り可能性を育てる。
- ・自主的な学級づくりを通して中学生としての誇りと自覚を持たせる。

第2学年

目 標

- ・中堅学年としての自覚を高め、自主的態度を育てる。
- ・実践活動を通して、個性を伸長させ、生活を充実させる。

第3学年

目 標

- ・最上級生としての自主的な生活態度の育成のために、集団指導と個別指導の充実を図る。
- ・適性に応じて主体的に進路を選択する能力を育てる。

[学級活動・1年]

学年目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生活を理解し、適応する能力を身につけさせる。</li> <li>・自己の個性を知り、可能性を育てる。</li> <li>・自主的な学級づくりを適して、中学生としての誇りと自覚をもたせる。</li> </ul>
------	---

月	学校行事	主 事	項 目
4	入学式 始業式（対面式） 部活動編成 学級役員選出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になって</li> <li>・学級生活の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学習環境と教科担任制への指導</li> <li>・校内施設の見学と利用</li> <li>・自己紹介と仲間づくり</li> <li>・学級目標、学級の組織づくり</li> <li>・部活動の理解と活動の促進</li> </ul>
5	校外学習 リッチモンド校来校 中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい校外学習</li> <li>・国際親善</li> <li>・テストの受け方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習の目的と計画</li> <li>・有意義な生活の計画と生活記録表の作成</li> <li>・初めての中間テストに向けての学習方法の確立</li> </ul>
6	市民憲章 教育相談 学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末テストに向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会組織、生徒会則などの理解</li> <li>・期末テストの準備と1学期の学習の反省</li> <li>・通知表の見方</li> </ul>
7	終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生としての夏休み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の学級生活態度の点検</li> <li>・充実した夏休みを送る心構え</li> <li>・計画の立案</li> </ul>
8	登校日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（平和教育）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中の家庭生活、家庭学習の点検</li> </ul>
9	始業式 競書会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期を迎えて</li> <li>・生徒会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの反省と2学期に向けての決意</li> </ul>
10	中間テスト 体育大会 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能率的な学習</li> <li>・学級生活の充実</li> <li>・友達再発見</li> <li>・読書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級組織の再編成</li> <li>・自分に合った学習法 自主的な学習（家庭学習）</li> <li>・友達のよさを知る</li> <li>・読書の楽しみ、図書室の利用</li> </ul>
11	防災訓練 文化発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時の対処</li> </ul>
12	生徒会役員選挙 学期末テスト 個人懇談会 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の反省</li> <li>・冬休みを迎えて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立候補者を選挙する方法、応援態勢づくり 選挙運動の具体的な取り組み</li> <li>・2学期の学級生活の反省</li> <li>・冬休みの生活計画</li> </ul>
1	始業式 書初競諸会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年の抱負</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休みの反省</li> <li>・目標づくりと学級組織の確立</li> </ul>
2	教育相談 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法の再点検</li> <li>・自分の進路</li> <li>・一年間の総復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・生活態度の再確認</li> <li>・将来のいろいろな職業の理解</li> <li>・テスト勉強の仕方</li> </ul>
3	卒業式 球技大会 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路の準備</li> <li>・1年間を振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生を送る態度</li> <li>・球技大会参加</li> <li>・春休み及び中学2年生に向けての自覚の育成</li> </ul>

[学級活動・2年]

学年目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅学年としての自覚を高め、自主的態度を育てる。</li> <li>・実践活動を通じて、個性を伸長させ、生活を充実させる。</li> </ul>
------	--

月	学校行事	主 事	項 目
4	入学式 始業式（対面式） 学級役員選出 部活動編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学年</li> <li>・学級作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生になつての抱負</li> <li>・上級生や下級生との接し方</li> <li>・新しい学級作り、学級目標と組織作り</li> <li>・委員と係の選出</li> <li>・新しい仲間</li> </ul>
5	リッチモンド来校 中間テスト  職場体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際親善</li> <li>・中間テストに向けて</li> <li>・職業を考える （キャリア教育）</li> <li>・計画的な生活</li> <li>・学ぶことの意義</li> <li>・委員や係の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義な生活の計画と生活記録表の作成</li> <li>・学習態度の検討</li> <li>・勉強の方法</li> <li>・自分にあった勉強計画とテスト</li> <li>・職場体験学習の事前学習</li> <li>・どんな職業があるか、条件や資格の調査</li> <li>・学級委員、係の活動の見直し</li> </ul>
6	市民憲章 教育相談 学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末テストに向けて</li> </ul>	
7	終業式		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの計画作成</li> </ul>
8	登校日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（平和教育）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中の家庭生活、家庭学習の点検</li> </ul>
9	始業式 競書会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の出発</li> <li>・学習環境の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員と係の選出</li> <li>・「リーダー」とは何か</li> <li>・夏休みの反省と2学期の心構え</li> <li>・夏休みの思い出を発表</li> <li>・学習方法の問題点の改善</li> <li>・学習環境や態度の見直し</li> </ul>
10	中間テスト 体育大会 教育相談 校外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能率的な学習</li> <li>・読書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の楽しみ、図書室の利用</li> <li>・校外学習の目的と計画</li> </ul>
11	防災訓練 文化発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団と個人のつながりについて</li> <li>・非常時の対処（事故や災害）</li> </ul>
12	生徒会役員選挙 学期末テスト 個人懇談会  終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生徒会</li> <li>・生徒会の主役</li> <li>・2学期の反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員の選出</li> <li>・学級組織の再編成</li> <li>・2学期を振り返って</li> <li>・冬休みの計画作成</li> <li>・新しい年を迎えての抱負の発表</li> </ul>
1	始業式 書初競書会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年の抱負</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にあった職業を考える</li> </ul>
2	教育相談 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を考える</li> <li>・学年末テストに向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の総まとめ</li> <li>・お世話になった上級生</li> </ul>
3	卒業式 球技大会 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生を送る</li> <li>・進級の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生を送る態度</li> <li>・進級の心構え</li> </ul>

[学級活動・3年]

学年目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級生としての自主的な生活態度の育成のために、集団指導と個別指導の充実を図る。</li> <li>・適正に応じて主体的に進路を選択する能力を育てる。</li> </ul>
------	--

月	学 校 行 事	主 事	項 目
4	入学式 始業式(対面式) 学級役員選出 部活動編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級生として</li> <li>・学校生活の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級生としての抱負と心構え</li> <li>・学級の目標</li> <li>・学級の組織と活動</li> </ul>
5	リッチモンド来校 中間テスト 修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際親善</li> <li>・中間テストに向けて</li> <li>・進路計画と学習</li> <li>・学習の悩み克服</li> <li>・修学旅行に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望と学習計画</li> <li>・悩みの原因と解決</li> <li>・自分に合った学習方法</li> <li>・修学旅行の事前学習</li> </ul>
6	市民憲章 教育相談 学期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末テストに向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストの取り組み</li> </ul>
7	個人懇談会 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの計画</li> </ul>
8	登校日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(平和教育)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中の家庭生活、家庭学習の点検</li> </ul>
9	始業式 競書会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期を迎えて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの反省</li> <li>・2学期の心構え</li> </ul>
10	中間テスト 体育大会 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級組織について</li> <li>・能率的な学習</li> <li>・読書</li> <li>・学習上の問題と解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級組織の再編成</li> <li>・自分に合った学習方法の点検</li> <li>・読書の楽しみ、図書室の利用</li> <li>・焦りと不安の解決法</li> </ul>
11	防災訓練 文化発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時の対処</li> </ul>
12	生徒会役員選挙 学期末テスト 個人懇談会 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動について</li> <li>・2学期の反省</li> <li>・冬休みを迎えて</li> <li>・就職や進学準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達と生徒会</li> <li>・2学期を振り返って</li> <li>・冬休みの計画</li> <li>・事業所や志望校の検討</li> <li>・進路計画にそった学習計画</li> </ul>
1	始業式 書初競書会 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年を迎えて</li> <li>・将来の生活に備えて</li> <li>・励まし合う学級</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい年を迎えての抱負</li> <li>・進路の準備</li> <li>・受験期をひかえた学級</li> <li>・友達と励まし合い語り合える学級</li> </ul>
2	教育相談 球技大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職・進学の出願</li> <li>・受験直前の健康管理</li> <li>・有終の美を飾るための有意義な過ごし方</li> </ul>
3	卒業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生活のまとめ</li> <li>・卒業にあたって</li> <li>・意義ある卒業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三年間の中学生生活を振り返る</li> <li>・人々への感謝</li> <li>・将来への決意</li> </ul>

## (7) 学校安全教育

### 1. 指導目標

- (1) 日常生活のなかから、安全に関する行動・実行力を身につけさせる。
- (2) 自他の生命を尊重し、家庭や学校・地域社会における安全保持に協力する態度を養わせる。

### 2. 努力点

- (1) 校舎・校庭の施設・設備の安全管理につとめる。
- (2) 安全な行動をとれるよう生徒の自覚を高めさせる。
- (3) 学校安全教育の指導計画を立案し、保健指導・関連教科・生徒会活動・学級活動とも連絡を密にして安全指導をすすめる。
- (4) 防火・防災についての避難訓練を計画し、実施する。

### 3. 指導計画

- 4 月……登下校の道順を検討し、通学道路を設定しよう。
- 5 月……安全な通行方法を実践し、交通事故の防止につとめよう。
- 6 月……迅速な行動を身につけよう。
- 7～8月……誘惑に負けない意志を持ち、安全な生活をしよう。(水の事故にもあわないよう心がけよう。)
- 9 月……災害から身を守るよう心がけよう。
- 10 月……正しい交通規制を身につけよう。
- 11 月……校内生活の安全を再検討しよう。
- 12 月……誘惑に負けない意志を持ち、安全な生活をしよう。(火災予防に心がけよう。)
- 1～2月……正しい歩行を身につけよう。
- 3 月……1年間の反省

## (8) 進路指導

### 1. 指導目標

- ・生徒自らが自己の個性や学力、環境に応じた進路の選択を決定する能力を養う。
- ・卒業後の学業生活及び職業生活についての知識と理解を深めさせる。
- ・将来の生活に対する希望と自信を持って進む態度を育てる。

### 2. 努力目標

- (1) 組織的・客観的な観察・検査・調査などを通じて、生徒の能力・適性等を的確に理解し把握することに努める。
- (2) 生徒指導要録はもちろん、個人指導表等の記録簿等を整備し、より有効に継続的に利用出来るよう配慮する。
- (3) 生徒自身が自己の進路に対する関心を高め、自らの進路を選択させるために、自己分析・学習方法の改善、自主的な生活設計、職業の意義等の指導に努める。進学面では高校の

状況（学校種別・特色・学校生活・経費・卒業生の動向等）、就職面ではその資料（職務内容・条件・将来性及び職業関係機関や労働関係法則の紹介と解説等）の進路情報を提供して指導・助言に努める。

- (4) 保護者との連絡を密にし、その動向を知ると共に、単に理想像だけでなく、子どもの個性・学力・体力等の実態を確認させ、適性な進路について助言する。
- (5) 常に進学希望者と就職希望者との間に、感情的な溝が生じぬよう配慮し、指導する。
- (6) 個々の生徒に進路相談の機会を多く与え、将来の生活を建設的に構築できるように指導する。

### 3. 進路指導実施計画（3年のみ、1・2年は学活参照）

- 4 月……年間学習計画配布・第1回進路説明会
- 5 月……家庭訪問・中間テスト
- 6 月……期末テスト・第1回復習テスト
- 7 月……個人懇談会・第2回復習テスト
- 8 月……高校体験学習
- 9 月……第1回実力テスト
- 10 月……中間テスト
- 11 月……第2回実力テスト・第2回進路説明会
- 12 月……期末テスト・個人懇談会・第3回実力テスト
- 1 月……就職選考開始・第4回実力テスト・学年末テスト・懇談会・私学入試
- 2 月……第5回実力テスト・第6回実力テスト・個人懇談会・私学入試
- 3 月……公立高校一般選抜入試

## (9) 人権・同和教育

### 1. 指導目標

- (1) 差別を見抜き、差別を許さず、差別を解消しようとする行動力を持つ生徒の育成。
- (2) 部落差別をはじめ、われわれの周囲にある種々の差別を、科学的に正しくとらえることのできる生徒の育成。

### 2. 努力点

- (1) いじめや差別を許さない民主的な学級づくり、集団づくりに取り組む。
- (2) 部落差別の科学的認識を培うために系統的な指導計画を作成する。
- (3) 同和教育についての研修を深め、全教職員の共通理解のもとに教育実践に取り組む。
- (4) 学校教育と家庭教育や社会教育との連携をはかり、家族や地域の同和問題に対する認識と子どもに対する指導力を高めるための努力を行う。

### 3. 特設授業について

- 1年生……身のまわりの差別と個人一人ひとりの権利について考える。
- 2年生……一人ひとりの人権を大事にし、部落差別の不合理性について考える

3年生……現存する部落差別と解放への展望について考える。

学期	校 内	社 会 科	城東ブロック人権研究会
1	教育計画作成 少人数学級の理解 ○現職教育 1・2 ○特設授業 1・2	3年生・基本的人権の尊重 1 ・外国人労働者に対する差別 1 ・高齢者福祉 2 ・今日における偏見や査閲 2	○人権主任会 ○研修会
2	○教育懇談会 2 ○平和学習 1 ○人権教育の取り組み (人権作文・ ポスター等) 1	2年生・古代における賤民制度 ・身分制度(9～10月初) 1年生・さまざまな民族と文化 2	
3	○育友会主催 社会科模擬授業 ○特設授業 ○本年度の反省とまとめ	3年生・明日への展望 2 2年生・四民平等 2 ・全国水平社と部落解放運動 ・在日朝鮮人に対する差別	○人権主任会 ○研修会 ○研究冊子作成

#### 4. 和歌山市立城東中学校いじめ防止基本方針

##### (1) はじめに

いじめは絶対に許されない行為である。しかしながら、どの学校でも起こり得る可能性のあることでもある。ひとたびいじめが起これば、それは生徒の人間としての尊厳を侵害し、ときには生命をも重大な危険に晒すことにも繋がる。教師として、いや人間として看過できない行為、それがいじめなのである。

我々教員は、上に述べたような認識を常に持ち、アンテナを高く張り巡らし、いじめを見逃さず、許さないという態度を保持し、それを生徒に向けて発信し続ける必要がある。

また、当然のことながら、生徒は学校のみで生活するわけではなく、家庭や地域とも大きく関わっている。そのためいじめ問題の解決のためには、家庭や地域の人々の協力が不可欠であり、さらには事が起こった場合も想定し、警察や少年センターなど関係機関との連携にも日頃から努めなければならない。

学校全体で組織的にいじめの防止及び早期発見に努めるためにやるべきことは、「同僚性」の構築である。教員集団として多面的な視野から生徒を観察し、その情報を交換できる体制づくり＝「同僚性」の構築こそが喫緊の課題である。そして、生徒がいじめを受けているのではないかと思われたときは可及的速やかに対処し、悩みの根を断ち、さらにその再発防止に努めなければならない。

我々は教育のプロである。である限り、いじめ撲滅には使命を賭して取り組まなければならない。その自覚において城東中学校としての基本方針を策定するものである。

##### (2) いじめの定義

平成25年9月28日に施行された「いじめ防止対策推進法」の第2条では、いじめについ

て次のように定義している。

**【いじめ防止対策基本法第2条】**

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

しかし、はっきり言って「等」などの法律用語が多用されていて慣れない者には斟酌しかねるところがある。そこで平成6年に文部省（当時）が出したいじめについての定義を援用したい。すなわち、

- (1) 自分より弱いものに対して一方的に、
- (2) 身体的、心理的な攻撃を継続的に加え、
- (3) 相手が深刻な苦痛を感じているもの。なお、起こった場所は学校の内外を問わないこととする。

二つに共通していることは、苦痛を与えられるのは身体的な面だけでなく心理的な面をも含むこと、さらに被害者の立場に立って事象を見ることである。法律では近年問題になっているインターネットをも包摂しているところが新たな視点ではある。

法律の文言において考慮すべき点として二つ挙げておく。すなわち、①「一定の人間関係」とは、いじめられた生徒と何らかの人間関係があることを指し、学校・学級だけではなく塾やスポーツクラブなどの人間関係も含むということである。②「物理的な影響」とは怪我などだけではなく、たかりや恐喝などに起因する金品の被害、自らの意思に反した行為の強制、そしてインターネット上での誹謗中傷をも含むことを意味する。二つはにおいても人間関係を持っていることを指す。

### (3) いじめの理解

「はじめに」において述べたように、いじめとはどの子どもたちにも、どの学校にも起こり得る問題である。教員はその認識に基づき、常にいじめを発見するために努めなければならない。そのためには、「いじめは見ようとしないと見えない」と考え、生徒集団や個々の生徒の様子を見つめる必要がある。

#### <1> いじめの四層構造

いじめ研究の第一人者と言われる森田洋司大阪市立大学名誉教授は、『いじめ教室の病い』（共著、金子書房 1986）、『いじめとは何か 教室の問題、社会の問題』（中公新書 2010）の中で、いじめを構成する四つの層があると指摘する。すなわち、①いじめられる側の「被害者」、②いじめる側の「加害者」、③その周りで囁し立てたり面白がったりする「観衆」、④それらを見て見ぬふりをし、暗黙の了解を与えている「傍観者」である。

①と②だけではいじめはほとんど成立せず、③と④のような者がいていじめが成立し、さらには助長されるとするのである。

森田氏はいじめをなくするためには集団の成熟度を上げることが課題であると言う。そのため「傍観者」の立場にいる者の感情をもっと意欲的なものに醸成するよう、学校においては「道徳」や「学級活動」は言うまでもなくすべての教科・領域において努める必要があるとするのである。すべての学校で既に取り組まれていることではあるが、本校においてもさらに進めていかなければならないと考えている。

また、最近「教室内カースト」という言葉が生まれ、教室のような一見、仲が良い集団においても、集団内に上下関係があり、上位の者が下位の者に他者へのいじめを強要しているケースもあるなど、周囲の者からは見えにくい構造もあり、さらなるいじめ発見に努める必要がある。

## <2> いじめの態様

いじめは、冷やかしやからかい、悪口等、見た目にはいじめと認知しにくいものがあるほか、暴力を伴わない脅しや強要等がある。たとえ、冷やかしやからかい等、一見、仲間同士の悪ふざけに見えるような行為であっても、何度も繰り返されたり、多くの者から集中的に行われたりすることで、深刻な苦痛を伴うものになり得る。特に、遊びのふりをして軽く叩く、蹴るなどは、周囲の者がいじめと認知しにくい場合もあることから、いじめを受けた生徒の心情を踏まえて適切に認知する。本校では、いじめを認知する際の具体的な態様として、次のような例を参考にしながら判断するものとする。

(暴力を伴うもの)

- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。 等

(暴力を伴わないもの)

- 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- 金品をたかられる
- 金品・持ち物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。 等

## (4) いじめの防止等の学校の取組

### <1> いじめの防止等の対策のための組織

ア いじめの防止等に組織的に対応するために、「いじめ防止対策推進法」の第22条に即して、学校長が任命した構成員からなる、学校対策組織を設置する。この組織を「城東中学校いじめ対策委員会」（以下「委員会」と略す。）と呼称する。

イ 委員会の構成員は次の7名とする。

・城東中学校長

- ・城東中学校教頭
- ・城東中学校生徒指導主任
- ・城東中学校養護教諭
- ・城東中学校育友会長
- ・城東中学校育友会母親代表
- ・城東中学校スクールカウンセラー

ウ 委員会は次のような役割を担うこととする。

- (ア) 生徒や保護者、教員からのいじめの相談及び通報の窓口としての役割。
- (イ) いじめの疑いがある情報や生徒の問題行動等に係る情報の収集とその記録。
- (ウ) いじめに関する情報を受けた場合、可及的速やかに会議を招集し、情報の共有、関係生徒等からの事情聴取、指導・支援体制の確立、対応方針の決定と保護者との連携などの対応について、組織的に実施するための中核的な役割。

## <2> 未然防止への取組

いじめ問題を克服するために、本校の教育活動全体を通じて、全ての生徒を対象にいじめの未然防止についての取組を行う。

特に、すべての生徒に「いじめは人権を侵害する絶対に許されない行為である」と常に訴えることによりその理解を促し、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動を行う。

また、「自分を大切にし、人を大切にする」という本校の教育目標を踏まえ、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を尊重し合える態度を涵養し、すべての授業を通じて生徒の豊かな情操や道徳心など、よりよい人間関係を構築する能力を養うこととする。

### ア 道徳教育の充実

すべての教育活動を通じていじめの撲滅を訴えていくことは勿論であるが、特に道徳教育の充実を通じて、生徒にかけがえのない自他の生命や人権尊重のための態度を養う。

### イ 人権意識の向上

本校には日本以外の国籍を持つ生徒が多数在籍している。保護者もまた東南アジア各国からやってきた人がいる。或る意味、多国籍の人々の集まりででもある。また、かつては人権意識の希薄さから差別事象が起こったこともある。こうしたことから、城東ブロック人権協議会が設置され、日々の人権意識の高揚に努めている。

こうした組織と協働しながら、日々の教育活動において、生徒に人権や人権擁護に関する基本的な知識を確実に身に付けさせ、自分とともに他の人の大切さを認めようとする意欲や態度、行動力を育成する。また、生徒一人一人が大切にされ、安心・安全が確保される環境づくりに努める。

### ウ 協同学習を柱とした授業改善

いじめという不合理なできごとに対して憤りを持ち、それを否定しようという感

性（観衆や傍観者の立場に立たないような感性）を生徒に持たせるためには、これまでのような知識注入型の授業では限界がある。よく言われることであるが、生徒自らが課題を見つけ、自らの考えで解決しようとする意欲や思考力を養うことが肝要である。そのためには、これまで往々にして展開されてきた一斉形式の授業を脱却し、協同学習を構築することによって、自分はこう考えているが、他の人はどうなのか、その意見の対立を話し合いで解決していくような展開が必要である。

本校では既に、「フューチャー・スクール事業」の研究の中で、協同学習の実践にも取り組んでおり、その素地はある。それを基にして、話し合い活動を主体にした協同学習による授業改善を行うことにより、いじめに対して「否」と言える、そしていじめが起こった時にはそれを阻止できる人間の育成を目指すこととする。

#### エ 開かれた学校づくり

いじめをなくしていくためには、学校ひとりの努力では限界がある。保護者への理解・協力をお願いすると共に、組織としての育友会ともタイアップして取り組んでいかなければならない。そのため、委員会の中にも育友会役員を配置したわけであるが、それだけではなく地域の人々にも本校の生徒について積極的に関わってもらわなければならない。

本校では毎年11月に学校を終日開放して、「学校便り」や「回覧板」で授業参観や意見交換を呼び掛けているが、現時点では低調であり、どうすればより多くの地域の方々に来校願えるか模索しているところである。

#### オ 生徒会活動の活性化

授業とは別に、学級の中で自分の意見や考えを交流したり、集団として合意形成したことを実行に移し、問題の解決や改善を図ったりする機会を設けることによって、生徒のコミュニケーション能力や自己成就感を高め、社会に参画する態度や自主的・実践的な態度を醸成する。また、生徒が自らの力で問題を解決し、自治的な能力を身に付けられるよう自主活動や主体的な活動をあらゆる機会を通じて行う。

#### カ インターネット上のいじめの防止

生徒にSNS等を含むインターネット上の不適切な書き込み等が重大な人権侵害行為であることをしっかりと指導するとともに、授業だけではなく、外部の専門家等を招き、インターネットの利用のマナーやモラルについて学習させる。また、保護者に対して、PTA教室を通じてフィルタリングの設定やインターネットの利用に関する家庭でのルールづくり等を周知徹底する。

### <3> 早期発見・早期対応への取組

#### ア 早期発見

いじめの発見の遅れは、早期解決を困難にさせるだけでなく、問題の複雑化、深刻化につながりやすい。我々教員は、日頃から生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、生徒が示す変化や危険信号を見逃さないよう意識を高く保つとともに、教育

相談体制を整え、いじめを積極的に認知することに努める。

(ア) 定期的ないじめアンケートの実施

本校では、6月、10月、2月の計3回、定期的にアンケートを実施し、いじめの認知に努めることとする。実施に当たっては、記名を原則とするが、必要に応じて無記名でも可とする。また、短時間で書かせるのではなく、学級活動の時間をすべて使って、時にはいじめ防止に関係するような担任の話も交えて実施する。

担任は、アンケートの結果について気になることがあれば、些細なことであれ直ちに校長に報告する。校長は必要に応じて、全教職員と情報を共有すると共に、委員会を招集するなど、迅速な解決策を図ることとする。

(イ) 教育相談体制の充実

本校では1学期と2学期に「教育相談週間」を設け、定期的に個人面談や、保護者を交えた三者面談を実施している。そこで生徒や保護者の声に耳を傾け、いじめ等の訴えがあった場合、生徒の思いや不安・悩みを十分受け止め、必要に応じて養護教諭やスクールカウンセラーの意見を聞き、いじめを訴えやすい環境を整える。

イ 早期対応

いじめを認知した場合、次の(ア)～(エ)に留意して、組織的に迅速かつ適切に対応する。

(ア) 安全確保

いじめを認知した場合、直ちにいじめを受けた生徒やいじめを知らせてきた生徒の安全を確保する。

(イ) 事実確認

いじめを認知した場合や、生徒がいじめを受けていると疑われる場合は、直ちにいじめの事実の有無を確認する。

(ウ) 指導・支援・助言

いじめがあったことが確認された場合は、直ちにいじめをやめさせ、その再発を防止するため、スクールカウンセラー・少年センターなどの協力を得ながら、複数の教職員によって、いじめを受けた生徒やその保護者への支援や、いじめを行った生徒への指導又はその保護者への助言を継続的に行う。その際、対応したことを記録として残しておく。

(エ) 情報提供

いじめの早期解決を図るため、事実関係が明確になった情報を、いじめを受けた生徒の保護者やいじめを行った生徒の保護者に必要に応じて提供する。

ウ 関係機関との連携

いじめが、犯罪行為として取り扱われるべきものであると認められる場合は、教

育的な配慮や被害生徒等の意向を慮ったうえで、早期に警察に相談し、適切に援助を求める。中でも、生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような場合は、直ちに警察に通報し、連携した対応を取る。

なお、生徒の安全確保及び犯罪被害の未然防止のため、警察署との連携が必要と認められる事案については、県の「きのくに学校警察相互連絡制度」に基づいて適時・適切に連絡する。また、児童相談所や少年センター等関係機関との情報交換を適宜行う。

#### エ インターネット上のいじめへの対応

インターネット上に不適切な書き込み等を行っているとの連絡を受けた場合、そのサイト等を確認し、デジタルカメラ等で記録したうえで、当該生徒及びその保護者に了解を取り、不適切な書き込み等のあるプロバイダに連絡し、削除を要請する。

なお、不適切な書き込み等が犯罪行為と認められる場合は、削除要請を依頼する前に警察に通報・相談する。

#### <4> 教職員の資質能力の向上

いじめをいかに早く認知するかは教職員一人一人の能力にかかっていると言っても過言ではないだろう。能力と言うよりもいじめに対する感度と言った方がいいかもしれない。例えば、かつていじめを受けたことのある教職員はいじめに対する感度が高いだろうし、傍観者の立場に坐していた者にはそれが決して高くないかもしれない。

教職員の感度にも個人差がある。それを一律に向上させるためには様々なケースを提示しての研修を行うしかない。研修を通じて、教職員の人権意識を向上させ、いじめに対する感度を高めることによって、いじめの防止に繋げることとする。

本校では、城東ブロックの研究会等を通じて、恒常的に研修を行っており、上記のねらいを達成していきたい。

また、教職員の不適切な言動が、いじめを助長することもあることを考慮しなければならない。生徒に対する人権意識の欠如した対応は、いじめをより深刻化させるものであることを肝に銘じて、生徒との良好な人間関係を構築していかなければならない。

#### <5> 家庭・地域との連携

保護者や地域住民の信頼関係を構築し、生徒の家庭や地域での様子を気軽に相談できる体制を整備する。

また、いじめの防止の取組について、保護者に理解を得て、PTA総会や三者面談等の機会に情報交換を行う。さらに、地域住民の学校行事への参加を促したり、連携して街頭指導を実施したりして、校外での生徒の様子を把握する。

#### <6> 継続的な指導・支援

委員会などのケース会議を定期的に行い、生徒の人間関係を継続的に注視していく。いじめを受けた生徒については、継続的な心のケアに努めるとともに、自己有用感・自己肯定感等を回復できるよう支援する。

また、いじめを行った生徒については、いじめの背景にある原因やストレス等を取り除くよう支援するとともに、相手を思いやる感情や規範意識が向上できるよう粘り強く指導する。さらに、当該生徒の保護者と常に連絡を取り合い、家庭での様子や生徒の状況を継続的に把握する。

#### <7> 取組内容の点検・評価

いじめ防止等について、具体的な取組状況や達成状況を学校評価等を利用して確認するとともに、委員会を中心に学校目標や基本方針を点検し、必要に応じて見直しを行う。

### (5) 重大事態への対処

#### <1> 重大事態への判断・報告

次のような事態（以下、「重大事態」という。）が発生した際、文部科学省で定めている重大事態対応フロー図をもとに、直ちに適切な対処を行う。

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

重大事態については、次の事項に留意する。

- ◆「生命、心身又は財産に重大な被害」については、次のようないじめを受けた生徒の状況に着目して判断する。
  - 生徒が自殺を企図した場合
  - 身体に重大な傷害を負った場合
  - 金品等に重大な被害を負った場合
  - 精神性の疾患を発症した場合
- ◆「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。ただし、生徒がいじめにより一定期間、連続して欠席しているような場合にも、直ちに適切な対処を行う。

#### <2> 重大事態の調査の実施と結果の提供

- ア 重大事態が発生した場合、直ちに教育委員会に報告する。
- イ 学校対策組織が中心となって、事実内容を明確にするための調査にあたる。
- ウ 調査の際、アンケートを実施する場合は、その旨を調査対象の生徒やその保護者に説明するなどの措置を行う。
- エ 調査により明らかになった事実関係について、情報を適時・適切な方法でいじめを受けた生徒及びその保護者に対して提供する。

(10) 視聴覚教育

1. 指導目標

- (1) 視聴覚教材の利用が、生徒の日常生活に与える影響を考慮し、各教科・道徳・学級活動指導などに可能な限り教育機器の活用をはかる。
- (2) 放送・音楽・映画・演劇等の鑑賞を、実施することによって正しい判断力と批判力を養い自己の向上につとめる。

2. 努力点

(1) 放送

- (ア) 不必要な放送をひかえるよう努力する。
- (イ) 伝達放送は、毎日授業終了後実施する。

(2) 掲示

各教科、各部の協力を得て、玄関・廊下・生徒掲示板などへ掲示をし、社会の動き、科学技術の進歩、季節の行事などに関心をもたせる。

(3) 教育機器の活用

様々な教育機器の利用によって学習指導の充実をはかる。

(4) 音楽・映画・演劇の鑑賞

年間授業時間数の確保から考えて多くの時間をさくこともできないが、その機会をもうけて鑑賞する能力・態度を養う。したがって、事前・事後の指導に力を入れる。

(11) 図書館教育

1. 指導目標

- (1) 生徒各自の読書意欲を高め、健全にして豊かな教養ある人格の育成をはかる。
- (2) 能動的・自主的学習のできる態度を身につけ、旺盛な研究心を育てる。
- (3) 現代人としてふさわしい図書館および図書資料の利用の技術と態度を養う。

2. 学年目標

(1) 1 年

- (ア) 自分の学校の図書館の特色を理解し、十分に利用することのできる能力を養う。
- (イ) 読書によって余暇を豊かにすることのできる態度を養う。

(2) 2 年

- (ア) 図書を自分で選択・購入し、生活を豊かにすることができる能力を養う。
- (イ) 公立図書館など、校外の図書資料を利用することができる能力を養う。

(3) 3 年

- (ア) 学習のための読書、娯楽のための読書のほかに、教養のための読書への興味をもつようにする。
- (イ) 将来の進路を考えるため、図書館の書物も参考になることを知る。

### 3. 努 力 点

(1) 図書館に親しみをもたせる。

(ア) 広報活動図書館行事を通じて生徒に図書館・図書への関心を深めると共に読書意欲を高めるようにする。

(イ) 朝読の時間を利用し、読書に親しむ時間を増やす。

○朝読の時間に利用する本の貸し出しを行う。

(2) 図書館資料を充実させ、蔵書構成を適正にする。

(3) 読書指導

(ア) 読書力の向上をはかり、良書を選択する能力を養う。

(イ) 良書を推せんする。

### 4. 活 動 計 画

4 月 ○図書室の整備

○朝読用書籍教室配置

5 月 ○新入生を中心に図書館の利用の仕方についてのオリエンテーション

○図書委員会の役割決定

○購入希望図書の調査・購入

6 月 ○読書指導

7 月 ○推せん図書リストの作成

○読書感想文コンクールへの働きかけ（国語科と共催）

8 月 ○読書感想文を書く（国語科と共催）

9 月 ○朝読用書籍教室配置整備

○読書感想文コンクールへの参加（国語科と共催）

10 月 ○読書週間への参加

○読書指導

11 月 ○読書指導

12 月 ○冬休みに備えての読書指導

1 月

2 月

3 月 ○本年度の反省と来年度の計画

○中学校3ヵ年の読書生活についての反省

### (12) 特別支援教育

#### 1. 指 導 目 標

(1) 学校生活・社会生活への適応性を高め、将来社会に適応し自立できる人間を育てる。

(2) 生徒一人ひとりの個性に応じた指導を通して、学習意欲を喚起し、基礎学力の向上をはかる。

## 2. 本年度の努力目標

- (1) 職員研修につとめ、特別支援教育の行える体制を確立する。
- (2) 全校生徒一人ひとりの個性を知り、特別支援教育の必要な生徒を把握する。
- (3) 個別の指導計画を活用し、生徒一人ひとりの個性に応じた指導をする。
- (4) 自立活動や交流授業を通して、集団生活の中でのマナーやルールを身につけさせる。

### (13) 国際親善

#### 1. 目的

和歌山市・リッチモンド市中・高生交流委員会に所属し、和歌山市と国際姉妹都市であるカナダのブリッティッシュ・コロンビア州リッチモンド市との文化交流やスポーツ交流を通じて、相互理解を深め、尊敬と友情の絆を強めることを目的とする。

- ◎交流を通してカナダの文化・習慣を知り、相互理解に努め、友情を深める。
- ◎実際に英語を使う環境を整え、英語教育に対する関心を高める。

#### 2. 活動内容

○カナダ・リッチモンド市から親善訪問を受ける（5月11日(月)～5月19日(日)）

### (14) 生徒指導

#### 1. 指導目標

- (1) 心身共に健全な人間を育てる。
- (2) 規律ある生活態度を身につけさせ、自主性を伸ばす。
- (3) よき社会人になるための育成に努める。

#### 2. 本年度の努力点

- (1) 一人ひとりの生活をみつめ、個性の伸長をはかる。
- (2) 基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (3) 人に迷惑をかけないで、他人の立場も考えて実践していこうとする仲間意識を育てる。
- (4) 担任・保護者・教員相互の理解を深めながら生徒の動静に注目していく。
- (5) 指導を要する生徒については、学年会・指導部(生徒指導)等で適切な指導方針を立て、全職員がこれにあたり、長期的な観察指導をする。
- (6) 教育相談を活発にし、より良き人間関係を育てる。
- (7) 生徒会活動の活発化とその充実に努め、生徒の自主性を伸ばす。
- (8) 他の委員会との連絡を密にし、指導面の基本的理念や姿勢について意志統一をはかり、一貫した指導態勢を確立する。

### 3. 教職員の指導姿勢

学校における生徒指導は、生徒一人ひとりの自己実現を助けるために、生徒との信頼関係を大切にしながら行う。また担当する教科や学年を問わず、すべての教職員がこれにあたる。

- (1) 教育相談については、担任が中心となり、内面に迫れる指導を心がけ継続的に指導する。
- (2) 機会をのがさず、その場で指導することを原則とする。
- (3) 小さいことでも悪いことは悪いとして認めさせる。
- (4) 指導を素直に受け入れない場合でも、問題点を探りながら粘り強く指導する。
- (5) 担任以外の教職員が指導した場合、必ず、担任に報告する。
- (6) 担任は家庭との連絡を密にすると共に指導の過程を記録しておく。

(専門機関等に指導の協力を得る場合、指導過程記録が必要となる。)

- (7) 問題行動については、最低限その学年の問題としてとらえ集团的に指導する。
- (8) 複数学年に関連する事項については、十分に連絡をとりあい、必ず、同一歩調で指導する。
- (9) 不登校については、全教師が理解を深め、連携・協力を図ると共に専門の相談機関と連携をとりながら指導にあたる。
- (10) 各学年の生徒指導係は、所属学年と指導部(生徒指導)との連絡を密にし、調整をはかる。

### 4. 具体的な指導について

#### A 生活指導

##### ① 服装、頭髪指導

各学級、校門指導、学年集会を中心にあらゆる機会をとらえて指導する。

##### ② 遅刻指導

遅刻した生徒には担任が十分指導し、遅刻の多い生徒については家庭に連絡する。

##### ③ 毎時間の出欠をとる。(授業に出ていない生徒がいる場合すぐに職員室へ連絡する。)

##### ④ 無断欠席について

家庭との連絡を早くとり、理由をつかむ。無断欠席が続く場合は家庭訪問をする。

##### ⑤ 短学活は伝達放送だけに終わらず、生徒に1日の反省等をさせる。

##### ⑥ いじめ問題については早期発見・早期指導に努める。

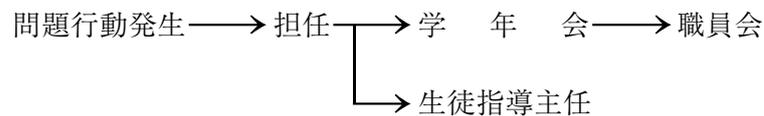
##### ⑦ 男女交際の指導

中学生らしい節度ある行動をするように指導する。

##### ⑧ 基本的な生活態度の指導

- ・ あいさつの励行と正しい言葉遣いをさせる。
- ・ 忘れ物をさせない。(学校に教科書類をおかせないことを原則とする。)
- ・ 学校生活に不必要なものを持って来させない。
- ・ 真剣な態度で授業を受けさせる。
- ・ 自習時間は、教室から出さないで静かに自習させる。プリント等の課題を用意する。
- ・ やらなければいけないこと、やってはいけないことの正しい判断をさせる。

- ・ 清掃の徹底。（ゴミをしない。ゴミを拾う。）
- ・ 自分の教室で昼食をとらせる。
- ・ だらしない格好をさせない。  
（ネクタイをきちんと結ぶ。名札を付ける。かばんに落書きしたり細工をしたりしない。ボタンをかける。靴のかかとを踏まない。変形の髪形をしない等。）
- ・ 問題行動が発生した場合には、その経過や結果を全職員に報告する。



## B 教育相談

- ① 教育相談を通じて生徒を深く理解し、生徒自ら問題を解決する力を育てる。
- ② 資料を活用し、問題をもつ生徒に対し計画的に面接相談をおこなう。
- ③ 家庭との連絡を密にし、家庭内のよい人間関係をつくるように努める。

## C 生徒会

### ① 努力点

- (ア) 生徒の自主的・自治的な活動を育てる。
- (イ) 学級生徒会を育成し、活性化をはかる。
- (ウ) 各専門委員会の活動の充実に努める。

### ② 生徒会専門委員会及び専門委員の活動内容の概要

#### (ア) 学級委員

- ①学級活動の計画 ②学校行事における出欠席の確認 ③学級会の司会 ④連絡事項の徹底 ⑤学級担任との連絡 ⑥学校と各学級の月目標の決定

#### (イ) 風紀委員

- ①朝のあいさつ運動 ②ポスター作成 ③服装検査

#### (ウ) 図書委員

- ①貸し出しの世話 ②本の紹介 ③読書調査 ④生徒図書の希望調べ ⑤書庫の清掃整理 ⑥本の修理

#### (エ) 文芸委員

- ①文化的行事の運営計画 ②卒業式における玄関の掲示 ③城東新聞の編集 ④国際親善との連携

#### (オ) 厚生委員

- ①募金運動への協力 ②ベルマーク集めとその整理

#### (カ) 環境委員

- ①教室の美化 ②校舎内外の美化 ③清掃用具の管理と修理 ④大掃除の分担指示 ⑤清掃の点検

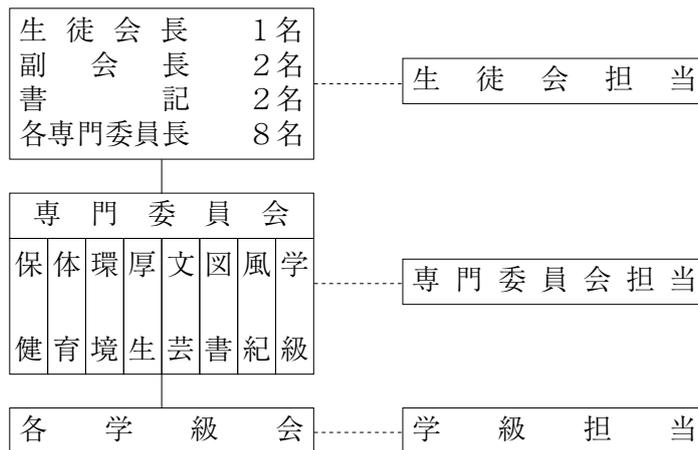
(キ) 体育委員

- ①校内外体育行事の計画と運営 ②学級ボールの使い方の指導 ③体育用具の整理整とん ④運動場・体育館の使い方や整備指導

(ク) 保健委員

- ①各学級の健康管理についての連絡 ②健康診断時の補助 ③保健統計処理 ④保健だよりの作成 ⑤救急処置法の実技 ⑥手洗い場の石けんの補充

③ 城東中学校生徒会組織



(15) 整 美

1. 指導目標

- (1) 「ゴミのない学校」をめざし、学習環境の美化に積極的に参加する態度を養う。  
(2) 公共物を大切にする心情を養う。

2. 努力点

- (1) 全職員の指導のもと定期的で大掃除を実施する。  
(2) 清掃用具等の整備につとめ、清潔な環境づくりに力を入れる。  
(3) 育友会との連結につとめ、望ましい教育環境の整美につとめる。  
(4) 生徒会環境委員会が中心となり、計画的な整美活動につとめる。  
(5) 公共愛護の習慣を身につける。

3. 本年度の整美計画

- 4 月…清掃分担区域の決定・用具の配布・教室の整美  
5 月…校舎の整美  
6 月…中庭の整美  
7 月…校舎中庭の整美  
9 月…清掃用具の補充  
10 月…校舎の整美  
11 月…中庭の整美  
12 月…校舎・校庭の整美  
1 月…校舎の整美

2 月…清掃用具の点検・補充

3 月…本年度の整美の反省

#### 4. 清掃指導

全体計画 学年計画 学級計画 担任・副担任の巡回指導 職員会議・生徒会

(努力点の設定 = 清掃係)

### (16) 部 活 動

#### A 文 化 部

##### (1) 指導目標

- ① 部活動を通じて、集団の一員としての役割を自覚し、楽しく豊かな共同生活を築く態度を育てる。
- ② 趣味・特技を生かして、豊かな教養を身につけさせる。

##### (2) 努力点

- ① 自主的、計画的に実行させる。
- ② 学校行事、生徒会行事に積極的に参加させる。
- ③ 生徒指導、道徳指導に関係の深いものとして指導する。
- ④ 生徒が個性を生かし、希望と喜びをもって参加できるよう配慮する。
- ⑤ 発表会、コンクール、展覧会などには積極的に参加させ、活動の意欲を高める。
- ⑥ 部活動における生活規律を守り、良きマナーの徹底をはかる。

#### B 体 育 部

##### (1) 指導目標

- ① 生徒の自主的活動により、人間性豊かな生徒の育成をめざす。
- ② 生徒の体力や個性に応じて技術を体得させるとともに体育運動を理解させ、健全なスポーツマンシップの向上をはかる。

##### (2) 努力点

- ① 各種のスポーツ活動を通して、体位、体力の向上及び幅広い心の発達をはかる。
- ② 運動を科学的に理解させ、短時間に能率のあがる練習をさせる。
- ③ 部活動における生活規律や安全の確認の徹底をはかり、事故のないよう配慮する。

### (17) 保 健 指 導

#### 1. 指導目標

健康で調和のとれた心身の育成を図るため、保健学習や実践を通じ自主的に保健活動へ参加する態度を養う。

#### 2. 本年度の努力点

- (1) 定期健康診断等により生徒の実態を把握し適切な健康指導・健康相談を行なう。

- (2) 校内における災害発生の場所及び原因を確認、災害発生の減少に努める。
- (3) 健康観察・健康相談を行ない、疾病の早期発見と早期治療に努める。
- (4) 学校保健の組椅を充実し、指導態勢の強化を図る。

#### 学校保健計画

- 4 月…保健調査、身体測定、内科健診、結核検診、歯科健診  
聴力検査、尿検査（一次・二次）、結核検診（打聴診）、眼科健診、耳鼻科健診
- 5 月…定期健康診断の事後処理、飲用水検査、修学旅行前の健康調査及び健康相談
- 6 月…歯科保健指導、梅雨時保健指導、睡眠についての保健指導
- 7 月…夏休み中の健康生活指導、疾病・異常者の治療促進
- 8 月…登校日健康観察
- 9 月…心臓病検診、疾病・異常者の治療状況把握、心電図検査
- 10 月…食後尿糖検査
- 11 月…照度検査、計量器検査、薬物乱用防止指導
- 12 月…冬休み中の健康生活指導、疾病・異常者の治療促進
- 1 月…疾病・異常者の治療状況把握、風邪予防の保健指導
- 2 月…教室の空気環境検査
- 3 月…学校保健委員会〔本年度の反省と次年度の保健計画立案〕

#### (18) 食育教育・給食

##### ○学校給食の役割

学校給食は、成長期にある生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材として、給食の時間はもとより各教科や特別活動、総合的な学習の時間等において活用することとする。

特に給食の時間では、準備から後片付けを通して、計画的・継続的に指導を行うことにより、児徒に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせる。

##### ○食育推進の基本的な考え方

楽しい食生活を通じて、子どもたち一人ひとりの健康な心と体を育むとともに、豊かな人間性を養い、食を支える自然や社会に感謝する気持ちを育むため、以下の6点を食育推進の基本的な考え方とする。

- (1) 食事の重要性や喜び、楽しさへの理解を深める。
- (2) 心身の成長や健康の保持・増進の上で、望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自己管理していく能力を身に付けさせる。
- (3) 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質および安全性について自ら判断できる能力を身に付けさせる。

(4) 食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付けさせる。

(5) 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝の心を育む。

(6) 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心を育む。

○給食指導年間計画（10月開始予定）

平成27年度以降	平成26年度	月目標	ねらい	指導内容	行事予定 (平成26年度)	食に関する授業
4月	10月	給食の大切さを知り、決まりを守る。	食生活の意義 給食のさまり	・食事の大切さを知り、正しい食事のあり方を身につける。 ・楽しく食事をする中で心を育てる。 ・給食の決まりを確認する。	修学旅行 校外学習	
5月	11月	バランスのよい食事を行う。	成長期の食事	・朝食の重要性を理解する。 ・成長期に必要な栄養のバランスのとれた食事を理解する。	公開授業 研究会	・ダイコンは大きな根？ 1年（国語） ・健康と食生活 1年（家庭） ・カナダリッチモンド市訪問（国際理解）
6月		衛生に気をつけて食事をする。	梅雨時期の衛生	・衛生的な食環境を考える。 ・手洗い。身支度を考える。 ・むし歯予防について考える		・食生活と健康 3年（保体） ・健康と食生活 1年（家庭）
7月		暑さに負けない食事をする。	夏の食生活	・暑さに負けない体を作るために必要な食事を考える。 ・夏休みの望ましい食生活を考える。		・健康と食生活 1年（家庭）
9月	12月	生活のリズムを作る。	生活のリズムと食事	・生活リズムと食事の関係性を理解し、規則正しい生活を考える。 ・朝食をとる大切さについて考える。	個人懇談	・生活習慣病とその予防 3年（保体） ・食品の選択と保存 1年（家庭）
10月		好き嫌いを少なくする。	偏食の害	・偏食の害を知り、栄養バランスのとれた食事について考える。 ・自分の食生活を見直させる。		・調理をしよう 1年（家庭）
11月		よくかんで食べる。	かむことの大切さ	・かむことと健康の関連を知り、よくかんで食べる習慣を身に付けさせる。		・飲酒と健康 3年（保体） ・調理をしよう 1年（家庭）
12月	1月	寒さに負けない食事をする。	冬の食生活	・寒さに負けない体を作るために必要な食事を考える。 ・望ましい受験期の食事について考える。		・調理をしよう 1年（家庭）
1月		感謝して食べる。	感謝の心	・感謝の気持ちを考えさせる		・調理をしよう 1年（家庭）
2月	2月	食事のマナーを知る。	食事のマナー	・正しい食事のマナーを知る ・楽しい食事の仕方を考える		・地域の食材と食文化 1年（家庭）
3月	3月	食生活を反省する。	望ましい食生活の実践	・望ましい食生活への関心を持たせ、実践できるようにする。 ・食事の大切さを考えさせる		・地域の食材と食文化 1年（家庭）

(18) 食に関する指導

食に関する指導の全体計画

和歌山市立城東中学校

<p>&lt; 学 校 教 育 目 標 &gt;</p> <p>人権尊重の精神を教育の基盤とし、 「自分を大切にし、人を大切にする人間」の育成</p>
---

<p>生徒・保護者・地域の実態</p> <p>校区は市内中心部の繁華街にあるが、ドーナツ化の影響で居住している住民が減少し、地域としての教育力が失われつつある。また共働きや母子・父子家庭が多く、基本的な生活習慣が十分に身につけていない生徒が多い。</p>
---

<p>&lt; 食 に関する 指導 の 目標 &gt;</p>
<p>①食事の重要性、食事の喜びや楽しさを理解する。 ②心身の成長や健康の保持増進のために、望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。 ③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質や安全性等について、自ら判断できる能力を身に付ける。 ④食物を大切にし、食物の生産等に関わる人々への感謝の心を育む。 ⑤食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。 ⑥地域の産物、食文化および食に関わる歴史等を理解し、尊重する心を育む。</p>

<p>保育所・幼稚園・小学校における食に関する指導</p>	<p>&lt; 各学年の食に関する指導の目標 &gt;</p>		
	<p>1年</p> <p>・毎日規則正しい食生活をおくれる。 ・望ましい食事のとり方や生活習慣を理解し、自らの健康の保持増進に努めようとする。</p>	<p>2年</p> <p>・食環境と自らの食生活の関わりについて理解することができる。 ・身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素について理解する</p>	<p>3年</p> <p>・自らの生活の中で食事が果たす役割や健康との関わりを理解する。 ・食品の安全で衛生的な取り扱いができ、簡単な日常食の調理ができる。</p>

		前 期	後 期	
特 別 活 動	学級活動	1年	○朝食の大切さを見直そう ○夏の健康と食事について考えよう	
		2年	○成長期の食事を知ろう ○夏の健康と食事について考えよう	
		3年	○行事食の由来を知ろう ○旬の食材について知ろう	
	全校斉指導等	○昼食時間の過ごし方を考えよう ○健康な歯や骨をつくろう ○会食の仕方を考えよう	○自然の恵みに感謝して食べよう ○正しい食事のマナーを身に付けよう	
	学校行事	身体測定、定期健康診断 授業参観、体育大会、校外学習	学校開放月間、学校保健委員会 文化発表会、修学旅行・校外学習、職場体験学習	
	生徒会活動	組織づくり、年間活動計画作成 「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進	昼食時間のマナーアップ 今年度の活動の反省	
教 科 的 関 連	技術家庭(家庭分野)	<p>A 家族・家庭と子どもの成長 B 食生活と自立 (1) 中学生の食生活と栄養 (2) 日常食の献立と食品の選び方 (3) 日常食の調理と地域の食文化 D 身近な消費生活と環境</p>		
	保健体育(保健分野)	健康な生活と疾病の予防		
	理科	(2分野) 植物の生活と種類	(2分野) 動物の生活と生物の変遷	(2分野) 生命の連続性 自然と人間
	社会	(地理的分野) 世界の様々な地域、日本の様々な地域 (歴史的分野) 歴史のとらえ方、古代までの日本、中世の日本、近世の日本 近代の日本と世界、現代の日本と世界		(公民的分野) 私たちと現代社会 私たちと経済 私たちと国際社会の諸課題
道 徳	<p>1 主として自分自身に関すること (1) 2 主として他の人とかかわりに関すること (1) (6) 3 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること (1) (2) 4 主として集団や社会とかかわりに関すること (5) (6) (8) (9) (10)</p>			
総合的な学習の時間	日本の伝統文化を理解する。			
家庭・地域との連携の取り組み方	学校だより、保健だより、進路だより、城東中学校地域人権同和教育推進団体連絡協議会、学校開放月間、講演会等 生徒一人ひとりの規則正しい生活習慣の確立をめざし、機会をとらえて、学校から家庭や地域との役割分担を発信していく。			
地場産物の活用	食の安全性と関わって、生産者の顔の見える地場産物を積極的に活用する地産地消を積極的に進めていく。			
個別相談指導の方針及び取り組み方	学級担任・教科担任および養護教諭等と連携し、保護者からの申し出、定期健康診断の結果および日常の食生活の様子等から、個別相談指導が必要な生徒を対象に実施する。			

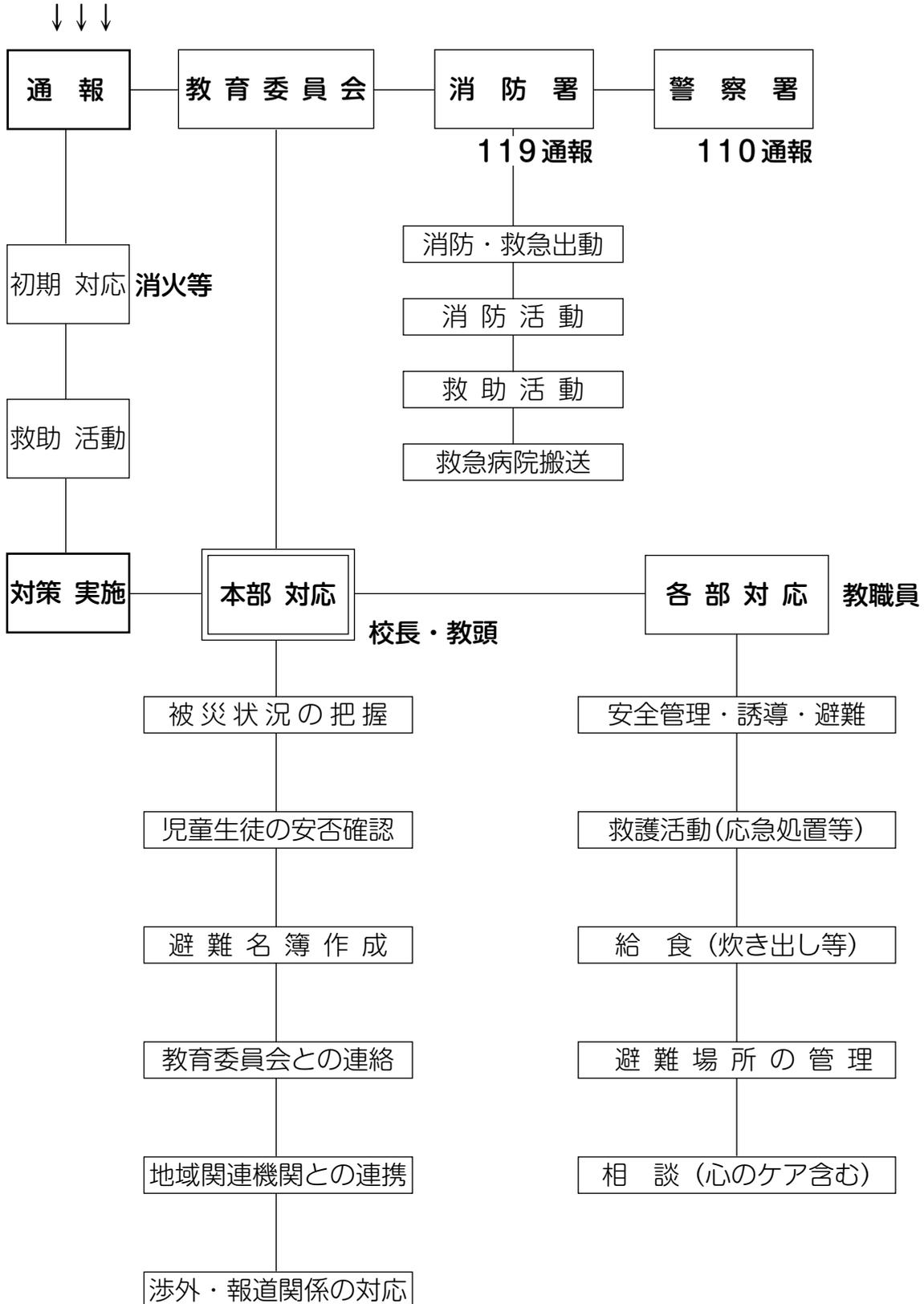
# 7. 防火・防災

## 学校安全計画

## 和歌山市立 城東中学校

項目	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
道	安全な登下校をしよう	施設・設備の適切な使用方法を学ぼう	体育大会を安全に	健康と安全に気をつける	防災訓練から学ぼう	交通安全法を理解しよう	危険を予測し安全な生活をしよう	事故災害から身を守ろう	自ら健康を維持しよう	事故の原因について学ぼう	安全な生活ができる	
	徳	生命の尊さ	集団の意義	自主自律	奉仕の精神	団体理解	社会連帯	郷土愛	人間愛	生命の尊重	人としての誇り	
	理	理科室使用上の注意 ・実験時の危険防止とふさわしい服装 ・美術室使用上の注意	集団の意義 ・薬品ガラス器具の使い方 ・加熱器具の使い方 ・備品の点検整備	自主自律 ・自由研究の実験上の注意	奉仕の精神 ・薬品検査	団体理解 ・天候とその変化(台風) ・自由研究の実験上の注意	団体理解 ・天候とその変化(火山活動と地震) ・電気器具の使い方	社会連帯 ・力学関係の実験器具の使い方	郷土愛 ・薬品検査 ・理科室と準備室の整備	人間愛	生命の尊重 ・天候とその変化(台風)	人としての誇り ・備品点検 ・薬品点検(台帳管理)
	美	美術室使用上の注意	絵の具、用具の保管・管理の指導	カッター、はさみ、コンパス等の使用上の注意	小型ナイフの使い方	備品の点検整備	器械運動の場所の使い方 ・器械運動の段階的な練習と適切な補助の仕方	打ち出し用具の使い方	彫刻刀の正しい使い方	二・三トリ等の道具の使用上の注意 ・備品検査	印刷器具の使い方	教室での一般的な注意事項 ・機具、用具点検
安全	体育分野	集団行動の徹底 ・用具の使い方	器械運動の特性	備品検査	備品検査	器械運動の段階的な練習と適切な補助の仕方	長距離走の健康把握と体力にあったペース配分	バスケットボールの用具、場所の使い方、ルールやマナーの徹底 ・サッカーのゲームの安全	バスケットボールの用具、場所の使い方、ルールやマナーの徹底 ・サッカーのゲームの安全	バスケットボールの用具、場所の使い方、ルールやマナーの徹底 ・サッカーのゲームの安全	バスケットボールの用具、場所の使い方、ルールやマナーの徹底 ・サッカーのゲームの安全	
	保健分野	心身の発達と心の健康 ・備品の点検整備	作業機械や工具の安全 ・点検	塗装時の換気 ・電気的安全利用 ・工作機械の安全な利用	自然災害(3年) ・疾病の予防(3年)	健康と環境 ・疾病と予防	器具の取り扱い ・電気器具の安全	加熱と漏電 ・電気製品製作の安全 ・備品検査	健康と生活	作業場所の確保と危険の回避	作業場所の確保と危険の回避	器具点検整備 ・備品検査(台帳管理)
習	技術・家庭	備品の検査 ・備品の点検整備	被服領域の注意 ・食生活と健康	アイロン、ミシンの適切な使い方	食物領域の一般的な注意	調理実習の注意 ・換気	器具点検整備 ・備品検査	器具点検整備 ・備品検査	器具点検整備 ・備品検査	器具点検整備 ・備品検査	器具点検整備 ・備品検査	
	総合的な学習の時間(安全)	(1年生) 校外学習時の安全面の諸注意 (2年生) 職場体験時の安全について (3年生) 修学旅行時の安全面の諸注意										
教	第1学年	●中学生の認識 ・健康診断 ・部活動での安全	●雨天后校舎内での過ごし方 ○水泳、水の事故と安全 ●体育大会の取組と安全	●校外学習時の安全 ●自分の健康チェック ○夏休みの生活設計と安全 ○夏休みと白帯の備え ●下校指導	◎地震による津波の危険と避難 ◎火災時の安全な避難の仕方と白帯の備え ●下校指導	◎交通安全の意識と安全 ◎校外学習時の安全	●文化発表会準備と安全 ●登下校の安全 ●持久走大会と安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意	●自分の健康チェック ●地帯の安全	●施設の安全な利用の仕方 ●けがの発生状況と防止	●1年間の反省 ●球技大会での安全	
		●部活動での安全	●雨天后校舎内での過ごし方 ○水泳、水の事故と安全 ●体育大会の取組と安全	●校外学習時の安全 ●自分の健康チェック ○夏休みの生活設計と安全 ○夏休みと白帯の備え ●下校指導	◎地震による津波の危険と避難 ◎火災時の安全な避難の仕方と白帯の備え ●下校指導	◎交通安全の意識と安全 ◎校外学習時の安全	●文化発表会準備と安全 ●登下校の安全 ●持久走大会と安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意	●自分の健康チェック ●地帯の安全	●けがの発生状況と防止	●1年間の反省 ●球技大会での安全	
	第2学年	●部活動での安全	●雨天后校舎内での過ごし方 ○水泳、水の事故と安全 ●体育大会の取組と安全	●校外学習時の安全 ●自分の健康チェック ○夏休みの生活設計と安全 ○夏休みと白帯の備え ●下校指導	◎地震による津波の危険と避難 ◎火災時の安全な避難の仕方と白帯の備え ●下校指導	◎交通安全の意識と安全 ◎校外学習時の安全	●文化発表会準備と安全 ●登下校の安全 ●持久走大会と安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意	●自分の健康チェック ●地帯の安全	●けがの発生状況と防止	●1年間の反省 ●球技大会での安全	
	第3学年	●登下校の安全	●雨天后校舎内での過ごし方 ○水泳、水の事故と安全 ●体育大会の取組と安全	●校外学習時の安全 ●自分の健康チェック ○夏休みの生活設計と安全 ○夏休みと白帯の備え ●下校指導	◎地震による津波の危険と避難 ◎火災時の安全な避難の仕方と白帯の備え ●下校指導	◎交通安全の意識と安全 ◎校外学習時の安全	●文化発表会準備と安全 ●登下校の安全 ●持久走大会と安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意	●自分の健康チェック ●地帯の安全	●けがの発生状況と防止	●1年間の反省 ●球技大会での安全	
安全指導	生徒会活動	・校区の安全点検活動 ・美術展覧学習	・体育大会	・校外学習	・防災(避難)訓練 ・防火(避難)訓練 ・秋の交通安全運動	・文化発表会 ・文化発表会 ・持久走大会	・文化発表会 ・文化発表会 ・持久走大会	・駆前街頭呼びかけ	・球技大会 ・卒業式			
	主な学校行事等	・入学式 ・健康診断 ・春の交通安全運動	・体育大会	・校外学習	・秋の交通安全運動	・修学旅行・3年職場体験・2年校外学習・1年	・文化発表会 ・文化発表会 ・持久走大会	・文化発表会 ・文化発表会 ・持久走大会	・駆前街頭呼びかけ	・球技大会 ・卒業式		
安全管理	対人管理	通学方法の決定 安全に関するまじりの設定	校舎内での安全を過ごす	夏期休業中の部活動での安全と対応	身体安全及びけがの予防	文化発表会の準備と安全	文化発表会の準備と安全	通学路の見直し 安全な登下校について	通学路の見直し 安全な登下校について	施設設備等の安全な使い方について	1年間の人的管理の評価(けがの状況等)	
	対物管理	通学路の安全点検 学校の安全点検	安全点検整備(階段、廊下)	休業中の校舎内外の点検整備 運動場校庭、校舎外の整備 避難経路の確認	安全点検整備 校内の点検(体育館)	防火設備 用具点検整備	防火設備 用具点検整備	安全点検整備(通学路)	安全点検整備(通学路)	学校備品の安全点検整備	1年間の安全点検後の評価	
学校安全に関する組織活動	春の交通安全運動時の啓発活動	校外における生徒の安全行動把握、情報交換	学校設備の点検・整備	夏祭り等の巡視	秋の交通安全運動の啓発と街頭指導	安全点検整備 校内の点検(体育館)	防火設備 用具点検整備	安全点検整備(通学路)	安全点検整備(通学路)	学校備品の安全点検整備	1年間の安全点検後の評価	
学校安全に関する組織活動	春の交通安全運動時の啓発活動	校外における生徒の安全行動把握、情報交換	学校設備の点検・整備	夏祭り等の巡視	秋の交通安全運動の啓発と街頭指導	安全点検整備 校内の点検(体育館)	防火設備 用具点検整備	安全点検整備(通学路)	安全点検整備(通学路)	学校備品の安全点検整備	1年間の安全点検後の評価	
学校安全に関する組織活動	春の交通安全運動時の啓発活動	校外における生徒の安全行動把握、情報交換	学校設備の点検・整備	夏祭り等の巡視	秋の交通安全運動の啓発と街頭指導	安全点検整備 校内の点検(体育館)	防火設備 用具点検整備	安全点検整備(通学路)	安全点検整備(通学路)	学校備品の安全点検整備	1年間の安全点検後の評価	

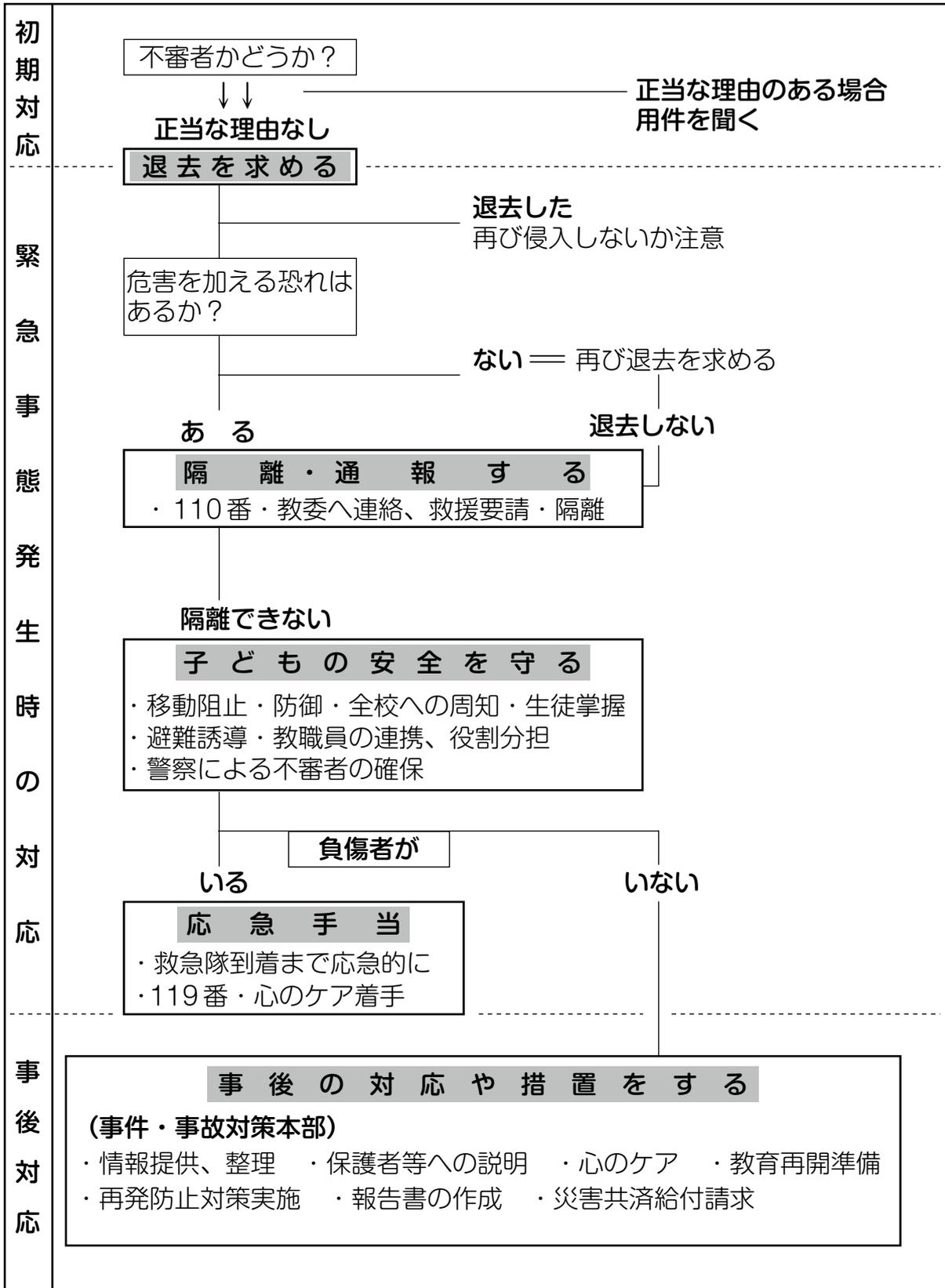
◀ 災害発生 ▶



# 危機管理マニュアル・不審者侵入

和歌山市立城東中学校

## 《 関係者以外の学校への立ち入り 》



# 危機管理マニュアル・事件、事故

和歌山市立城東中学校

## ≪ 事件・事故発生 ≫



### 発見者

- ・状況把握
- ・近くの子どもの安全確保
- ・協力要請 ・緊急通報
- ・負傷者の把握と応急手当

### 近くの教職員等

- ・事件、事故発生の通報

### <教職員>

- 防御  
暴力抑止 被害防止
- 避難・誘導  
避難場所への誘導  
避難場所での安全確保

### <校長・教頭>

- 事態の状況把握
- 判断・対応
- 指示・連絡

→ 報告  
← 指示

救急車の要請

119番

警察出動要請

110番

保護者への連絡

教育委員会へ

### <学校医> 相談

場合により処置 →

### <養護教諭>

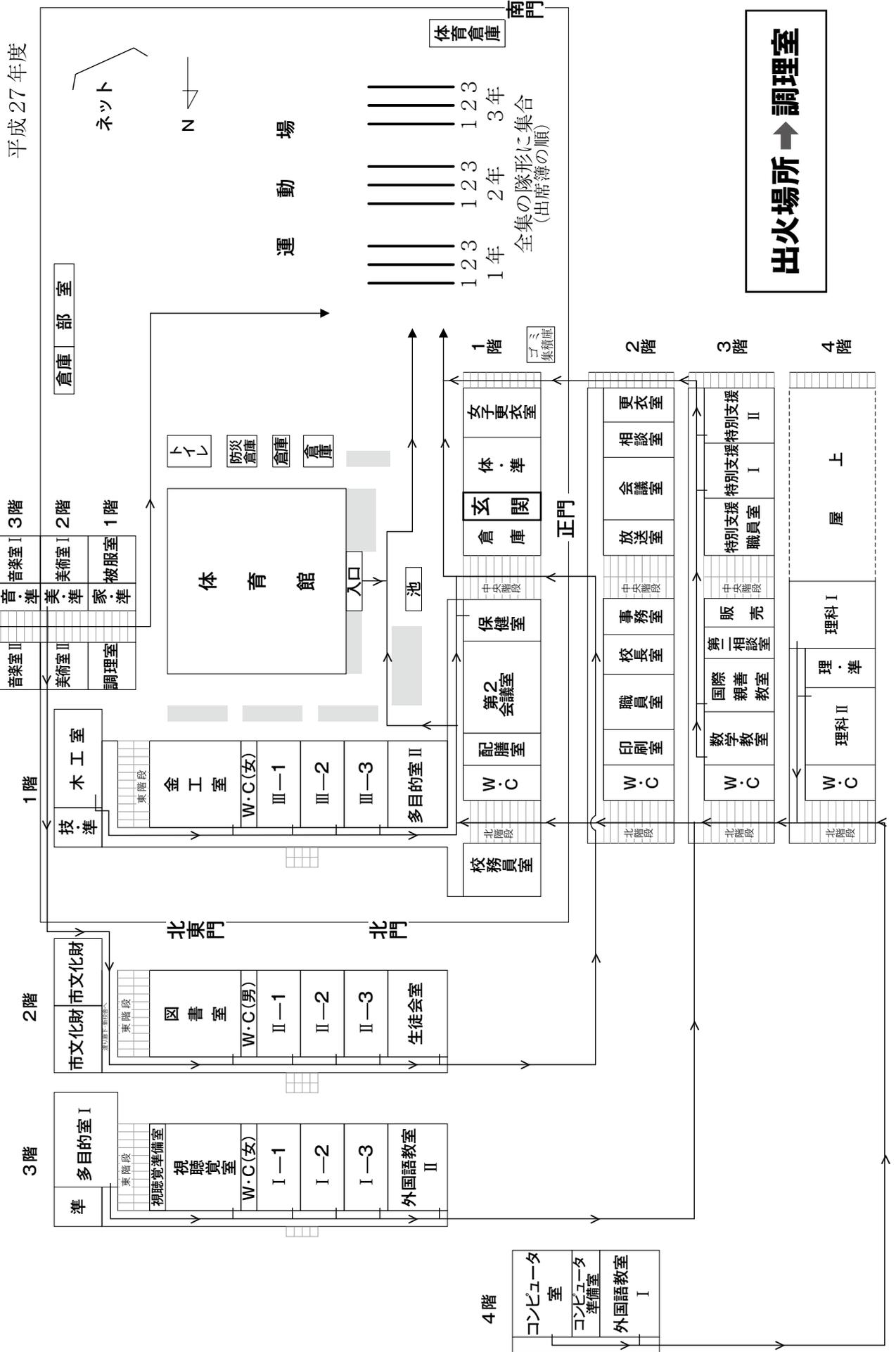
← 指導 負傷者把握 応急手当

## (POINT)

- ①子どもの安全確保、生命維持最優先
- ②的確な判断と指示
- ③適切な対処、迅速正確な連絡・通報

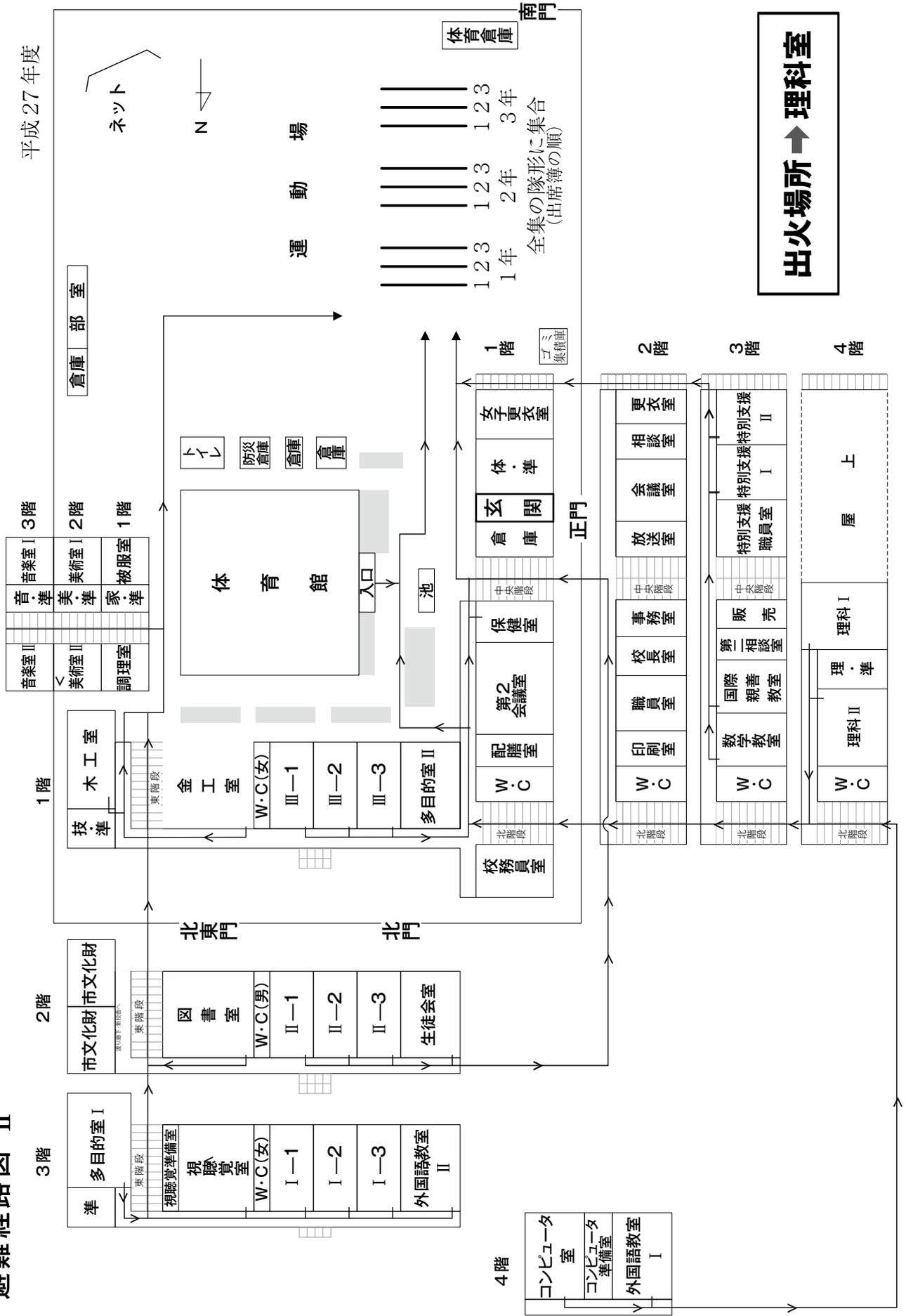
事 件 ・ 事 故 対 策 本 部				
外部との対応	情報の収集整理	教育再開準備	再発防止対策	救護活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録連絡報告</li> <li>・保護者説明会</li> <li>・マスコミ対応</li> <li>・教委対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子</li> <li>・通学路の安全</li> <li>・保護者の意見</li> <li>・事件概要課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画作成</li> <li>・施設教材準備</li> <li>・指導体制整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理充実</li> <li>・マニュアル見直し</li> <li>・安全教育充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者把握</li> <li>・健康状態把握</li> <li>・心のケア</li> </ul>

# 避難経路図 I



# 避難経路図 II

平成 27 年度





## 平成27年度暴風警報及び大雨警報等の 発令時における家庭の措置について

平素は、本校教育にご協力を賜りありがとうございます。さて、特別警報、暴風警報及び大雨警報等が発令されたときの生徒の登下校については、下記の要領で対応してくださいませようお願いいたします。また、「和歌山市」に警報が発令された場合のみ適用となりますので、ご注意ください。

### 記

#### 1 暴風警報又は大雨警報が発令されている場合

登校前に「特別警報」、「暴風警報」、「大雨警報」が「和歌山市」に発令されている時は、自宅待機し、警報が解除された場合は、下記により対応してください。

注意報発令の場合は、平常通り授業を行います。

#### (1) 午前11時00分(ちょうどうどを含む)までに解除された場合

- 速やかに登校させてください。この場合は、昼食を持参してください。  
(昼食用の弁当・パン等の販売は間に合いませんので行いません。)
- ただし、警報が解除されても次のような場合は、登校を見合わせ、早急にこの旨を担当に連絡してください。
  - \* 各家庭・地区の被害状況からみて、保護者が登校困難と判断した時
  - \* 通学路状態からみて、保護者が危険、又は、登校困難と判断した時

#### (2) 午前11時00分(ちょうどうどを除く)～正午(ちょうどうどを含む)までに解除された場合

- 午後の平常授業を行います。昼食を済ませて、午後1時20分までに登校させてください。  
なお、昼食用の弁当・パン等の販売は行いませんので注意してください。

#### (3) 正午(ちょうどうどを除く)を過ぎても解除されない場合

- 終日、臨時休業とします。

#### 2 震度5以上の地震が発生し、津波等の危険が予測される場合

- 自宅で待機をしてください

#### 3 在校時に警報が発令された場合

- 在校中に「暴風警報」か「大雨警報」が発令された時、又は、震度5以上の地震が発生した時は、通学路の安全を確認の上、すみやかに下校させます。  
帰宅させることでより危険が増す場合は、下校させないで危険がなくなるまで学校待機とします。なお在校中に「特別警報」が発令された場合は、原則として学校待機とします。  
下校後は、ご自宅で待機し、ニュース等に十分注意し、外出して事故に遭うことのないよう、ご家庭でも十分なご配慮をお願いいたします。
- 下校後、正午までに警報が解除された時は、登校させてください。  
この場合、制服が雨でぬれていることも予想されるので、体操服で登校させてくださいてもかまいません。  
正午(ちょうどうどを除く)を過ぎても解除されない時は、終日臨時休校とします。

#### 4 その他の警報が発令されている場合

- その他の警報については、校区の実情に応じて必要な措置を講じますが、区内、家庭及び通学路が危険な状態でない限り、授業は平常通り行います。
- 避難勧告、避難指示により学校が避難所となる場合は、臨時休業とします。

#### 5 特別措置が報道された場合

- 上記以外にラジオ・テレビにより、和歌山市内中学校に対して特別措置が報道されたときは、その指示に従ってください。

#### 6 その他

- 警報が発令されていない場合でも、地域的に危険が予想される時は、保護者の判断で登校を見合わせてください。  
この場合も、早急にその旨を、担任に連絡してください。
- 問い合わせの電話が多くなることが予想され、学校といたしましても対応が及ばぬ状態となります。  
本事項を参照に、ご家庭での判断をお願いいたします。

平成27年度

# 教科年間計画



和歌山市立城東中学校

《国語科 年間指導計画》（1年）

	単元	教材	領域・文種
1 学期	4	言葉に出会うために 言葉に出会うために 野原はうたう 工藤直子	
	5	1. 学びをひらく にじの見える橋 杉みき子 ■言語①話し言葉と書き言葉 ■季節のしおり 春 友達をみんなに紹介しよう ダイコンは大きな根? 稲垣栄洋 ちょっと立ち止まって 桑原茂夫 わかりやすく説明しよう ■漢字①漢字の組み立てと部首 はじめての詩 荒川洋治 ■詩四編 言葉を集めよう ■文法への扉①言葉のまとまりを考えよう →文法①言葉の単位	物語 対話・紹介 説明 説明 説明 詩・解説 言葉
	6	豊かな言葉	
	7	2. 読書と情報 おいしい読書 読書紹介をする ■情報コラム①本から情報を集める ■情報コラム②新聞の紙面構成の特徴を知ろう 雪とパイナップル 鎌田 實 江戸からのメッセージ—今に生かしたい江戸の知恵 杉浦日向子 ■季節のしおり 夏	読書活動 読書 読書
	9	3. つながりを読む 星の花が降るころに 安東みきえ 大人になれなかった弟たちに…… 米倉齊加年 ■言語②指示する語句と接続する語句 項目を整理して伝えよう 案内文を作る シカの「落ち穂拾い」 —フィールドノートの記録から 辻 大和 ■季節のしおり 秋	物語 物語 案内 記録
2 学期	10	4. いにしえの心に ふれる 音読を楽しもう いろは歌 七夕に思う —語り継がれ、読み継がれてきたもの 蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から 今に生きる言葉	古文・音読 古文・解説 古文 漢文
	11	5. 論点をとらえる 話題をとらえて話し合おう バズセッションをする ■文法への扉②だれが・何を・どうする? →文法②文の組み立て 流水と私たちの暮らし 青田昌秋 調べたことを報告しよう ■漢字②漢字の音訓	討論 報告 説明 報告
	12		
3 学期	1	6. 表現を見つめる 少年の日の思い出 ヘルマン・ヘッセ/高橋健二 訳 ■言葉③さまざまな表現技法 ■文法への扉③単語の性質を見つけよう →文法③単語の分類 ■季節のしおり 冬 言葉を探検する ■漢字③漢字の成り立ち 木は旅が好き 茨木のり子	小説 報告・説明 詩
	2		
	3		

《国語科 年間指導計画》（2年）

	単元	教材	領域・文種
1 学期	4	1. 広がる学びへ 明日 谷川俊太郎 アイスプラネット 椎名 誠 ■季節のしおり 春	詩 小説
	5	枕草子 清少納言 ■自分流「枕草子」を書こう 説明のしかたを工夫しよう 目的や相手に応じて書く ■言葉①類義語・対義語・多義語	古文 説明
	6	2. 視点を定めて やさしい日本語 佐藤和之 印象に残る説明をしよう ■漢字①熟語の構成	説明 説明・発表
	7	豊かな言葉 新しい短歌のために 馬場あき子 短歌を創作しよう 短歌12首 言葉を選ぼう ■文法への扉①単語をどう分ける？ →文法①自立語	短歌・解説 言葉
2 学期	9	3. 読書と情報 技を伝える メディアと上手に付き合うために 池上 彰 気になる「あの人」を探ろう 旅する絵描き—パリからの手紙 伊勢英子 五重の塔はなぜ倒れないか 上田 篤 ■季節のしおり 夏	情報 読書活動 読書 読書
	10	4. きずなを読む 盆土産 三浦哲郎 字のない葉書 向田邦子 ■言葉②敬語 気持ちを込めて書こう 手紙を書く ■季節のしおり 秋 君は「最後の晚餐」を知っているか 布施英利	小説 随筆 手紙 評論
	11	5. いにしへの心を 訪ねる 音読を楽しもう 平家物語 扇の的—「平家物語」から 仁和寺にある法師—「徒然草」から 兼好法師 漢詩の風景 石川忠久	古文・音読 古文 古文 漢詩・解説
	12	6. 論理をとらえる 話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする ■文法への扉②走る。走らない。走ろうよ。 →文法②用言の活用 モアイは語る—地球の未来 安田喜憲 ■季節のしおり 冬 立場と根拠を明確にして書こう ■漢字②同じ訓・同じ音をもつ漢字	討論 論説 意見
	1	7. 自分を見つめる 走れメロス 太宰 治 ■文法への扉③一字違いで大違い →文法③付属語 表現のしかたを工夫して書こう 視点を変えて物語を書く ■言葉③方言と共通語 ■漢字③送り仮名 身近な人の「物語」を探る 言葉の力 大岡 信	小説 物語創作 対話・聞き書き 随筆
	2	3	

《国語科 年間指導計画》（3年）

	単元	教材	領域・文種
1 学期	4	1. 深まる学びへ 朝焼けの中で 森崎和江 握手 井上ひさし ■季節のしおり 春	随筆 小説
	5	説得力のある考えを述べよう 批評文を書く ■言葉①和語・漢語・外来語	批評
	6	2. 多様な視点から 月の起源を探る 小久保英一郎 自分の魅力を伝えよう ■漢字①熟語の読み方	説明 スピーチ
	7	豊かな言葉 俳句の可能性 宇多喜代子 俳句を創作しよう 俳句16句 言葉を使おう ■文法への扉①すいかは幾つ必要？ →文法①文法を生かす	俳句・解説  言葉
	3. 読書と情報 読書生活をデザインしよう 未来の私にお薦めの本 ■情報コラム 本の探し方・見つけ方 蝉の声 浅田次郎 高瀬舟 森 鷗外 光で見せる展示デザイン 木下史青 ■季節のしおり 夏	読書活動  読書 読書 読書	
2 学期	9	4. 状況を読む 挨拶—原爆の写真によせて 石垣りん 故郷 魯迅／竹内 好訳 ■言葉②慣用句・ことわざ・故事成語	詩 小説
	10	文章の形態を選んで書こう 修学旅行記を作る	編集
		5. いにしへの心と 語らう ■季節のしおり 秋 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草—「おくのほそ道」から 松尾芭蕉	古文・音読 古文 古文
	11	6. 論旨を捉える 論理の展開に着目して読もう 新聞の社説を比較する	論説の比較
	12	課題解決に向けて話し合おう ■文法②文法のまとめ ネット時代のコペルニクス—知識とは何か 吉見俊哉 ■漢字②漢字の造語力	説得 論説
3 学期	1	7. 未来へ向かって 三年間の歩みを編集しよう ■季節のしおり 冬	発表・編集
	2	学びて時にこれを習ふ—「論語」から アラスカとの出会い 星野道夫 温かいスープ 今道友信	漢文 随筆 随筆
	3	聴くということ 鷺田清一 わたしを束ねないで 新川和江 ■漢字③漢字のまとめ	評論 詩

《国語科書写 年間指導計画》（1 年）

月	単元名・教材	指導計画（内容）
4	楷書（毛筆）	・筆のもち方、姿勢、配字、筆順を理解させる。
5	市民憲章（硬筆）	・字形、仮名と漢字との大きさのつりあい、筆順、文字の中心と行の中心をそろえることなどについて学習させる。
6	楷書（硬筆）	・万年筆のもち方、字形の整え方、組立て方に習熟させる。
7	〃	
9	競書会（硬筆・毛筆）	・今までの硬筆、毛筆での楷書学習をもとにして書かせる。
10	平仮名（毛筆）	・平仮名の筆づかい、字形の整え方、行の整え方を学習させる。
11	行書（毛筆）	・行書の特徴、字形、漢字と仮名との調和を学習させる。
12	〃	
1	書き初め（硬筆・毛筆）	・今まで学習した楷書、平仮名や硬筆学習のまとめとして書かせる。
2	行書と平仮名（毛筆）	・行書と平仮名のつりあい、文字の大きさ、字配りを考えて、全体の調和をとらせる。
3	〃	

《社会科 年間指導計画》（1年）

月	学習指導要領の項目	学 習 内 容
4月	第1編 世界のさまざまな姿 第1章 世界のすがた	・世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係を大観させる。
5月	第2章 世界各地の人々の生活と環境	・人々の生活と環境のかかわりや、さまざまな条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解させるとともに、異なる文化を尊重する態度を身につける。 ・世界にはさまざまな宗教や宗教とのかかわりの生活が営まれていることを理解させるとともに、同じ地域においても宗教、その他の社会的条件によって生活に違いがあることに着目させる。
6月	第3章 世界の諸地域 1節 アジア州  2節 ヨーロッパ州	・アジア州の自然環境・産業・生活・文化・歴史的背景などの特色について、雨温図・統計資料・地図帳などを活用し考察させる。  ・ヨーロッパ州の自然環境・産業・生活・文化・歴史的背景などの特色について、雨温図・統計資料・地図帳などを活用し考察させる。
7月	3節 アフリカ州  4節 北アメリカ州	・アフリカ州の自然環境・産業・生活・文化・歴史的背景などの特色について、雨温図・統計資料・地図帳などを活用し考察させる。  ・北アメリカ州の自然環境・産業・生活・文化・歴史的背景などの特色について、雨温図・統計資料・地図帳などを活用し考察させる。
9月	5節 南アメリカ州  6節 オセアニア州	・南アメリカ州の自然環境・産業・生活・文化・歴史的背景などの特色について、雨温図・統計資料・地図帳などを活用し考察させる。  ・オセアニア州の自然環境・産業・生活・文化・歴史的背景などの特色について、雨温図・統計資料・地図帳などを活用し考察させる。
10月	第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本のすがた  第2章 世界から見た日本のすがた 1節 世界から見た日本の自然環境	・日本の国土の位置及び領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観させる。  ・日本の地形や気候の特色を理解させるとともに、自然災害・防災への取り組みをあげ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。

1 1月	2 節 世界から見た日本の人口  3 節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業  4 節 世界と日本の結びつき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的視野から日本の人口と人口密度、少子高齢化の課題を理解させるとともに、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観させる。</li> <li>・世界的視野から日本の資源・エネルギー消費の現状を理解させるとともに、国内産業の動向と課題を考察し、日本の鉱産資源やエネルギーの大部分を海外に依存していることを気付かせる。</li> <li>・世界的視野から、インフラ整備による時間距離の短縮から見られる日本国内外の結びつきの特色を大観させる。</li> </ul>
1 2月	第1章 歴史のとらえ方  第2章 古代までの日本 1 節 文明のおこりと日本の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習を通して、時代区分やその移り変わりに気付かせ、中学校の歴史学習の導入として、歴史を学ぶ意欲を高めさせる。</li> <li>・世界の古代文明や宗教が生まれたこと、また日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解させる。</li> </ul>
1月	2 節 古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至る過程、摂関政治を通して理解させる。</li> </ul>
2月	第3章 中世の日本 1 節 武士の台頭と鎌倉幕府	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の社会から生まれた武士がしだいに力をつけ、鎌倉幕府が成立するに至る経緯のあらましを理解させ、文化と仏教にみられる当時の社会との関連を考えさせる。</li> </ul>
3月	2 節 東アジア世界とのかかわりと 社会の変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉幕府の滅亡、南北朝の動乱、室町幕府の成立、応仁の乱と戦国大名の登場を通して、武家政治の展開を理解させる。</li> </ul>

《社会科 年間指導計画》（2年）

学期	分野・単元	学 習 内 容
1 学 期	<p>《歴史的分野》</p> <p>第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと日本の成り立ち *学習指導要領との関連(2)のア</p> <p>2節 古代国家の歩みと東アジア世界</p> <p>第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 *学習指導要領との関連(3)のア・イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通じて、時代区分や時代の移り変わりに気づかせる。</li> <li>●日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連させて理解させる。</li> <li>●大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きくとらえさせる。</li> <li>●武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。</li> </ul>
2 学 期	<p>2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 *学習指導要領との関連(3)のア・イ</p> <p>第4章 近世の日本</p> <p>1節 ヨーロッパ人との出会いと天下統一</p> <p>2節 江戸幕府の成立と鎖国</p> <p>3節 産業の発達と幕府政治の動き</p> <p>第5章 開国と近代日本のあゆみ 1節 欧米の進出と日本の開国</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が長く続いたことを理解させる。</li> <li>●安定した社会がしだいに変化し、行き詰まっていく原因について、夜会のしくみや経済の変化などから考えさせる。</li> <li>●欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</li> </ul>

2 学 期	<p>2節 明治維新</p> <p>3節 日清・日露戦争</p>	<p>●日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。</p>
3 学 期	<p>≪地理的分野≫</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1節 九州地方</p> <p>2節 中国・四国地方</p> <p>3節 近畿地方</p> <p>4節 中部地方</p> <p>5節 関東地方</p> <p>6節 東北地方</p> <p>7節 北海道地方</p> <p>8節 日本をながめて</p> <p>第4章 身近な地域の調査</p>	<p>●日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付かせる。</p> <p>●地域の特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を育む。</p> <p>●縮尺の大きな地図や写真などを活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域で見られる様々な地理的事象に気付かせる。</p> <p>●身近な地域に関する情報を収集し、それを基に調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組ませるとともに、適切な調査テーマを設定できるようにさせる。</p>

《社会科 年間指導計画》（3年）

月	分野・単元	学 習 内 容
4月	<p>《歴史的分野》</p> <p>第6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>1節 第一次世界大戦とアジア・日本</p>	<p>・第一次世界大戦の原因や概要について理解させ、帝国主義などの背景や現在まで続く民族問題についても関心を持たせる。</p>
5月	<p>2節 世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>3節 第二次世界大戦と日本</p>	<p>・世界恐慌の原因について理解させるとともに、各国の対応などの違いを考えさせ、ファシズムの台頭について自分の意見を持たせる。</p> <p>・第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考えさせる。</p>
6月	<p>第7章 現代の日本と世界</p> <p>1節 戦後日本の発展と国際社会</p> <p>2節 新たな時代の日本と世界</p> <p>《地理的分野》</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1節 九州地方－環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし－</p> <p>2節 中国・四国地方－都市と農村の変化と人々の暮らし－</p> <p>3節 近畿地方－歴史の中で形づくられてきた人々の暮らし－</p>	<p>・戦後の日本の歩みを、民主化政策や憲法制定を中心に理解させ、世界の中の日本の立場を考えさせる。</p> <p>・冷戦終結から現在までの日本の歩みを理解させ、将来の日本と世界について考えさせる。</p> <p>・九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付けて考察させる。</p> <p>・中国・四国地方の地域的特色について、都市と農村の変化を人々の生活や産業などと関連付けて考察させる。</p> <p>・近畿地方の地域的特色を、産業や文化の歴史的背景や開発の歴史に着目して、それを他地域との結び付きなどと関連付けて考察させる。</p>
7月	<p>4節 中部地方－活発な産業を支える人々の暮らし－</p> <p>5節 関東地方－さまざまな地域と結びつく人々の暮らし－</p> <p>6節 東北地方－伝統的な生活や文化を守り育てる人々の暮らし－</p>	<p>・中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを、各地域の自然的条件と社会的条件の両面から考察してとらえさせる。</p> <p>・関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることに着目して、日本各地や世界との結び付きをとらえさせる。</p> <p>・東北地方の地域的特色を、伝統的な生活や文化を通して、その自然環境や歴史的背景、他地域との交流などから多面的に考察させる。</p>

7月	<p>7節 北海道地方－雄大な自然とともに生きる人々のくらし－</p> <p>8節 日本をながめて</p>	<p>・北海道地方の自然環境に対する人々の取り組みや防災対策についてとらえ、自然環境と人間の関係のあり方に関心を持たせる。</p> <p>・これまで学習してきた七つの地方、七つの視点を関連付けながら、日本全体の地域的特色を多面的・多角的に考察することを通して、地理的な見方や考え方を育ませる。</p>
9月	<p>《公民的分野》</p> <p>第1編 私たちと現代社会</p> <p>第1章 私たちが生きる現代社会と文化</p> <p>1節 私たちが生きる現代社会の特色</p> <p>2節 現代社会の文化と私たち</p> <p>第2章 現代社会をとらえる見方や考え方</p> <p>1節 現代社会をとらえる見方や考え方</p> <p>第2編 私たちの生活と政治</p> <p>第1章 個人の尊重と日本国憲法</p> <p>1節 法に基づく政治と日本国憲法</p> <p>2節 日本国憲法と基本的人権</p>	<p>・現代日本の社会には少子高齢化、情報化、グローバル化などの特色が見られ、政治、経済、国際社会に影響を与えていることを理解することができる。</p> <p>・現代日本の社会は、どのような伝統や文化の影響を受けているのか考察し、現代社会における文化の意義や影響を理解することができる。</p> <p>・公民的分野の学習に対して関心を高めることができる。</p> <p>・物事の決定の仕方やきまりなどの社会生活に見られる事例について、それらの意義を考えることができる。</p> <p>・対立と合意、効率と公正といった見方や考え方をを用いて、現代社会をとらえることができる。</p> <p>・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。</p> <p>・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察することができる。</p>
10月	<p>2節 日本国憲法と基本的人権</p> <p>3節 日本の平和主義</p> <p>第2章 国民主権と日本の政治</p> <p>1節 民主政治と政治参加</p>	<p>・日本国憲法の基本原則を具体的な生活との関わりから理解することができる。</p> <p>・天皇の地位と国事に関する行為について理解することができる。</p> <p>・議会制民主主義や地方自治の意義や仕組みについて理解することができる。</p>
11月	<p>2節 くらしを支える地方自治</p> <p>3節 国の政治のしくみ</p>	<p>・住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識をもつことができる。</p> <p>・法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解することができる。</p>

1 1月	3節 国の政治のしくみ	・民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えることができる。
1 2月	第3編 私たちの生活と経済 第1章 消費生活と経済のしくみ 1節 暮らしと経済 2節 市場のはたらき 第2章 生産のしくみと金融 1節 生産と企業 2節 金融とお金の価値	・身近で具体的な事例を通して、経済活動の意義が、人間の生活の維持・向上にあり、経済は生活のための手段であることを理解することができる。 ・財やサービスを作り出す生産が、家計によって提供される労働やその他の資源を投入して企業を中心に行われていることを理解することができる。
1月	3節 働く人をめぐる問題 第3章 財政と国民の福祉 1節 政府の仕事と財政 2節 私たちの生活と政府のはたらき	・市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えることができる。
2月	第4編 現代の国際社会 第1章 国際社会と人類の課題 1節 国家と国際社会 2節 地球環境への人類の取り組み	・国家間相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力、国連をはじめとする国際機構の役割が大切であることを理解することができる。 ・国際社会における我が国の役割について考察することができる。
3月	第5編 私たちの課題 第1章 持続可能な社会をめざして	・自分たちがよりよい社会を築いていくためにはどうすればよいか、持続可能な社会を形成するという観点から、課題を設けて探究することができる。

《数学科 年間指導計画》（1年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	1. 正の数・負の数 1 正の数・負の数	1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小
5	2 正の数・負の数の計算	1 正の数・負の数をたすこと、ひくこと 2 正の数・負の数の加法、減法 3 正の数・負の数の乗法、減法 4 逆数の乗法、除法 5 いろいろな計算
6	3 数の集合と四則	
	2. 文字の式 1 文字を使った式	1 数量の文字で表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値
7	2 文字式の計算	1 文字式の加法、減法 2 文字式と数の乗法、除法 3 関係を表す式
	3 大小関係を表す式	
9	3. 方程式 1 方程式	1 方程式とその解 2 等式の性質と方程式 3 方程式の解き方
	2 方程式の利用	1 方程式の利用
	3 比と比例式	
10	4. 比例と反比例 1 関数関係 2 比例	1 比例の式 2 座標 3 比例のグラフ
	3 反比例	1 反比例の式 2 反比例のグラフ
11	4 比例、反比例の利用	1 比例、反比例の利用
	5. 平面図形 1 直線図形と対称	1 直線と角 2 対称な図形
	2 基本の作図	1 基本の作図
	3 円とおうぎ形	1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量
12	4 図形の移動	
	6. 空間図形 1 立体と空間図形	1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 面や線を動かしてできる立体
1	2 立体の表面積と体積	1 立体の表面積 2 立体の体積
	3 立体の投影図 4 球の表面積と体積	
3	7. 資料の活用	

《数学科 年間指導計画》（2年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	1. 式の計算 1 式の計算	1 式の加法・減法 2 単項式の乗法・除法
5	2 文字式の利用	1 文字式の利用
6	2. 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用	1 連立方程式とその解 2 連立方程式の解き方 1 連立方程式の利用
7	3. 一次関数 1 一次関数とグラフ	1 一次関数 2 一次関数の値と変化 3 一次関数のグラフ 4 一次関数の式を求めること
9	2 一次関数と方程式 3 一次関数の利用	1 方程式とグラフ 2 連立方程式とグラフ 1 一次関数の利用
10	4. 図面の調べ方 1 平行と合同	1 角と平行線 2 多角形の角 3 三角形の合同
11	2 証明	1 証明とそのしくみ 2 合同条件と証明の進め方
12	5. 図面の性質と証明 1 三角形 2 四角形	1 二等辺三角形 2 直角三角形の合同 1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になる条件 3 長方形、ひし形、正方形 4 平行線と面積
1	6. 確率 1 確率の意味	1 確率の意味
2	2 場合の数と確率	1 数え方のくふう
3		2 確率の求め方

《数学科 年間指導計画》（3年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	1. 式の展開と因数分解 1 多項式の計算	1 式の乗法・除法 2 乗法の公式
5	2 因数分解	1 素因数分解 2 因数分解
6	3 式の計算の利用	1 式の計算の利用
	2. 平方根 1 平方根	1 平方根 2 平方根の値
7	2 根号をふくむ式の計算	1 根号をふくむ式の乗法・除法 2 根号をふくむ式の計算
9	3. 二次方程式 1 二次方程式	1 二次方程式とその解き方 2 二次方程式と因数分解
	2 二次方程式の利用	1 二次方程式の利用
10	4. 関数 $y = ax^2$ 1 関数とグラフ	1 関数 $y = ax^2$ 2 関数 $y = ax^2$ のグラフ
	2 関数 $y = ax^2$ の値の変化	1 関数 $y = ax^2$ の値の増減と変域 2 関数 $y = ax^2$ の変化の割合
11	3 関数 $y = ax^2$ の利用	1 身のまわりの関数 $y = ax^2$
	5. 図形と相似 1 図形と相似	1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 相似条件と証明 4 縮図の利用
12	2 平行線と線分の比	1 平行線と線分の比 2 中点連結定理
	6. 円の性質 1 円周角と中心角 2 円の性質の利用	
1	7. 三平方の定理 1 三平方の定理	1 三平方の定理
	2 三平方の定理の利用	1 平面図形への利用 2 空間図形への利用
2 3	8. 標本調査	

《理科 年間指導計画》

	1 年	2 年	3 年
4	(2-1) 植物の生活と種類 ア 生物の観察	(2-3) 動物の生活と種類 ア 生物と細胞	(2-5) 生物の細胞と生殖 ア 生物と細胞
5	イ 植物の体のつくりと働き (ア) 花のつくりと働き (イ) 葉・茎・根のつくりと働き	イ 動物の体のつくりと働き (ア) 動物の体のつくりと働きの観察 (イ) 刺激と反応 (ウ) 生命を維持する働き	(ア) 細胞分裂と生物の成長 (イ) 生物の殖え方 イ 遺伝の規則性と遺伝子 ・分離の法則、遺伝子の変化による形質の変化、遺伝子の本体がDNAであること
	ウ 植物の仲間 (ア) 種子植物の仲間 (イ) 種子をつくらない植物の仲間	ウ 動物の仲間 (ア) 脊椎動物の仲間 (イ) 無脊椎動物の仲間 ・節足動物・軟体動物 (ウ) 生物の変遷と進化	(1-5) 運動の規則性 ア 運動の規則性 (ア) 力のつり合い (イ) 運動の速さと向き (ウ) 力と運動
6			イ 力学的エネルギー (ア) 仕事とエネルギー ・仕事の原理 (イ) 力学的エネルギーの保存
7	(1-1) 身近な物理現象 ア 光と音 (ア) 光の反射・屈折	(1-3) 電流とその利用 ア 電流 (ア) 静電気と電流 ・電流が電子の流れであること	(2-6) 地球と宇宙 ア 天体の動きと地球の自転・公転 (ア) 日周運動と自転 (イ) 年周運動と公転
8	(イ) 凸レンズの働き (ウ) 音の性質	(イ) 回路と電流・電圧 (ウ) 電流・電圧と抵抗 (エ) 電気とそのエネルギー	イ 太陽系と恒星 (ア) 太陽の様子 (イ) 月の運動と見え方 ・日食や月食 (ウ) 惑星と恒星
9	イ 力と圧力 (ア) 力の働き ・力とばねの伸び ・重さと質量の違い (イ) 圧力 (水圧・浮力を含む)	イ 電流の利用 (ア) 電流と磁界 (イ) 磁界中の電流が受ける力 (ウ) 電気と光・熱 ・電力量と熱量 (エ) 直流と交流	(1-6) 物質と化学変化の利用 ア 水溶液とイオン (ア) 水溶液の電気伝導性 (イ) 原子の成り立ちとイオン ・電子と原子核、陽子、中性子、イオン式 (ウ) 化学変化と電池 イ 酸・アルカリとイオン (ア) 酸・アルカリ (イ) 中和と塩 ・pH ・水に溶ける塩
10		(1-4) 化学変化と原子・分子 ア 物質の成り立ち (ア) 物質の分解 (イ) 原子・分子 イ 化学変化と物質の質量 (ア) 化合と化学反応式 (イ) 酸化と還元 (ウ) 化学変化と熱 (エ) 化学変化と物質の質量	
11	(2-2) 大地の変化 ア 地層と過去の様子 ・断層、褶曲 イ 火山と地震 (ア) 火山活動と火成岩 (イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	(2-4) 天気とその変化 ア 気象観測 イ 天気の変化 (ア) 霧や雲の発生 ・水の循環 (イ) 前線の通過と天気の変化 (ウ) 日本の気象 ・日本の天気の特徴 ・大気の動きと海洋の影響	(2-7) 自然と人間 ア 生物と環境 (ア) 自然界のつり合い (イ) 自然環境の調査と環境 イ 自然と人間 ウ 自然環境の保全と科学技術の利用
12			(1-7) 科学技術と人間 ア エネルギー資源 (ア) 様々なエネルギーとその変換 ・熱の伝わり方 ・エネルギーの総量保存及び変換効率 (イ) 放射線の性質と利用 イ 科学技術の発展 ウ 自然環境の保全と科学技術の利用
1	(1-2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (ア) 身の回りの物質とその性質 ・代表的なプラスチックの性質 (イ) 状態変化と体積変化 ・粒子のモデル ・粒子の運動 (ウ) 気体の発生と性質		
2	イ 水溶液 (ア) 物質の溶解		
3	(イ) 溶解度と再結晶 ・質量パーセント濃度		

《音楽科 年間指導計画》（1年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	音楽の楽しみ	校歌・「明日という大空」 アルトリコーダー リズム〈基礎基本〉
5		
6	イメージと音楽	鑑賞「魔王」
7		
9	合奏の楽しみ	器楽合奏
10	日本の音楽	「民謡」
11		
12	イメージと音楽	鑑賞「映画音楽・オペラ・ミュージカルなど」
1	合唱の喜び	混声三部合唱
2		
3	合唱の喜び	卒業式の歌

《音楽科 年間指導計画》（2年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	音楽の楽しみ	校歌・合奏「ラヴァースコンチェルト」・リズム 「メヌエット」
5	日本の伝統音楽	鑑賞「歌舞伎」
6	合奏の楽しみ	器楽合奏
7		
9	和楽器に親しむ	和太鼓
10		
11		
12	オーケストラの響き	鑑賞 交響曲 他
1	合唱の喜び	混声三部合唱
2		卒業式の歌
3		

《音楽科 年間指導計画》（3年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	日本の音楽	・歌唱「花」・リズム
5		・合奏
6	合奏の楽しみ	・器楽合奏
7		
9	オーケストラに親しむ	・鑑賞「モルダウ」
10		
11		
12	合唱を楽しむ	混声三部合唱
1		卒業式の歌
2		
3		

《美術科 年間指導計画》（1年）

月	単元名	指導計画（内容）
4	○美術について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術学習ガイダンス</li> <li>・水彩の基礎</li> <li>・技法、混色など</li> <li>・美術史について</li> <li>・レタリングなど</li> <li>・世界遺産について</li> <li>・自分を動物に置き換えると</li> <li>・美術史について</li> </ul>
5	○基礎学習	
	○水彩画	
6		
7	○鑑賞	
	○デザイン	
9		
10		
11	○鑑賞	
12	○デザイン	
1	○鑑賞	
2		
3		

《美術科 年間指導計画》（2年）

月	単元名	指導計画（内容）
4	○美術について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術学習ガイダンス</li> <li>・構想表現</li> <li>・構想表現から立体作品に形にする。</li> <li>・美術史について</li> <li>・紙粘土などで形作る</li> <li>・世界遺産について</li> <li>・自分の将来</li> <li>・美術史について</li> </ul>
5	○基礎学習	
	○絵画	
6	○立体	
7	○鑑賞	
9	○立体	
10		
11	○鑑賞	
12	○デザイン	
1		
2	○鑑賞	
3		

《美術科 年間指導計画》（3年）

月	単元名	指導計画（内容）
4	○美術について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術学習ガイダンス</li> <li>・デッサンなど</li> <li>・模写</li> <li>・美術史について</li> <li>・模写の続き</li> <li>・世界遺産について</li> <li>・3年間の思い出</li> <li>・美術史について</li> </ul>
5	○基礎学習	
	○絵画	
6		
7	○鑑賞	
9	○絵画	
10		
11	○鑑賞	
12	○立体	
1		
2	○鑑賞	
3		

## 《保健体育》

### 1. 目 標

運動・スポーツの合理的な実践と、健康・安全についての理解を通して、運動スポーツの多様な楽しさや体験や、深い楽しさ体験を蓄積し、生涯にわたって運動に親しむ愛好的な態度や、主体的に運動に取り組み、実践する能力を育成するとともに、健康の増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

### 2. 各分野の目標

#### <体育分野>

- (1) 運動・スポーツの実践を通して、その技能を高めるとともに、運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るようにする。
- (2) 運動・スポーツの体験を通して、公正な態度（スポーツマンシップ）を育て、規則遵守の態度や協力・協同の態度を育てる。
- (3) 個人選択や選択授業を通して、運動の楽しさの質をより深いものにし、生涯に渡って運動に親しみ、運動に自発的、自主的に取り組む力をつける。
- (4) 健康安全に留意して運動できる態度を育てる。

#### <保健分野>

- (1) 心身の健全な発達や健康生活について理解させ、健康の保持・増進をはかることができる能力や態度を育てる。
- (2) 健康に関わる環境について理解させ、良好な環境の維持・改善を図ることが出来る能力や態度を育てる。
- (3) 障害の防止や疾病の予防について理解させ、応急処置の基礎的スキルを身につけるとともに、健康な生活を営むことができる能力や態度を育てる。

《保健体育科 年間指導計画》

学期	年 月 週	1年		2年		3年		
		男女共習	保健	男女共習	保健	男子	女子	保健
前          後	4	・ 体育理論 ・ 体づくり運動		体育理論 体づくり運動		体育理論 体づくり運動		
	5	・ 陸上競技	心身の発達と心の健康	陸上競技	健康と環境・傷害の防止	球技 バレーボール	陸上競技	健康な生活と病気の予防
	6	・ 球技 ・ バレーボール		球技 バレーボール		球技 ソフトボール	球技 バレーボール	
	7							
	9	・ 器械運動		器械運動		器械運動		
	10	・ 球技 ・ ソフトボール ・ 陸上競技 (長距離走)		球技 ソフトボール 陸上競技 (長距離走)		陸上競技 ソフトボール 陸上競技 (長距離走)	陸上競技 球技 ソフトボール 陸上競技 (長距離走)	
	11	・ 武道・ダンス		武道・ダンス		武道・ダンス	武道・ダンス	
	12							
	1	・ 球技 ・ サッカー		球技選択 サッカー・バスケット ボール		球技選択 サッカー・バスケット ボール	球技選択 サッカー・バスケット ボール	
	2	・ 球技		(1選択)		(1選択)	(1選択)	
3	・ バスケットボール							

《技術科 年間指導計画》（1年）

単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
ガイダンス	1. 技術を見つけよう 2. 技術とわたしたちの生活 3. 技術分野の学習
生物育成に関する技術	1. わたしたちの生活と生物育成 2. 作物の栽培 5. 実習例 6. 生物育成に関する技術とわたしたち
情報に関する技術	1. 情報とわたしたちの生活 2. コンピュータと情報処理 ①コンピュータの構成 ②情報を処理をするしくみ ③デジタル化の方法 ④デジタル化した情報の量と保存 3. 情報通信ネットワークの利用 ①ネットワークの構成 ②ネットワークでできること ③情報を伝えるしくみ 4. ネットワークと情報セキュリティー ①ネットワークの安全性 ②情報セキュリティー 5. 情報モラルと知的財産 ①利用するときのモラル ②発信するときのモラル ③人権や個人情報の保護 ④知的財産の保護 6. デジタル作品の設計と製作 ①生活の中のメディア ②デジタル作品の構想 ③情報の収集と加工 ④作品の制作・発表

《技術科 年間指導計画》（2年）

単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
材料と加工に関する技術	1. ものづくりの工夫と進め方 2. 材料 ①さまざまな材料 ②材料の特徴 ③材料と環境とのかかわり 3. 設計 ①設計の進め方 ②使用目的と製作品の決定 ③機能を考える ④構造を考える ⑤材料を考える ⑥加工法を考える ⑦接合方法と仕上げ方法を考える ⑧製図 5. 製作 ①部品表と工程表 ②けがき ③切断 ④切削 ⑤穴あけ・溝ほり ⑥部品の検査と修正 ⑦組立て ⑧表面と角の仕上げ 6. 材料と加工に関する技術とわたしたち
情報に関する技術	7. プログラムによる計測・制御 ①生活の中にある計測・制御 ②計測・制御システム ③処理の手順とプログラム ④プログラムによる模型の制御 8. 情報に関する技術とわたしたち

《技術科 年間指導計画》（3年）

単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
エネルギー変換に関する技術	1. わたしたちの生活とエネルギー変換 ①エネルギーとエネルギー変換 ②エネルギー資源の種類 ③エネルギー変換と効率 2. エネルギー変換と利用 ①電気エネルギー ②電気機器への利用 3. 動力伝達の機構とその利用 ①動力伝達のしくみ ②運動を変化させるしくみ 4. 機器の安全な利用と保守点検 ①電気機器の構造 ②電気機器の安全な利用 ③電気機器の保守点検 ④機械の保守点検と整備 ⑤機械の安全な利用と事故防止 5. 実習例 6. エネルギー変換に関する技術とわたしたち

《家庭科 年間指導計画》（1年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	A. 家族・家庭と子どもの成長 1. わたしの成長と家族	①わたしの成長 ②わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと
5	B. 食生活と自立 1. 健康と食生活	①食事について考える
6		②生活のリズムと食事
7		③栄養素のはたらきと食品
9	2. 食品の選択と保存	④中学生に必要な栄養 ⑤食事の計画 ①食品が口に入るまで ②生鮮食品の選び方 ③いろいろな加工食品 ④加工食品の表示 ⑤加工食品の選び方 ⑥保存のしかたを考える ⑦食品の安全と情報
10	3. 調理をしよう	①調理の計画
11		②調理の基本
12		③肉の調理 ④魚の調理 ⑤野菜の調理
2	4. 地域の食材と食文化	①地域の食材と郷土料理
3		②受け継がれる食文化 ③地域と世界へ目を向けて

《家庭科 年間指導計画》（2年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)	
4	○自分らしく着る・快適に着る ～わたしたちと衣生活～	1. 日常着の活用 ①衣服のはたらき ②自分らしく目的に合わせた着方 ③衣服の活用と選び方	
5		2. 日常着の手入れ ①汚れと手入れ ②手入れと表示 — いろいろな繊維	
6		③衣服の洗濯・補修・アイロンかけ	
7		3. 環境に配慮した衣生活	
9		○生活を豊かにする物をつくる	布を用いた物の製作
10		○快適に住まう	1. 住まいのはたらき ①住まいのさまざまな役割 ②共に住まう
11			2. 安全な住まい ①安全対策 ②災害への備え
12	3. 快適な住まい ①室内の空気調節 ②住まいと音		
1	○身近な消費生活と環境		1. 家庭生活と消費
2		2. 商品の選択と購入 ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用	
3		3. よりよい消費生活のために ①消費生活のトラブルを防ごう ②消費者の権利と責任 ③消費者を支えるしくみ	
		4. 環境に配慮した生活 ①環境への影響を考える ②エネルギーとCO <sub>2</sub> 排出を減らす ③水を節約し、排水の汚れを減らす ④環境への影響を考えた消費生活 ⑤持続可能な社会へ向けて	

《家庭科 年間指導計画》（3年）

月	単 元 名	指 導 計 画 (内 容)
4	家族と家庭の生活	1. 子どもの成長
		①幼児の体と心の成長
5		・体の発達
6		・心の発達
6		・生活習慣
		②幼児の生活と遊び
7		・遊びの中で育つ
		・遊びを支える
9		・遊びと発達
		2. 子どもと家族や周囲の人びと
		①子どもと家族のかかわり
10		②子どもの成長を支え合う
		3. 幼児の喜ぶものを作ろう
11	おもちゃづくり	
12		
1		
2		
3		

《英語科 年間指導計画》（1年）

月	単 元 名	題 材	内 容
4	Warm-up	あいさつ、教室で使う英語、アルファベット、英語の音とつづり、数字、週、月日、色、名前	小学校外国語活動で扱った、あいさつ、教室で使う英語、アルファベット、英語の音とつづり、数字、週、月日、色、名前を取り上げる。
5	Unit 1  Unit 2  まとめと練習 1	ようこそ、日本の学校へ  みんな友達  be 動詞	カナダから来た新入生のベッキーをさくらと一郎が迎える場面。ベッキーは玄関前でさくらと会ってあいさつし（Part 1）、廊下では一郎にあいさつし（Part 2）、一郎から出身地をたずねられる（Part 3）。 さくらと一郎は、ベッキーに校舎内を案内する。ベッキーの机を教えたり（Part 1）、窓から見える建物について問答したり（Part 2）、ベッキーにケビンを紹介したりする（Part 3）。 「～は…です」と言うときの、be動詞の形と用法（特に語順）について総復習をする。
6	Unit 3  まとめと練習 2  Listening Plus 1 Unit 4	はじめまして、ブラウン先生  一般動詞  何のCM？ 楽しい昼休み	ブラウン先生の初めての授業。田中先生がブラウン先生を生徒に紹介したあと、ブラウン先生が自己紹介をする（Part 1）。その後、生徒たちは先生にインタビューをする（Part 2, 3）。 一般動詞を使った肯定文、否定文、疑問文とその答え方の総復習をする。特に語順や疑問文・否定文を作るdoの役割を再確認する。 コマーシャルの英語を聞き取り、その内容を理解する。昼休みの対話。話題は「折り紙」(Part 1)、「好きな教科」(Part 2)、「毎日の朝食」(Part 3)である。3つの話題とも、日本と関係のある内容となっている。
7	Multi Plus 1	自己紹介	4技能総合の自己表現活動としての自己紹介。Unit 3とUnit 4で扱った話題を中心に、モデル文を参考に自己紹介の原稿を書き、発表する。
9	Unit 5  Unit 6  まとめと練習 3  Listening Plus 2 Speaking Plus 1	お祭り大好き  ベッキーのおばあちゃん  三人称単数現在形  友達のプロフィール 電話での応答 題材・内容	町のお祭りにブラウン先生と生徒たちが出かける。ブラウン先生と店員による注文の対話(Part 1)、ブラウン先生と一郎による音楽やCDを巡る対話(Part 2)、さくらとケビンによる金魚すくいをしながらの対話(Part 3)と続く。ベッキーの祖母ナンシーが話題の中心となる。写真を使った紹介のスピーチ(Part 1)、ブラウン先生との問答(Part 2)、ナンシーについてのより詳細な紹介(Part 3)、と続く。三人称単数現在形の動詞の形と用法について総復習をする。 日本に住む外国人の友達の自己紹介のスピーチを聞く。「電話での応答」の第1弾(第2弾はBook 2 SP 2、第3弾はBook 3 SP 4)。話したい相手が直接電話に出た場合の基本的なやりとりを学ぶ。また、相手を招待する対話を学ぶ。
10	Unit 7	サンフランシスコの学校	ナンシーが孫のベッキーのためにサンフランシスコの中学校をビデオで紹介する。最初に案内役となるシンガポール生まれの中学生、ふたごのメイとピンを紹介し(Part 1)、次に社会科の授業の様子を紹介する(Part 2)。その後、メイへの授業についてのインタビュー(Part 3)、ピンへの昼食の様子、放課後や週末の過ごし方についてインタビュー(Part 4)と続く。

10	Writing Plus 1 Listening Plus 3 Unit 8	学校のホームページ 海外旅行 ナンシーに会いに	学校のホームページを作るという設定で、学校紹介の文を書く。 空港や機内での対話を聞き取る。 さくら、一郎、ベッキー、ケビンが冬休みにサンフランシスコに旅行に行くという設定（このストーリーの流れは Unit 11 まで続く）。到着した飛行機の中であわてるケビンとさくらの対話 (Part 1)、手荷物受取所でのベッキーとケビンの対話 (Part 2)、空港ロビーでのベッキーと一郎の対話とナンシーとの出会い (Part 3)、と続く。
11	まとめと練習 4 学び方コーナー 2 Writing Plus 2 Unit 9 まとめと練習 5 Listening Plus 4 Speaking Plus 2	代名詞 音の変化 グリーティングカード ケーブルカーに乗って 進行形 電車のトラブル発生 道案内	人称代名詞の格変化を総復習する。 連続して発音される語と語の間の音の変化の特徴を扱う。 いろいろなグリーティングカードの内容や表現方法、書き方を知り、グリーティングカードを書く。 サンフランシスコにやってきた4人は市内の名所を見学する。ベッキーがユニオン・スクエアでみんなの様子をビデオで撮影しながら解説する (Part 1)。続いて、チャイナタウンでのさくらとナンシーの対話 (Part 2)、ケーブルカー乗り場についてのケビンとナンシーの対話 (Part 3) と展開する。 現在進行形の動詞の形と文の語順について総復習する。 列車の運行状況に関する放送と、それに関する対話を聞いて、要点を聞き取る。 町中にある目的地への徒歩での行き方をたずねる、教える会話を学ぶ。「道案内」の第1弾(第2弾はBook 2 SP 3、第3弾はBook 3 SP 3)。
12	Multi Plus 2	一日の生活	毎日の生活のパターンを、朝起きてから夜寝るまで時間を追って表現する。4技能総合の自己表現活動。
1	Unit 10 まとめと練習 6 学び方コーナー 3 Speaking Plus 3	観光地から 疑問詞 発音記号 ちょっとお願い	サンフランシスコでの4人の冬休みの様子。さくらはクラスメートのためにサンフランシスコの交通事情についてのビデオレターを作る (Part 1)。続いて、ゴールデンゲート・ブリッジ (Part 2)、ヨセミテ国立公園 (Part 3)、と観光名所が登場する。 いろいろな疑問詞を総復習する。 主な発音記号の読み方と、単語の発音記号表示を扱う。 家族や友達などに許可を求めたり依頼したりするときの表現を学ぶ（なお、よりていねいに許可を求める・依頼する表現は Book 2 SP 1で扱う）。
2	Unit 11 まとめと練習 7 Listening Plus 5 Speaking Plus 4 Writing Plus 3	一年の思い出 一般動詞の過去形 休暇中の出来事 保健室での会話 絵はがき	学年末のある日、4人はブラウン先生の家で招待される。4人が冬休みにアメリカから送った手紙 (Part 1)、ブラウン先生が地元ボストンの雑誌に連載していた日本の正月の体験談 (Part 2)、ブラウン先生との対話 (Part 3) で一年間の思い出を振り返る 一般動詞の過去形の形と語順について総復習する。 ラジオ番組を聞き、要点を理解する。 保健室での先生と生徒との会話を扱い、特に「体の不調を訴える」表現を学ぶ。 旅先からの絵はがきを書く活動をする。過去形の復習もかねる。
3	Let 's Read	Over the Horizon	月から地球を見ている主人公の目をとおして、宇宙から見る地球の美しさ、国境のない地球の様子を描写する。そして、かけがえのない地球を守ることと人々の平和な生活を願う内容になっている。

《英語科 年間指導計画》（2年）

月	単 元 名	題 材	内 容
4	Warm-up Unit 1  Listening Plus 1 Writing Plus 1	A Speech and a Game Dogs with Jobs  テレビ広告 日記	Show and TellとWhat Am I?を取り上げる。 緑中学校で盲導犬の体験教室が開催される。盲導犬を引退してPR犬になったジェニーの説明(Starting Out)、打ち合わせに遅れてきたケビンとさくらの対話(Dialog)、盲導犬体験教室のお知らせとその感想文(Reading for Communication)、と展開する。 盲導犬についてのキャンペーン広告を聞き取る。 時間の流れに沿って書かれた日記と特定の話題に絞って書かれた日記を読み、文章の構成法を知る。また自分でも日記を書く。
5	Unit 2  Listening Plus 2 Speaking Plus 1	Trip to New Zealand  海外旅行 先生にお願い	一郎がゴールデンウィークにニュージーランドを訪れる。ゴールデンウィークの予定の対話(SO)、一郎の空港での入国審査の対話(D)、ニュージーランドのエグモント山とキーウィの紹介(RC)、と展開する。 飛行機の搭乗案内、機内での座席のトラブル、機内放送などを、実際の場面を連想しながら正しく聞き取る。 目上の人に対して、「丁寧に許可を求める、依頼する」ための表現を学ぶ。(Book 1 SP 3では、すでに家族や友達などに許可を求めたり、依頼したりするときの表現を学習している)
6	まとめと練習 1 学び方コーナー 1  Unit 3  Listening Plus 3 Writing Plus 2	be 動詞のいろいろな働き 辞書の使い方 My Future Job 家事アンケート メール	be 動詞の過去形の文と be going to の文の形と意味を総復習する。 英和辞典を利用して見出し語を速く見つけるコツを知り、クロスワードパズルに取り組みながら辞書を使う楽しさを学ぶ。 英語と職業との関わりという主題のもとで、英語部に入った理由のアンケート結果(SO)、将来の夢についての対話(D)、ウェブページ上での英語と職業についての意見交換(RC)、と続く。 各国の中学生の家事アンケートの結果について発表を聞き、大切な情報を聞き取る。 個人的なメールのやりとりを学ぶ。特にメール特有の文形式や有用表現、略号、絵文字などを学ぶ。
7	Multi Plus 1	休み	「夏休み」についての4技能総合の自己表現活動。 Challengeでは、タイの夏休みについての英語を読み、世界の夏休みや祭りに視野を広げる。
9	Let's Read 1  Unit 4  Listening Plus 4 Speaking Plus 2	A Magic Box  Homestay in the United-States 明日の天気 電話での応答	ある夫婦がおばあさんからもらった箱は、3つの願いをかなえる「魔法の箱」だった。最後の願いを何にするか。3人の大臣が知恵をしぼる。 さくらが夏休みにアメリカにホームステイに行ったときのエピソード。ホームステイの心得(SO)、ベッドメイキングについてのさくらとホストマザーとの対話(D)、ホームステイでの悩みごと相談と先生の助言(RC)、から成る。 天気予報や天気を話題にした短い対話を聞き取る。 「電話での応答」の第2弾(第1弾はBook 1 SP 1、第3弾はBook 3 SP 4)。電話で、最初に話したい相手以外の人が出た場合の会話を扱い、特に「取り次ぎを頼む」表現を学ぶ。

10	まとめと練習 2 学び方コーナー 2 Unit 5  Listening Plus 5  Speaking Plus 3	助動詞 文の読み方 A New Language Service  今日のニュース  道案内	助動詞を使った文の意味と語順について総復習する。 語句のかたまりをとらえて文を読む。 緑市の新しい言語サービスの話題。言語ボランティアの募集記事 (SO)、ボランティアに応募した一郎の母とベッキーの対話 (D)、外国人住民のための市の新しいサービスを紹介する新聞記事と新聞の投書欄 (RC) から成る。ニュースを聞き取る。Step 1 は Unit 5 p.53 OPINIONS の内容を受けてのものである。 目的地への乗り物での行き方を尋ねたり教えたりする言い方を学ぶ。「道案内」の第2弾 (第1弾は Book 1 SP 2、第3弾は Book 3 SP 3)。
11	Unit 6  Listening Plus 6  Multi Plus 2	The Story of an Old Clock  昼休みの校内放送  町紹介	名曲「大きな古時計」の誕生秘話。曲のモデルとなった古時計が置いてあるホテルのホームページ (SO)、書店でのブラウン先生と店員との対話 (D)、「大きな古時計」誕生の物語 (RC) と続く。 校内放送で、学校のイベントについてのお知らせを聞き取る。 自分が住んでいる町を紹介するという4技能統合の自己表現活動。Challenge では中国の町を紹介する英語を読み、世界の住まいや町並みに視野を広げる。
12	Let's Read 2	Try to Be the Only One	沖縄出身の盲目のテノール歌手・新垣 勉さんの物語。人生の出発点で蒙った不幸のうちひしがれながらも、心に響く賛美歌やよき理解者との出会い、天与の声への覚醒などを通して、「オンリーワン (かけがえのない自分、自分にしかできない生き方)」の価値に目覚めていく。
1	Unit 7  Listening Plus 7  Speaking Plus 4  Writing Plus 3  まとめと練習 3 学び方コーナー 3	My Favorite Movies  映画ヒットチャート  買い物  詩  比較表現 賛成・反対のしかた	アニメと映画についての話題。日本の代表的アニメ作品の製作年の比較 (SO)、ベッキーと一郎による好きな映画についての対話 (D)、「E.T.」のあらすじ紹介 (RC)、と展開する。 「今週の映画ヒットチャート」を聞く。 洋服店 (コーナー) での買い物場面での会話を扱う。客と店員間でよく用いられる表現と「申し出る」表現を学ぶ。5行詩のルールを知り、そのルールに則って詩を書く自己表現活動。 比較表現を総復習する。 相手の意見に賛成したり、反対したりする表現を学ぶ。
3	Multi Plus 3  Let's Read 3	好きなこと・もの  Can Anyone Hear Me ?	自分が好きなこと・ものを紹介する4技能統合の自己表現活動。Challenge では韓国で人気がある J-pop について紹介する文を読み、海外で活躍している日本人に視野を広げる。 星新一による短編「おーい でてこーい」の翻案。突如地面にあいた底なしの穴を、人間たちはごみ捨て場として利用しはじめるが……。

《英語科 年間指導計画》（3年）

月	単元名	題材	内容
4	Warm-up Unit 1 Listening Plus 1	A Speech and a Game Sign Language ボランティア活動	Show and Tell と Jigsaw Reading を取り上げる。前者は2年の継続である。 手話を取り上げる。聴覚障がい者の手話によるミュージカル（Starting Out, Dialog）、日米の手話の違いと手話の表現方法、手話教室への参加体験（Reading for Communication）、といった話題を扱う。 ボランティア活動についての説明を聞き取る。
5	Multi Plus 1 Unit 2 Listening Plus 2	文化紹介 A Fireworks Festival コンサート会場から	題材・内容 身近な日本の風物を取り上げる。4技能すべてを使う総合的自己表現活動。 花火大会を取り上げる。英語番組の「日本文化紹介コーナー」。花火大会開始前のレポート（SO）、ベッキーへのインタビュー（D）、花火大会会場の実況中継と花火師の話（RC）からなる。 テレビレポーターによる、コンサート会場前からの実況中継やインタビューを聞き取る。
6	Writing Plus 1 Unit 3 Listening Plus 3 Speaking Plus 1 まとめと練習 1	手紙 Fair Trade Chocolate ガーナについて知ろう 映画へのさそい 過去分詞	ファンレターを取り上げる。「書く」ことに焦点を合わせた自己表現活動。 フェアトレードを取り上げる。フェアトレードに関するアンケート調査に始まり（SO）、テレビ番組での親子の対話（D）、フェアトレードのしくみと意義、番組を視聴したガーナ人少女、リタからの手紙（RC）へと展開する。 英語での社会の授業を聞いて、要点を聞き取る。 映画に行こうとさそったり、待ち合わせの時間・場所を決めたりする会話を学ぶ。 受け身と現在完了形を総復習する。
7	Multi Plus 1	修学旅行	修学旅行について取り上げる。4技能すべてを使う総合的自己表現活動。
9	Speaking Plus 2 Let's Read 1 Unit 4 Listening Plus 4	食事の会話 A Mother's Lullaby Learn by Losing 英語落語家への道	食事をすすめたり、それに答えたりする会話を学ぶ。 大野允子作「かあさんのうた」の翻案。広島市近郊に立つ1本の木による回想の形をとる。原爆投下時、木の下で、母を求めて泣き叫ぶ幼い男の子に、子守唄を歌ってあげた少女の物語。 日本の国技である相撲について取り上げる。相撲を紹介する観光ガイド（SO）、一郎がベッキーを相撲観戦にさそ対話（D）、外国人力士の日本語にまつわる失敗談（RC）、と展開する。 英語落語家へのインタビューを聞き、質問事項や内容の要点を聞き取る。
10	Speaking Plus 3 まとめと練習 2 学び方コーナー 1 Unit 5	案内 不定詞 文章のまとめ方 Electronic Dictionaries - For or Against	乗り物での行き方をたずねたり、教えたりするときの会話を学ぶ。「道案内」の第3弾。 不定詞「to + 動詞の原形」を総復習する。 日本文化の紹介を例として、論理的でまとまりのある文章の作り方のコツについて扱う。 電子辞書について取り上げる。辞書を使った単語当てクイズ（SO）、電子辞書を使っている一郎とブラウン先生の対話（D）から、電子辞書使用の是非についてのインターネット上の議論（RC）へと展開する。

10	Listening Plus 5	優先席にすわってもよい？	優先席に関する議論を聞き、賛成・反対とその理由を聞き取る。
11	Speaking Plus 4	電話での応答	「電話での応答」の第3弾（第1弾は Book 1 SP1、第2弾は Book 2 SP 2）。話したい相手が留守だった場合の会話を扱い、特に「申し出る、伝言をたのむ」表現を学ぶ。
	Unit 6	Break the Barrier	人種の障壁を破ったアフリカ系アメリカ人大リーガーであるジャッキー・ロビンソンを取り上げる。英語の授業で出された課題(SO)、さくらとブラウン先生の対話(D)、さくらが調べたロビンソンの業績や生涯 (RC)、と展開する。
	Listening Plus 6	20世紀のスター	ジョン・レノンについてのレポートの発表を聞き、彼についての表や年表を完成する。また、他のレポートの一部を聞いて該当する人物を特定する。
	Writing Plus 2	レポート	「書く」ことの総まとめ（最終到達目標）になる活動の1つである。内容は Unit 5 に関連、自分の意見や考えをまとまりのある論理的な文章で表現する。
	まとめと練習3 学び方コーナー2	後置修飾 5つの文構造	関係代名詞を含めた後置修飾を総復習する。 文構造について、「主部」と「述部」という概念と、「述部」の動詞の機能による5タイプの分類について扱い、文を理解するうえでの一助とする。
12	Writing Plus 3	スキット	対話の内容や流れを理解し、語と語、文と文のつながりに注意しながら対話文を書く活動である。
	Multi Plus 3	なりたい職業	自分の将来の夢やなりたい職業について扱う。Challengeでは、世界で活躍する日本人和太鼓奏者を紹介する。
1	Let 's Read 2	Roy Brown - Boy Detective	警察署長を父に持つ、少年探偵ロイ・ブラウンのショートストーリーを扱う。ロイには、宝石泥棒を逮捕するための名案が浮ぶ。さてその方法とは…？
2	Let 's Read 3	An Artist in the Arctic	アラスカの大自然とそこに生きる動物、生活する人々を追ったカメラマン、星野道夫を取り上げる。

# 平成27年度 特別支援教育について

和歌山市立城東中学校

## 知的障害

### 1. 指導目標

- (1) 学校生活・社会生活への適応性を高め、将来社会に適応し、自立できる人間を育てる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性に応じた指導を通して、学習意欲を喚起し、基礎学力の向上をはかる。

### 2. 本年度の目標

- (1) 職員研修につとめ、特別支援教育を行える体制を確立する。
- (2) 全校生徒一人ひとりの個性を知り、特別支援教育の必要な生徒を把握する。
- (3) 個別の指導計画を活用し、生徒一人ひとりに応じた指導をする。
- (4) 自立活動や交流授業を通して、基本的な生活習慣や、集団生活でのマナーを身につけさせる。

## 自閉症・情緒障害

### 1. 指導目標

- (1) 精神的に安定した学校生活を送れるよう、工夫し見通しを立てた行動ができるようになる。
- (2) 学校生活・社会生活への適応性を高め、将来社会に適応し、自立できる人間を育てる。
- (3) 生徒一人ひとりの個性に応じた指導を通して、学習意欲を喚起し、基礎学力の向上をはかる。

### 2. 本年度の目標

- (1) 職員研修につとめ、特別支援教育を行える体制を確立する。
- (2) 全校生徒一人ひとりの個性を知り、特別支援教育の必要な生徒を把握する。
- (3) 個別の指導計画を活用し、生徒一人ひとりに応じた指導をする。
- (4) 自立活動や交流授業を通して、基本的な生活習慣や、集団生活でのマナーを身につけさせる。
- (5) 精神的に安定した学校生活を送れる学習環境作りや、ソーシャルスキルトレーニングを行う。

# 教育指導計画（年間）

知的障害学級 のぞみ1

城東中学校

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
国語				教科書の視写・生活に必要な漢字・教科書に出てくる漢字							
社会		地	理			社会のしくみ				日本の歴史	
数学	繰り上がり・繰り下がりの加減		小数と分数		買物の練習とお金について		様々な文章題			1年間の復習	
理科		2分野(植物)				2分野(動物)			1分野(固体・液体・気体)		
技術家庭	生活を豊かにする物をつくる 布を用いた物の製作 木工作品の製作				情報に関する技術 家族・家庭と子どもの成長					食生活と自立	
英語		アルファベット・英語・基本表現		楽しく話そう(あいさつ・疑問文)						英会話を楽しもう・海外の文化にふれよう	
道徳	健康・仲間作り		情報モラル	平和学習	防災学習	校外学習・キャリア教育				社会のルール	自己実現(進路)
生活		お金について	公共交通機関	SST		SST	言葉使いの学習	進路学習		SST	社会のマナー
作業学習		ペーパークラフト・寄せ木細工						教室掲示の制作・ちぎり絵の制作・調理実習			卒業記念品の製作(木工)

# 教育指導計画（年間）

## 自閉・情緒障害学級 のぞみ2

城東中学校

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
国語	広がる学びへ	視点を定めて豊かな言葉		読書と情報技を伝える	きずなを読む	いにしへの心を訪ねる	論理をとらえる				自分を見つめる
数学	式の計算	文字式の利用	連立方程式の一次関数とグラフ	連立方程式の一次関数の利用	一次関数と方程式の一次関数の利用		図形の調べ方（平行と合同・証明） 図形の性質と証明（三角形・四角形）				確立の意味 場合の数と確率
技術家庭		生活を豊かにする物をつくる 布を用いた物の製作		木工作品の製作							食生活と自立
英語	Warm-up Unit 1 Litening Plus1 Writing Plus1	Unit 2 Litening Plus2 Speaking Plus1	まとめと練習1 学び方コーナー1 Unit 3 Litening Plus3 Writing Plus2	Multi Plus1 ～休み～	Let's Read1 Unit 4 Litening Plus4 Speaking Plus2	まとめと練習2 学び方コーナー2 Unit 5 Litening Plus5 Speaking Plus3	Unit 6 Litening Plus1 Multi Plus2 ～町紹介～	Let's Read2 ～Try to Be the Only One～	Unit 7 Litening Plus7	Speaking Plus4 Writing Plus3 まとめと練習3 学び方コーナー3	Multi Plus3 ～好きなこと～ Let's Read3 ～Can Anyone Hear Me?～
美術	スケッチからはじめよう 素描の基礎・模写・鑑賞		水彩画の基礎 水彩絵の具の使い方 静物画・鑑賞		鑑賞「美術館へいこう」 地域の美術館	木彫の基礎「宝箱をつくろう」 彫刻刀の使い方 レリーフ作品・鑑賞			デザイン「My Favrite T-shirt」 色彩の基礎知識・平面構成 ペーパークラフト・鑑賞		
道徳	健康・仲間作り		情報モラル	平和学習	防災学習	校外学習・キャリア教育	社会のルールやマナー				自己実現
自立活動											